

令和4年度版

流山市まちづくり報告書

(流山市総合計画進捗状況報告)

目次

本報告書の考え方について.....	1
(1) 流山市総合計画について.....	1
(2) 総合計画の進行管理.....	2
(3) まちづくり報告書とは.....	2
施策体系.....	3
まちの経営動向.....	5
(1) 基本政策全体の達成動向.....	5
(2) まちの状態指標.....	6
施策分野別評価表.....	10



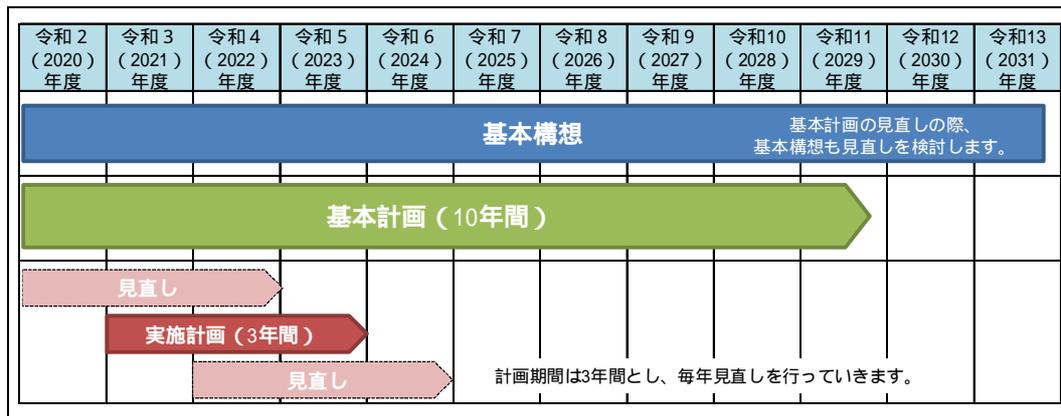
本報告書の考え方について

(1) 流山市総合計画について

流山市総合計画（以下「総合計画」といいます。）は、本市が目指すまちのイメージである「都心から一番近い森のまち」に向けて、計画的に市政経営を進めていくための指針として、令和2年3月に策定しました。

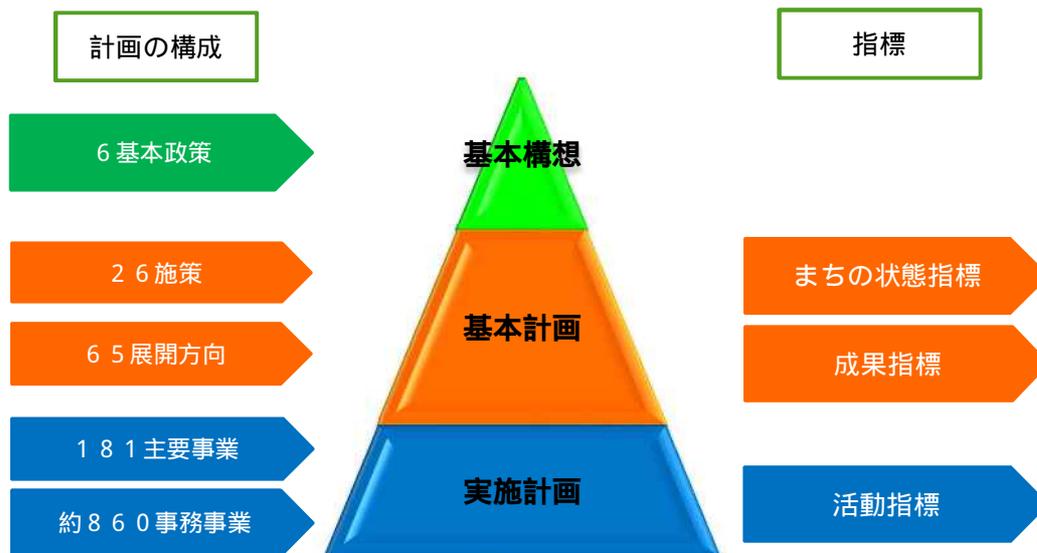
この総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成され、基本計画では、10年間の市政経営の方向性を定めています。

総合計画の計画期間



基本計画においては、26の施策と65の展開方向からなり、施策ごとに「まちの状態指標」を設定し、施策の進み具合について、定期的にその数値を測定することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを検証しています。

計画の構成と指標の関係

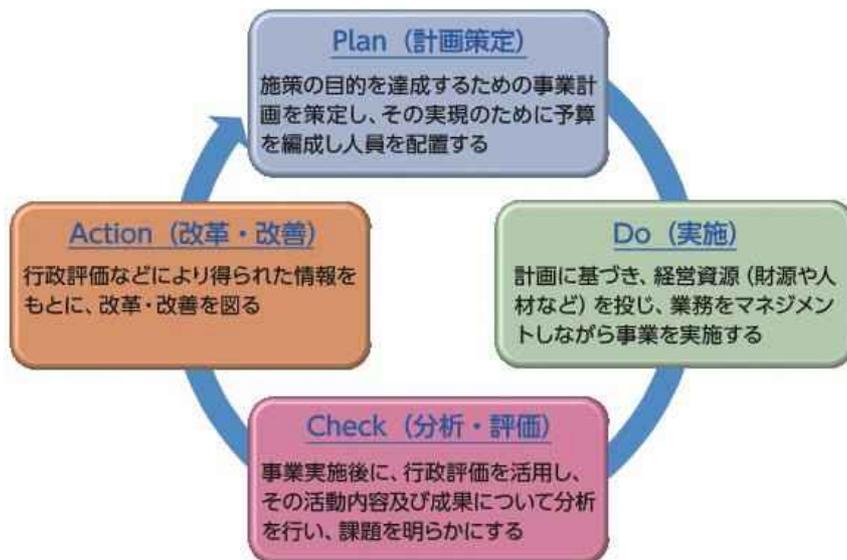


基本政策...目指すまちのイメージ実現のための政策と方針
 施策...基本政策実現のために取り組むべき行政分野（消防、教育など）
 展開方向...施策の課題解決に向けた取り組みの方向性
 事務事業...施策の取り組みを実現するための具体的手段

(2) 総合計画の進行管理

基本計画に掲げる施策や、実施計画に掲げる事業の推進を図るため、その進捗状況を管理し、社会経済情勢の変化や国の制度改正などの状況変化に応じて、事業内容などを毎年度見直すことが必要となります。

そのため、成果を見極めるための成果指標などを設定し、「Plan（計画策定） Do（実施） Check（分析・評価） Action（改革・改善）」といった、PDCAサイクルの手法を取り入れた進行管理を行い、施策や事業の成果を定期的に測定し、改善・効率化を図ります。



流山市総合計画実施計画より「計画の進行管理のイメージ」

(3) まちづくり報告書とは

本報告書は、総合計画の目指すまちのイメージの実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和3年度の決算見込みを踏まえて、総合計画の進捗状況の報告書として作成しています。

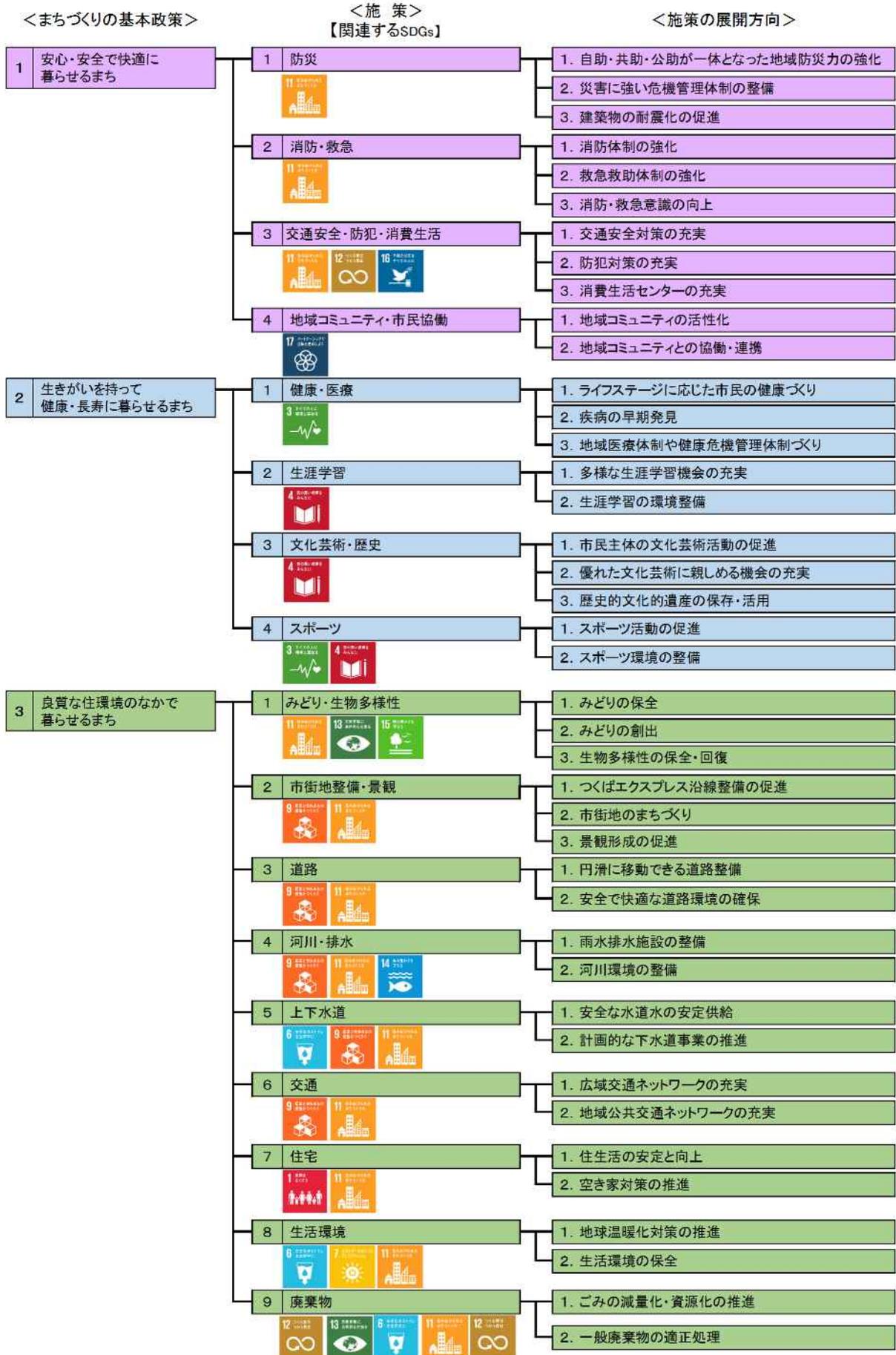
本市の行政評価は、施策、主要事業における成果指標の推移を踏まえたまちの状態指標の状況などを「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況を明らかにしています。

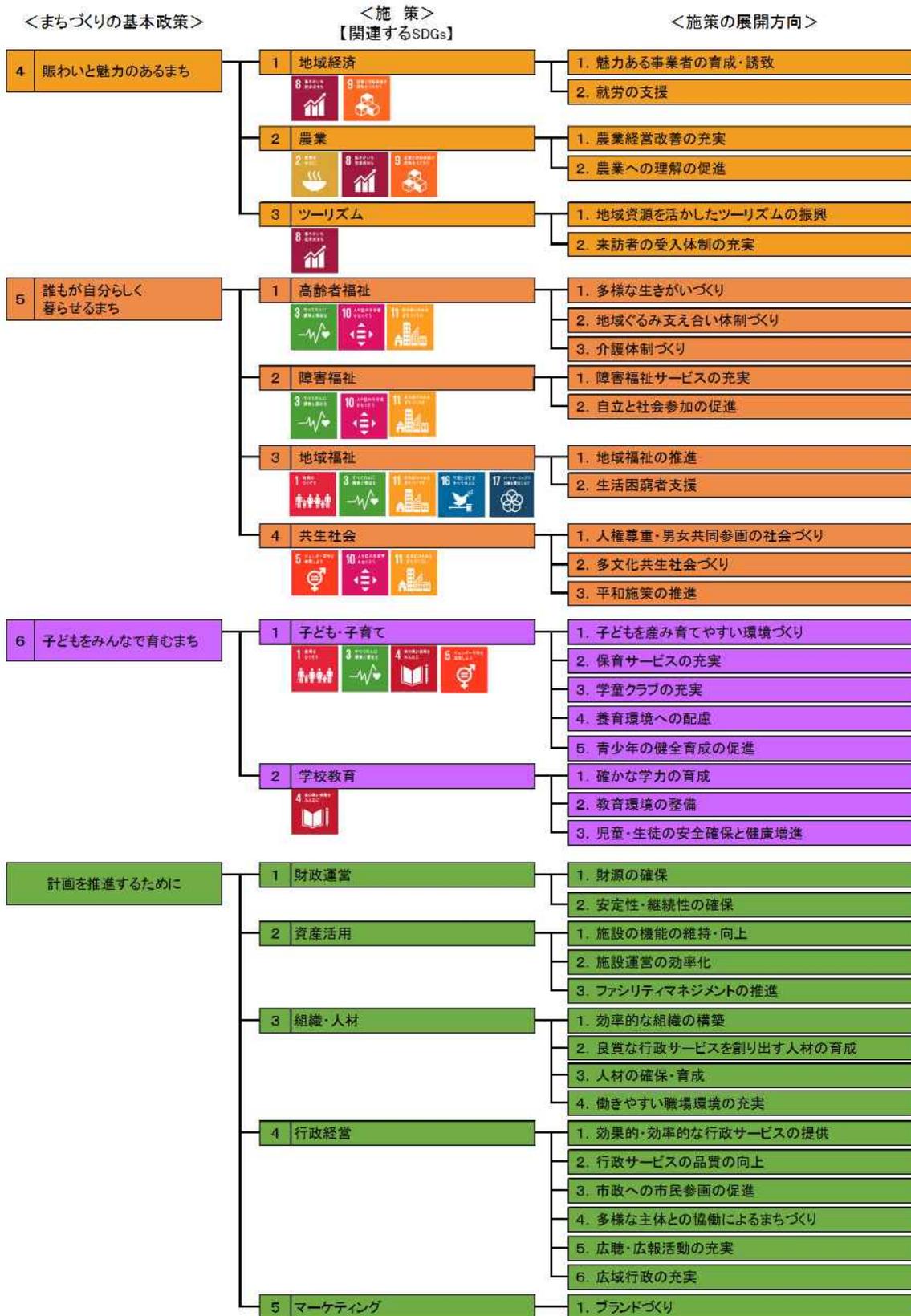
そうした行政評価を分析し、総合計画実施計画による中長期的な事業計画の見直しにより、総合計画の目標達成に向けた施策の推進と成果の向上を図ります。

また、経年変化を確認することにより、社会経済情勢の変化によるものかを見る目安となり、限られた経営資源の「選択と集中」及び事業活動の「改革と改善」への活用が期待できます。

「令和4年度版まちづくり報告書」については、令和2年度から計画期間がスタートした総合計画の進行管理の中で、令和3年度の実績に基づく分析・評価を総合計画の施策体系に紐づけて作成しています。

施策体系





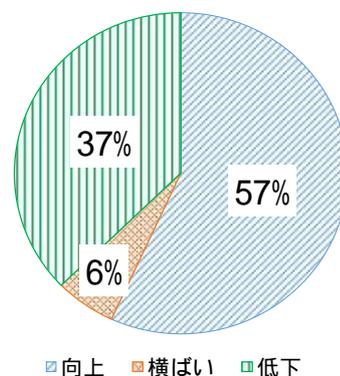
まちの経営動向

(1) 基本政策全体の達成動向

総合計画に基づく6つの基本政策の達成度について、26の施策の達成状況の指標となる60の「まちの状態指標」の実績値の推移を基に評価を行っています。総合計画策定時と令和3年度を比較し、目指す方向への達成状況を「向上」「横ばい」「低下」の3段階で区分し、比較できない場合や、目指す方向を示さない場合などは「その他」と表記しています。

全政策では「向上」が全体の57%となっており、総合計画は、概ね目標に向けて進んでいるといえます。

全政策の達成状況の割合



「その他」を除く。

各政策の達成状況については下表のとおりとなっており、「安心・安全で快適に暮らせるまち」、「生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち」、「良質な住環境のなかで暮らせるまち」で指標の向上している割合が多くなっています。

これは、マンホールトイレなどの防災施設の整備や自主防災組織に対する活動支援により地域防災力の強化や流山市医師会などとの協力による医療提供体制の整備・確保、みどり豊かな街並みの形成のためのみどりの保全・創出、ごみ分別アプリやリサイクル団体の活動を支援し、ごみの減量化・資源化を図り景観に配慮したまちづくりを推進してきた結果が出てきたものとみえています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標に対し達成状況が低下している割合も多くなっています。「誰もが自分らしく暮らせるまち」に向け、生きがいをもって元気に暮らせるよう、地域ぐるみで支え合うまちづくりのための支援体制の充実や日常からの支え合い、見守り活動の推進をしていくなど課題も見えてきました。

各施策の達成状況

()内は前年度の達成状況

基本政策	向上	横ばい	低下	その他	計
安心・安全で快適に暮らせるまち	6 (5)	0 (0)	1 (2)	2 (2)	9
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	5 (5)	0 (0)	4 (3)	0 (1)	9
良質な住環境のなかで暮らせるまち	14 (15)	1 (1)	5 (4)	0 (0)	20
賑わいと魅力のあるまち	2 (2)	1 (2)	3 (1)	0 (1)	6
誰もが自分らしく暮らせるまち	1 (1)	1 (0)	4 (4)	4 (5)	10
子どもをみんなで育むまち	1 (1)	0 (0)	2 (2)	3 (3)	6
計	29 (29)	3 (3)	19 (16)	9 (12)	60
全体に占める割合 (%)	57 (61)	6 (6)	37 (33)		100

(2) まちの状態指標

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和3年度実績	達成状況
1-1 防災	自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える	地震などの災害に対する備えが十分だと思ふ市民の割合	%		52.5 (2018年度)	52.9	向上
		自主防災組織の組織率	%		61.7 (2018年10月1日)	65.1	向上
1-2 消防・救急	火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る	人口1万人当たりの出火件数	件		1.4 (2018年)	1.2	向上
		救急出動件数	件	-	8,289 (2018年)	8,470	その他
1-3 交通安全・防犯・消費生活	交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る	人口1万人当たりの交通事故発生件数	件		27.3 (2018年)	19.4	向上
		人口1万人当たりの犯罪発生件数	件		61.2 (2018年)	37.9	向上
		消費生活相談件数	件	-	2,009 (2018年度)	1,517	その他
1-4 地域コミュニティ・市民協働	地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む	自治会への加入率	%		66.2 (2018年10月1日)	62.53	低下
		市民活動団体の数	団体		203 (2019年4月1日)	234	向上
2-1 健康・医療	生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる	健康寿命(平均自立期間) 2018(H30)年	年		65歳男性:18.55 65歳女性:20.46 (2015年)	18.89 21.15	向上
		生活習慣病による死亡者数の割合 千葉県衛生統計年報2019(R1)年	%		56.3 (2017年)	55.9	向上
		一般診療所の数 千葉県衛生統計年報2019(R1)年	-		95 (2017年)	103	向上
2-2 生涯学習	市民一人ひとりが生涯学習活動を通して人生を豊かにできる	日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	%		46.1 (2018年度)	36.8	低下
		学びたい時に学べる環境(生涯学習のプログラムや施設)が整っていると思ふ市民の割合	%		31.8 (2018年度)	53.4	向上
2-3 文化芸術・歴史	文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える	過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	%		53.5 (2018年度)	30.3	低下
		市内の指定文化財等の数	件		50 (2019年4月1日)	52	向上
2-4 スポーツ	スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る	スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	%		35.4 (2018年度)	33.7	低下
		スポーツ施設の利用者数	人		1,610,133 (2018年度)	1,397,357	低下

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画 策定時点値	令和3年度 実績	達成状況
3-1 みどり・生 物多様性	市民に潤いと安らぎ を与えるみどりの保 全・創出に取り組む	人口1人当たりの都市公園面積	㎡		5.17 (2019年4月1日)	5.23	向上
		市内は緑が豊かで潤いがあり、緑と のふれあいに満足していると思う市 民の割合	%		78.8 (2018年度)	88.3	向上
3-2 市街地整 備・景観	地域の特性を活かし た魅力ある街並みを 創出する	これからも流山市に住み続けたいと 思う市民の割合	%		83.0 (2018年度)	91.4	向上
		利用している駅及び駅周辺の整備や 利便性に満足している市民の割合	%		42.5 (2018年度)	75.2	向上
		自宅周辺の街並みや景観を誇りに思 う市民の割合	%		58.6 (2018年度)	63.1	向上
3-3 道路	安全で円滑に移動で きる道路網と道路環 境を整備する	快適に移動できる道路網が整備され ていると思う市民の割合	%		62.4 (2017年度)	73.3	向上
		都市計画道路の整備率	%		70.6 (2018年度末)	73.2	向上
3-4 河川・排水	大雨時の洪水氾濫・ 内水氾濫による被害 を最小限に抑える	雨水幹線の整備延長	Km		15.3 (2018年度末)	0.06	低下
		水害による住家被害の棟数	棟		0 (2016～2018年度)	0	向上
3-5 上下水道	安全な水道水を安定 的に供給するととも に、衛生的な下水道 サービスを提供する	安全で良質な水道水が安定的に供給 されていると思う市民の割合	%		90.7 (2018年度)	95.9	向上
		公共下水道普及率	%		89.3 (2018年度末)	92.5	向上
3-6 交通	交通ネットワークの 充実と利便性の向上 を図る	公共交通に満足している市民の割合	%		75.0 (2018年度)	83.1	向上
		市内鉄道駅の1日当たりの乗客数 2020(R2)年度	人		175,574 (2017年度)	136,708	低下
		流山ぐりんバスの1日当たりの利 用者数	人		2,499 (2018年度)	2,045	低下
3-7 住宅	多様な世代・世帯が 安心して住み続けら れる住まいを確保す る	住宅の耐震化率	%		83.6 (2018年1月1日)	93.2	向上
		住宅の空き家率 2018(H30)年度	%		3.2 (2018年10月1日)	3.2	横ばい
3-8 生活環境	地球環境にやさし い、快適な生活環境 をつくる	二酸化炭素排出量の基準年度比 2019(R1)年度再算定値	t - CO2		民生家庭：124 民生業務：159 (2017年度 再算定値)	121 166	低下
		身近な生活環境について不満に感じ ている市民の割合	%		26.1 (2018年度)	28.5	低下
3-9 廃棄物	ごみの発生量を減ら し、資源を有効に利 用する循環型のまち をつくる	1人1日当たりのごみ発生量 2020(R2)年度	g		848 (2018年度)	813	向上
		資源化率 2020(R2)年度	%		21.8 (2018年度)	27.6	向上

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和3年度実績	達成状況
4-1 地域経済	消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる	小売吸引力指数 2016（H28）年経済センサス	-		0.765 （2016年）	0.765	横ばい
		1事業所当たりの製造品出荷額等 2016（H28）年経済センサス	百万円		532 （2016年）	682	向上
		法人市民税	万円		75,479 （2018年度）	51,458	低下
4-2 農業	都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る	認定農業者数	人		41 （2018年4月1日）	46	向上
		農業産出額（推計） 2019（H30）～2020（R2）年	千万円		230 （2017年）	185	低下
4-3 ツーリズム	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	入込客数	人		290,137 （2017年度）	133,975	低下
5-1 高齢者福祉	高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる	高齢者の人口	人	-	45,411 （2019年4月1日）	46,965	その他
		生きがいをを感じる高齢者の割合	%		82.8 （2018年度）	82.8	横ばい
		要介護・要支援認定率	%		16.7 （2019年4月1日）	18.2	低下
5-2 障害福祉	障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる	障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数 R2年4月1日時点	人	-	身体障害者：4,216 知的障害者：1,011 精神障害者：1,332 （2019年4月1日）	4,230 1,089 1,556	その他
		障害者就労支援センターの利用者数 R2年4月1日時点	人		207 （2019年4月1日）	181	低下
		相談支援事業の利用者数 R2年4月1日時点	人		2,190 （2019年4月1日）	2,529	向上
5-3 地域福祉	自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める	福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	%		57.3 （2018年度）	52.8	低下
		生活保護受給者数	人	-	1,708 （2019年4月1日）	1,861	その他
5-4 共生社会	すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	%		86.5 （2020年度新規取得）	83.9	低下
		外国人の人口	人	-	2,737 （2019年4月1日）	3,190	その他

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和3年度実績	達成状況
6-1 子ども・子育て	すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる	18歳未満の人口	人	-	34,375 (2019年4月1日)	36,994	その他
		合計特殊出生率 2020(R2)年	-	-	1.67 (2018年)	1.55	低下
		流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	%	-	51.6 (2018年度)	70.2	向上
6-2 学校教育	学びに向かう力と自立する子どもを育む	全国学力・学習調査平均正答率	%	全国平均、 県平均を上回る	小学校：62.6 中学校：66.2 (2018年度)	71.0 64.0	その他
		児童・生徒数 R3年5月1日時点	人	-	児童：10,863 生徒：4,344 (2018年5月1日)	12,356 4,750	その他
		いじめの認知件数	件	-	小学校：1,246 中学校：503 (2018年度)	5,765 594	低下

施策分野別評価表

[評価表の見方]

施策 防災		基本政策 安心・安全で快適に暮らせるまち		IV 施策分野別評価表				
主管部局 市民生活部		施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える						
まちの状態指標		指標の説明または出典元		R1実績	R2実績	R3実績	単位	傾向 ↑
地震などの災害に対する備えが十分だと感じる市民の割合		水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）		-	52.0	52.9	%	↑
自主防災組織の組織率		自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）		66.1	65.6	65.1	%	↑
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
取組内容 情報伝達機能の強化や、自主防災組織補助金の交付対象の拡大（マンション管理組合を追加）し、自助・共助・公助が一体となった地域防災力のさらなる強化を図りました。		現状 日本各地で想定を超える事象災害が多く発生している中、避難所における新型コロナウイルス等感染症対策などの新たな課題も発生しています。行政だけでなく住民の自助・共助の力が重要です。						
評価 新たにマンション管理組合2団体が自主防災組織を設立しました。多メディア・斉配信システムを導入し、防災無線、安心メール、HP、SNS等複数メディアに一元に情報配信ができるようになりました。		課題 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」「自分たちの地域は自分たちで守る」「共助」に重点した地域防災力の強化を図ること、支援が必要な方により早く情報を伝達することが重要です。						
改善点 自主防災組織の活動が鈍化していることから、啓発を進め、組織率の向上及び組織の活性化を図り、自助・共助・公助が一体となった地域防災力の向上を図る必要があります。		取組内容 さらなる情報伝達機能の強化を進めます。自主防災組織の活動、設立のため広報、啓発を進め、自助・共助・公助が一体となった地域防災力のさらなる向上・強化を図ります。						
自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化 主管課：防災危機管理課								
自主防災組織活動促進事業		自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(円)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源		
防災危機管理課	4,250	3,291	4,287	4,250	2,100	2,150		
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標	
自主防災組織数(組織)	136	138	140	補助金を活用している自主防災組織数(組織)	71	63	75	
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
取組 令和3年度から新たにマンション管理組合が設立した自主防災組織を補助対象に加え、地域防災力の向上を図りました。		現状 令和3年度末時点で、138団体の自主防災組織があります。その内2団体がマンション管理組合が設立した自主防災組織です。						
評価 マンション管理組合2団体が自主防災組織を設立しました。		課題 コロナ禍の影響により自主防災組織の活動が停滞傾向にある団体が増加しています。						
課題に対する改善点 防災講座等で地域防災力向上の啓発、促進を図りました。		取組 防災講座等で啓発を図り、自主防災組織の活動促進、新規設立を支援します。						

総合計画の体系に基づき、該当の基本政策、施策、目的、主管部局及び関連するSDGs ()を示しています。

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称。将来の世代が安心して暮らすことのできる持続可能な世界を実現するために、達成すべき17の目標(ゴール)が定められました。

総合計画に定められた「まちの状態指標」を示すとともに、施策全体としての前年度の取組み、評価、改善点と、当年度の現状、課題、取組みについての総括を記載しています。

前年度及び当年度の実施計画における主要な事業を中心に、総合計画の体系に基づき、「施策の展開方向」ごとに、各事業の概要に加え、前年度の取組みや評価、改善点、今年度の現状や課題、取組みについて記載しています。

総合計画の「施策の展開方向」では、その配下に位置づけられる主な取組内容を「 」で示しています。また、当該施策に関連する他施策の主な取組内容を「 」で示しています。

本報告書では、主な取組に係る事業担当課を「主管課」、関連する他施策の取組に係る事業担当課を「関連課」として記載しています。

ただし、新型コロナウイルス感染症対策事業については、全庁的に取組を実施したことから、一部の事業担当課のみが表記されています。

◆施策の展開方向◆

1 自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化

- 自主防災組織の設立促進・活動の活性化支援
- 自治会や自主防災組織、NPO法人、その他の団体などとの協働・連携に根ざした防災訓練の実施・避難誘導体制の確立
- 市民の防災意識の普及啓発
- 避難行動要支援者名簿の作成・有効活用の促進
- 県をはじめとする防災関係機関との連絡体制の強化
- 地自治体や民間事業者などとの災害時応援協定の締結推進

2 災害に強い危機管理体制の整備

- 安心メールや防災アプリの登録促進などによる災害関連情報の伝達体制の強化
- 最新の情報を活用した地域防災計画・地震ハザードマップの見直し
- 防災備蓄倉庫の整備・計画的な備蓄
- 災害用井戸や給水栓、マンホールトイレなどの防災施設の整備
- 避難所運営マニュアルの作成促進・避難所開設訓練を実施するなど実践的な体制の整備
- 雨水排水施設の計画的な整備(関連3-4河川・排水)
- 老朽化した橋りょうや上下水道などのインフラ施設の耐震性能の向上(関連3-3道路.3-5上下水道)
- 緊急輸送道路の無電柱化の促進(関連3-3道路)

3 建築物の耐震化の促進

- 耐震診断及び耐震改修の啓発・促進
- 危険なブロック塀などの除却の促進

◆主な個別計画等◆

- ・地域防災計画/令和元(2019)年度
- ・水防計画/平成28(2016)年度
- ・避難行動要支援者避難支援計画/平成30(2018)年度
- ・耐震改修促進計画/平成30(2018)年度

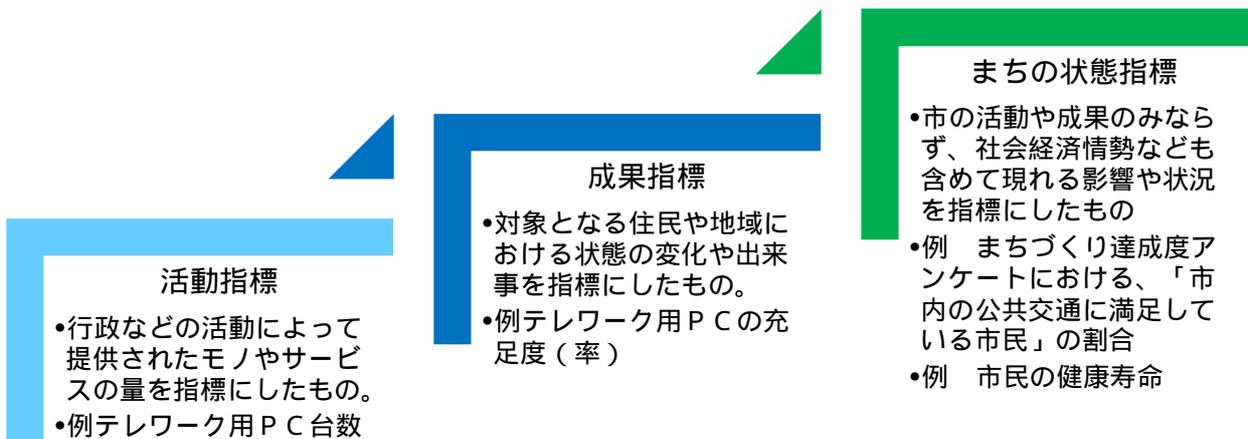
行政防災無線 防災備蓄倉庫

流山市総合計画基本構想・基本計画より「施策の展開方向」

指標について

行政評価は、個々の施策や事業の目的が何なのか、その目的を実現するために、どのような手段が妥当であり、成果に結びつくのかを評価し、市の未来につなげることが目的です。

これを可視化するために、指標を定め、その実績値や目標値を記載しています。施策レベルの指標は「まちの状態指標」、事業レベルの指標は、「活動指標」と「成果指標」に分類しており、それぞれ以下のような関係になっています。



主管部局 市民生活部 施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	水・食糧3日分を備蓄している市民の割合(まちづくり達成度アンケート)	-	52.0	52.9	%	
自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100 (10月1日時点)	66.1	65.6	65.1	%	

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 情報伝達機能の強化や、自主防災組織補助金の交付対象の拡大(マンション管理組合を追加)し、自助・共助・公助が一体となった地域防災力のさらなる強化を図ります。</p> <p>・評価 新たにマンション管理組合2団体が自主防災組織を設立しました。多メディア斉配信システムを導入し、防災無線、安心メール、HP、SNS等複数メディアに斉に情報配信ができるようになりました。</p> <p>・改善点 自主防災組織の活動が鈍化していることから、啓発を進め、組織率の向上及び組織の活性化を図り、自助・共助・公助が一体となった地域防災力の向上を図る必要があります。</p>	<p>・現状 日本各地で想定を超える事前災害が多く発生している中、避難所における新型コロナウイルス等感染症対策などの新たな課題も発生しています。行政だけによる対応「公助」の限界が指摘され、いままですらに自助・共助の力が必要です。</p> <p>・課題 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」「自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図ること、支援が必要な方により早く情報を伝達することが必要です。</p> <p>・取組内容 さらなる情報伝達機能の強化を進めます。自主防災組織の活動、設立のため広報、啓発を進め、自助・共助・公助が一体となった地域防災力のさらなる向上・強化を図ります。</p>

自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化 主管課：防災危機管理課

自主防災組織活動促進事業	自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
防災危機管理課	4,250		3,291		4,287	4,250	2,100	2,150
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
自主防災組織数(組織)	136	138	140	補助金を活用している自主防災組織数(組織)		71	63	75
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 令和3年度から新たにマンション管理組合が設立した自主防災組織を補助金対象に加え、地域防災力の向上を図りました。</p> <p>・評価 マンション管理組合2団体が自主防災組織を設立しました。</p> <p>・課題に対する改善点 防災講和等で地域防災力向上の啓発、促進を図りました。</p>				<p>・現状 令和3年度末時点で、138団体の自主防災組織があります。その内2団体がマンション管理組合が設立した自主防災組織です。</p> <p>・課題 コロナ禍の影響により自主防災組織の活動が停滞傾向にある団体が増加しています。</p> <p>・取組 防災講話等で啓発を図り、自主防災組織の活動促進、新規設立を支援します。</p>				

災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課

災害時情報伝達手段整備事業	災害時に、市民等へ迅速かつ的確に災害情報等を伝えるため、防災行政無線や安心メール、Twitterなど複数の情報伝達手段に斉に送信できるシステムを導入し、災害時の正確かつ円滑な情報伝達を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
防災危機管理課	16,108		16,726		1,911	1,272	330	942
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
防災行政無線同報系子局設置数(基)	79	79	-	防災行政無線同報系子局更新数(基)		30	-	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 令和3年度は多メディア斉配信システムを導入し情報伝達手段の多重化を図りました。</p> <p>・評価 多メディア斉配信システムを導入し、防災行政無線、安心メール、HP、SNS等へ一斉に複数のメディアへ情報伝達が可能となりました。</p> <p>・課題に対する改善点 情報伝達手段の多重化を図り、市民へより迅速かつ確実に情報伝達が可能となりました。</p>				<p>・現状 多メディア斉配信システムの機能を最大限発揮し市民等に、より迅速かつ確実に情報伝達を図ります。</p> <p>・課題 市民等へ迅速かつ確実に情報伝達を行うため、さらなる情報伝達手段の多重化を図ります。</p> <p>・取組 令和4年度は視覚障害や聴覚障害をお持ちの方を対象に、多メディア斉配信システムを使用し電話、FAXで情報を受信する機能を追加します。</p>				

注1：予算等の金額の単位は千円です。

注2：活動指標または成果指標は、指標名に印の記載がある場合、令和4年度版まちづくり報告書策定時点において、令和3年度の実績値では無く、直近の実績値を掲載しています。

災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課

公的備蓄整備事業	公的備蓄の整備を進めるため、計画的に食糧や防災資機材を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
防災危機管理課	19,717		20,517		3,185	22,365	2,686	19,679
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
食料備蓄率 (%)	103	98	100					
飲料水備蓄率 (%)	72	91	100					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 市備蓄計画に基づき、備蓄食料や資機材の整備を進めました。				・現状 市備蓄計画に基づき、備蓄食料、資機材をバランスよく整備します。				
・評価 市備蓄計画に定める備蓄食料や防災資機材等の備蓄率の向上を図りました。				・課題 備蓄率の低い備蓄品の整備を進めます。				
・課題に対する改善点 備蓄食料は、個食やアレルギー対応製品を購入し整備しました。				・取組 令和4年度は個食、アレルギー対応製品の備蓄に加え飲料水も500ml入りペットボトルの備蓄整備を進めます。				

災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課

地域防災計画策定事業	令和2年度国勢調査の結果、市街地整備の進捗による状況の変化や浸水想定区域の見直し等に伴う地域防災計画の大幅な見直しを行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
防災危機管理課	500		171		6,370	10,500	0	10,500
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和4年度のみ主要事業に該当。				・現状 浸水想定区域の見直しや、区画整理の完了により災害時の被害想定が大きく変更される見込みです。				
・評価				・課題 近年風水害の激甚化が進んでおり、浸水想定区域の被害想定は大幅な見直しが必要です。				
・課題に対する改善点				・取組 令和4年度は浸水想定区域の見直し等により、既存の被害想定の見直しも必要のため、市内全域のアセスメント調査を行います。				

災害に強い危機管理体制の整備 主管課：防災危機管理課

防災施設整備事業	指定避難場所に、災害時に一時避難する被災者のための防災施設や防災備蓄倉庫を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
防災危機管理課	31,787		32,343		3,185	16,245	12,400	3,845
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
かまどベンチ設置数累計(基)	25	29	-	倉庫設置件数(件)		38	41	-
太陽光照明設置数(基)	13	15	-	マンホールトイレ設置箇所数(箇所)		7	11	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和3年度は十太夫近隣公園にかまどベンチ4基、太陽光照明2基、マンホールトイレ5基、災害用井戸1基、避難所案内看板1基を設置しました。また流山市上下水道局、生涯学習センターに防災備蓄倉庫を設置しました。				・現状 令和4年度は向小金福祉会館に災害用井戸及びマンホールトイレの整備を行います。				
・評価 避難所・避難場所に防災設備を整備し、機能強化を図りました。				・課題 公共施設利用者の妨げにならないよう、迅速かつ安全な工事に取り組みます。				
・課題に対する改善点 避難場所へ防災設備を整備し、機能強化を図りました。また防災備蓄倉庫を設置し避難所の強化及び分散備蓄を進めました。				・取組 向小金福祉会館に防災設備を整備し、避難所の機能強化を図ります。				

耐震改修促進事業	住宅の耐震化の促進を図るため、昭和56年以前に建築された一戸建ての木造住宅等に対し、耐震診断・耐震改修費の一部を補助します。地震災害による、コンクリートブロック塀等の倒壊を防止するため、市内小学校の通学路沿いの危険なコンクリートブロック塀等に対し、除却費の一部を補助します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
建築住宅課	16,100		4,221		12,740	20,100	12,676	7,424
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
無料耐震診断及び出張耐震相談件数(件)	16	8	20	耐震診断及び耐震改修補助件数(件)		21	12	31
ブロック塀等所有者への啓発件数(件)	322	220	250	ブロック塀等除却補助件数(件)		40	7	30
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 耐震診断、改修補助事業については、啓発活動の新たな取組として、戸別訪問を実施しました。ブロック塀等除却事業については、所有者等に対し、診断結果についてより丁寧な説明を行うとともに、補助制度の拡充を行いました。また、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図りました。</p> <p>・評価 流山市耐震改修促進計画の改定を行いました。流山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2021に基づき、戸別訪問と共に耐震化のための啓発活動を行いました。ブロック塀等の除却については、補助制度の拡充を行うと共に個別説明を行い、除却促進を行いました。</p> <p>・課題に対する改善点 耐震診断、改修補助事業については、広報誌を中心とした啓発活動の中で、より良い啓発方法を検討する必要があります。また、ブロック塀等除却事業については、補助制度の拡充についての啓発を行う必要があり、学校関係者とも連携を図っていく必要があります。</p>				<p>・現状 耐震診断、改修補助事業については、ここ数年同程度の補助件数で推移し、目標達成には至っていません。ブロック塀等除却事業については、補助制度の拡充や啓発件数を増やす等し、除却促進を図りましたが、目標達成には至っていません。</p> <p>・課題 耐震診断、改修補助事業については、これまでの広報誌を中心とした啓発方法も含めて、より良い啓発方法を検討する必要があります。ブロック塀等除却事業については、補助制度の拡充と診断結果の丁寧な説明による啓発を行うと共に、学校関係者とも連携を図り、それぞれの方面から除却の必要性について丁寧に説明していく必要があります。</p> <p>・取組 耐震診断、改修事業については、戸別訪問を引き続き実施すると共に、広報誌による啓発を行っていきます。ブロック塀等除却事業については、所有者等に対し、補助制度の拡充の内容と共に、診断結果についてより丁寧な説明を実施しながら、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図っていきます。</p>				

主管部局 消防本部 施策の目的 火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの出火件数	火災件数(1月～12月)÷人口(1月1日時点)×10,000	1.0	1.1	1.2	件	↓
救急出動件数	1月～12月(消防本部)	8,398	7,569	8,470	件	-

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 ・中央消防署移転事業では、土地収用法に基づく事業認定申請を行ったほか、移転用地の取得を進めました。・北消防署水槽付消防ポンプ自動車の更新整備は、従来どおりの水槽容量及び装備品を確保したまま小型化しました。・火災予防に関しては、適時火災予防広報パトロールを実施しました。</p> <p>・評価 ・中央消防署移転事業では、令和3年9月に事業認定を受け、移転用地全体の99.6パーセントを取得したほか、基本設計、造成設計の作成及び開発協議に伴う各種申請手続きを進めました。・消防車両の整備では、小回りの利く車両に変更したことで、狭隘道路等への対応に充実強化が図られました。・令和3年中の火災発生件数については25件と前年度と比べ3件増加しましたが、火災による死傷者は減少に転じることが出来ました。</p> <p>・改善点 ・中央消防署移転事業では、令和4年度に予定されている造成工事に向け、早期に移転用地を取得する必要があることから、地権者と円滑な協議を進めました。・消防車両の整備では、車両を小型化したため、資器材の積載スペース確保の工夫が更に必要です。・火災予防については、文化財防火デー訓練及び単身高齢者世帯防火診断が新型コロナウイルスにより中止となったため、今後は感染状況等を鑑み実施していきます。</p>	<p>・現状 ・建築から47年が経過し、老朽化が著しい消防本部・中央消防署庁舎を早期に移転し、防災拠点の強化を図ります。・車両整備については、南消防署の高規格救急車の更新整備を行います。コロナ禍により、市民との対面式の火災予防活動が中止せざるを得ない状況が生じています。</p> <p>・課題 ・中央消防署移転に伴う造成工事において、令和5年度に予定する建築工事に影響が発生しないよう、工事監理を適切に行う必要があります。・購入する南消防署高規格救急車は、感染防止対策を鑑み、現状に適した資器材の導入を図る必要があります。・新しい生活様式の変化に配慮した火災予防活動を展開する必要性が求められています。</p> <p>・取組内容 ・中央消防署移転事業では、適切な工事監理を行い造成工事を完了させるほか、実施設計の作成及び令和5年度に予定する建築工事に伴う各種申請手続きを進めます。・「流山市の消防車両等更新基準」に基づき、計画的に常備消防車両を更新整備していきます。・火災予防運動及び歳末火災予防特別警戒の期間中、市内を巡視し広報や啓発活動を行うことで、火災の発生と被害の軽減を図ります。</p>

消防体制の強化 主管課：消防本部

消防車両整備事業	常備消防が運用する車両を消防車両等更新基準に基づき、更新整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
消防防災課	61,658		57,721		10,339	107,358	82,348	25,010
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
消防車両等新規購入台数(台)	2	1	2	消防車両等新規購入台数(台)		2	1	2
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 北消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新整備しました。</p> <p>・評価 小回りの利く車両に変更したことで、狭隘道路等への対応に充実強化が図られました。</p> <p>・課題に対する改善点 車両を小型化したため、資器材の積載スペースにさらに工夫が必要です。</p>	<p>・現状 購入から15年が経過する東消防署の水槽付消防ポンプ自動車及び購入から9年が経過する南消防署の高規格救急車の更新整備を行います。</p> <p>・課題 水槽付消防ポンプ自動車は、狭隘道路等へ対応するために車両を小型化し、小回りの利く車両へ変更して対応能力及び資器材の積載スペースの向上を図ります。また、高規格救急車は感染防止対策を鑑み、現状に適した資器材の導入を図ります。</p> <p>・取組 「流山市の消防車両等更新基準」に基づき車両整備計画を定め、計画的に常備消防車両を更新整備していきます。</p>							

消防体制の強化 主管課：消防本部

中央消防署移転事業	昭和49年に建設された現消防本部・中央消防署の庁舎移転を行い、防災拠点の強化及び庁舎の適正配置を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
消防総務課	87,252		74,888		9,104	427,012	413,112	13,900
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				移転用地取得状況(%)		21	99	100
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 土地収用法に基づく事業認定申請を行ったほか、移転用地の取得を進めました。</p> <p>・評価 中央消防署移転事業では、令和3年9月に事業認定を受け、移転用地全体の99.6パーセントを取得したほか、基本設計、造成設計の作成及び開発協議に伴う各種申請手続きを進めました。</p> <p>・課題に対する改善点 令和4年度に予定されている造成工事に向け、早期に移転用地を取得する必要があることから、地権者と円滑な協議を進める必要があります。</p>	<p>・現状 令和4年度は移転用地の造成工事の実施及び令和5年度に予定する建築工事に伴う各種申請手続きが必要となります。また、残りの移転用地についても、早期に取得する必要があります。</p> <p>・課題 造成工事については、令和5年度に予定されている建築工事に影響が発生しないよう、適切な工事監理を行う必要があります。</p> <p>・取組 適切な工事監理を行い造成工事を完了させるほか、実施設計の作成及び令和5年度に予定する建築工事に伴う各種申請手続きを進めます。また、未取得の移転用地について、地権者と円滑な協議を重ね、早期に取得します。</p>							

消防体制の強化								主管課：消防本部	
消防指令業務運用事業		消防指令業務の効率化や円滑な広域応援体制を図るため、ちば北西部消防指令センター（当市ほか9市）の指令業務、Jアラート（予備機）及び消防救急デジタル無線の維持管理業務などを行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
消防防災課	104,110		106,847		6,370	94,203	0	94,203	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標	
救急車の現場到着時間（平均現場到着時間）（分）	8	9	8	救急車の現場到着時間（平均現場到着時間）（分）		8	9	8	
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>10市共同指令センターの運用を開始したことから、新たに導入した機器の維持管理や操作習熟が課題となっており、指令システム機器や取扱について職員間で共有し、円滑な業務遂行に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>10市共同指令センター及び他構成市と調整及び協議を行い、10市共同指令センターの安定稼働及び効率的な運用を行います。その他、無線機や指令伝送装置等の通信機器を維持管理を行います。</p>					
<p>・評価</p> <p>指令システム機器の取扱等について遠制勤務担当者に基本的な事項については習得させることができました。</p>				<p>・課題</p> <p>大規模災害発生時に通信指令業務の機能を維持するため、指令システムに関する知識・機器操作等の職員への教育を継続的に行っていく必要があります。</p>					
<p>・課題に対する改善点</p> <p>指令システム機器の機能、取扱等について消防署の遠制勤務担当者に適宜説明を行うとともに、操作マニュアルの必要性を認識したため、マニュアルの作成に着手しました。</p>				<p>・取組</p> <p>遠制勤務職員に対し、指令業務に関する研修、運用訓練を実施します。</p>					
消防体制の強化								主管課：消防本部	
消防団機械器具置場建設事業		地域の防災拠点施設である消防団機械器具置場を建築から30年を目安に順次建替えや大規模改修を行い、消防力の強化を図る。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
消防総務課	0		399		2,356	19,348	14,400	4,948	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標	
消防団機械器具置場建設予定（件）	1	-	-	移転用地取得状況（%）		-	-	100	
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>当該事業は令和4年度より実施するもの。</p>				<p>・現状</p> <p>第8分団機械器具置場については、前面に4車線道路が計画されており、今後出動に支障をきたすことが懸念されるほか、現建物地下に防火水槽が設置されているため、同敷地に建替えを行うことが難しいことから、移転を余儀なくされました。</p>					
<p>・評価</p> <p>当該事業は令和4年度より実施するもの。</p>				<p>・課題</p> <p>地域防災力の低下を招かぬよう、移転用地については慎重に選定する必要があります。また、移転予定地の地権者や周辺住民の理解を得る必要があります。</p>					
<p>・課題に対する改善点</p> <p>当該事業は令和4年度より実施するもの。</p>				<p>・取組</p> <p>移転予定地の地権者や周辺住民と円滑な協議のもと、用地売買契約が締結できるよう取り組みます。</p>					
消防体制の強化								主管課：消防本部	
消防団車両整備事業		市民と消防団を対象とし、車両を更新整備することにより地域の安心安全に備えるもの。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
消防防災課	0		0		5,243	20,309	15,282	5,027	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標	
消防団車両等新規購入台数（台）	-	-	2	消防団車両等新規購入台数（台）		-	-	2	
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> <p>令和3年度の事業なし</p>				<p>・現状</p> <p>非常備の消防団車両（6分団・22分団）2台の更新整備を行います。</p>					
<p>・評価</p> <p>令和3年度の事業なし</p>				<p>・課題</p> <p>車両更新については、普通自動車オートマ限定免許で運用できるよう、車両総重量3.5t未満の小型ポンプ付き積載車へ統一して配備します。</p>					
<p>・課題に対する改善点</p> <p>令和3年度の事業なし</p>				<p>・取組</p> <p>消防団車両の更新整備は、「消防車両等更新基準」により20年での更新をしていきます。令和5年度からは、更新車両を10年のリース契約としていきます。</p>					

救急救助体制の強化								主管課：消防本部	
救急救命士養成事業		救命率の向上を図るため、より高度な救命処置が施せる救急救命士の養成や救急救命士の前段となる救急隊員を養成します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
消防総務課	8,759		8,405		1,911	7,481	0	7,481	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標	
救急救命士資格取得人数(人)	2	1	5	救急救命士人数(人)		29	31	34	
千葉県消防学校救急科受講人数(人)	2	6	9						
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
・取組 救急救命東京研修所に職員3名、救急救命士の前段となる千葉県消防学校救急科に職員6名を派遣しました。				・現状 高度救急医療への対応や更なる救命率の向上を図るため、救急救命士の配置は36名を目標としています。					
・評価 国家試験に合格し、3名の救急救命士が新たに誕生しました。				・課題 令和3年度末現在31名であり、救命士の育成が急務となっています。					
・課題に対する改善点 更なる救命率の向上や定期人事異動等に伴う救急隊員の入れ替えに対応するためにも、継続的に研修所等へ職員を派遣する必要があります。				・取組 令和4年度については、救急救命東京研修所へ2名、千葉県消防学校救急科に9名を派遣する予定です。					
消防・救急意識の向上								主管課：消防本部	
火災予防運動啓発事業		消防団による火災予防の広報や住宅防火指導等を積極的に実施し、出火の防止及び防火思想の普及啓発に努めるとともに、火災による被害の軽減を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
予防課	4,745		3,747		5,096	5,158	0	5,158	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標	
防火診断実施件数(件)	-	-	160	年間火災発生件数(件)		22	25	20	
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
・取組 火災予防運動及び歳末火災予防特別警戒の期間中、火災予防を呼びかける広報パトロールを実施しました。				・現状 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止せざるを得ない行事や活動が発生しています。					
・評価 火災の発生件数については令和3年中25件と前年に比較し3件増加しましたが、火災による死傷者は減少に転じることが出来ました。1件でも火災の発生件数を減らすため、今後も火災の抑制に繋がる効果的な啓発活動を行います。				・課題 コロナ禍における、新しい生活様式の変化に配慮した火災予防活動を展開するため、効果的で実効性のある火災予防活動を展開することが求められています。					
・課題に対する改善点 文化財防火デー訓練や単身高齢者世帯防火診断が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。今後は感染状況等を鑑み、感染予防対策を講じながら実施していきます。				・取組 火災予防運動及び歳末火災予防特別警戒の期間中に市内を巡視し、広報や啓発活動を行います。また、コロナ禍でありながらも効果的な手段を講じて、引き続き火災の発生と被害の軽減を図ります。					

主管部局 市民生活部 施策の目的 交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの交通事故発生件数	交通事故統計ちば(千葉県警察本部)	24.6	17.4	19.4	件	↓
人口1万人当たりの犯罪発生件数	人口1万人当たりの犯罪発生件数(1月~12月)(千葉県警察本部)	53.3	49.3	37.9	件	↓
消費生活相談件数	消費生活センターに寄せられた相談件数(消費生活センター)	1,734	1,489	1,517	件	-

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 流山警察署や市内小中学校など関係機関と連携し、道路状況に応じた交通安全施設の設置を行いました。自主防犯パトロール隊及び市民安全パトロール隊への活動支援、安心メールの配信及び登録推進、公道等への防犯カメラ新規設置、防犯協定締結の推進を図り、市民が安心安全で快適に暮らせるまちづくりを推進しました。専門相談員が消費生活に係る苦情・相談を受け、助言や斡旋を行ったほか、スキルアップのための研修に積極的に参加しました。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染拡大を受けた交通量の変化はあるとはいえ、令和2年度と比較すると交通事故件数が増加しており、更なる交通安全対策が必要と考えられます。業務で市内を循環する事業者と警察との防犯協定の締結など、様々な取組みの相乗効果により地域防犯力が向上し、防犯発生件数は減少しています。消費被害の回復と未然防止に努めたことにより、消費者の安心・安全な生活に寄与しました。</p> <p>・改善点 交通規制をかけることができない道路や、狭い道路など安全対策が難しい道路において、路面標示や電柱幕による注意喚起等により、工夫した安全対策を実施しました。安心メールの登録推進について、市内公共施設へのチラシの配架や登録相談会等を実施することにより登録推進に努めました。民法改正による成年年齢引き下げを見据え、市内の県立高校3年生に対する啓発を行いました。</p>	<p>・現状 人口と道路総延長が共に増加することが見込まれ、更なる交通安全対策が必要と考えられます。人口の増加により犯罪や消費トラブルが増加することが見込まれ、更なる防犯・消費者対策が必要と考えられます。</p> <p>・課題 これまで設置を進めてきた交通安全施設の劣化が進み、補修が必要な箇所が増えてくることが想定されます。E S C O事業により一括交換した灯具の劣化が進み、交換が必要な箇所が増えてくることと想定されます。成年年齢の引き下げや消費者トラブルとなる手口が多様化、複雑化等の環境変化にいち早く対応する必要があります。</p> <p>・取組内容 交通事故の件数、箇所、道路の状況など現状を的確に把握し、流山警察署や市内小中学校など関係機関と連携し、道路状況に応じた交通安全施設の設置を行うと共に、既存の交通安全施設の適切な維持管理に努めます。防犯灯・防犯カメラの設置や安心メールの配信、迅速な消費関連情報の発信、市民等による防犯活動の支援を実施し、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進します。</p>

交通安全対策の充実 主管課：道路管理課

交通安全施設整備事業	交通事故が多発している道路、その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、交通安全施設を整備して環境の改善を図ります。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
道路管理課	63,529		61,329		13,453		50,000	0	50,000
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
情報処理件数(件)	149	227	200	人身事故発生件数(件)			343	391	420

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 流山警察署や市内小中学校など関係機関と連携し、道路状況に応じた交通安全施設の設置を行いました。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染拡大を受けた交通量の変化はあるとはいえ、令和2年度と比較すると交通事故件数が増加しており、更なる交通安全対策が必要と考えられます。</p> <p>・課題に対する改善点 交通規制をかけることができない道路や、狭い道路など安全対策が難しい道路において、路面標示や電柱幕による注意喚起等により、工夫した安全対策を実施しました。</p>	<p>・現状 人口と道路総延長が共に増加することが見込まれ、更なる交通安全対策が必要と考えられます。</p> <p>・課題 これまで設置を進めてきた交通安全施設の劣化が進み、補修が必要な箇所が増えてくることが想定されます。</p> <p>・取組 交通事故の件数、箇所、道路の状況など現状を的確に把握し、流山警察署や市内小中学校など関係機関と連携し、道路状況に応じた交通安全施設の設置を行うと共に、既存の交通安全施設の適切な維持管理に努めます。</p>

防犯対策の充実 主管課：コミュニティ課

安心安全支援事業	防犯カメラの設置や安心メールの配信、市民等による防犯活動の支援を実施し、安心安全な市民生活を推進します。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
コミュニティ課	19,023		15,348		8,281		18,915	6,450	12,465
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)	72	72	73	刑法犯認知件数(件)			985	778	750
流山市民安全パトロール隊員数(人)	30	31	31	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%)			60	64	65

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 自主防犯パトロール隊及び市民安全パトロール隊への活動備品貸与、犯罪発生情報等の安心メール配信及び登録推進、公道等への防犯カメラの新規設置を行いました。</p> <p>・評価 教務で市内を循環する事業者と警察との防犯協定の締結など、様々な取り組み相乗効果により地域防犯力が向上し、防犯発生件数は減少しています。</p> <p>・課題に対する改善点 安心メールの登録推進について、市内公共施設へのチラシの配架や登録相談会を実施することにより登録推進に努めました。</p>	<p>・現状 自主防犯パトロール隊への活動備品貸与、犯罪発生情報等の安心メール配信及び登録推進、公道等への防犯カメラの新規設置を行います。</p> <p>・課題 流山市民安全パトロール隊が市直属の犯罪体制の組織づくりを行い市民の安全を確保していますが、隊員の高齢化が進行しています。</p> <p>・取組 防犯カメラの設置や安心メールの配信、市民等による防犯活動の支援を実施し、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進します。</p>

消費者情報提供事業	専門の相談員を配置し、被害に遭った消費者の救済や、トラブルを未然に防ぐための相談対応、情報提供及び啓発を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
コミュニティ課	17,754		17,001		2,624	17,871	234	17,637
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
相談件数(件)	1,489	1,517	1,517	相談により問題解決された割合(年度末時点)(%)		98	98	98
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 消費生活センターにおいて、来庁または電話による消費生活に係る苦情・相談を受け付け、新型コロナウイルス感染症関連の消費相談を含め、専門相談員が助言や斡旋を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 民法改正による成年年齢の引き下げ、キャッシュレス化の進展など、消費者を取り巻く環境が変化してきています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 消費生活相談者に対する適切なアドバイスや啓発活動等の実施により、消費トラブルの解決や被害の回復及び未然防止に寄与しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 消費者を取り巻く環境変化にいち早く対応する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 環境変化に応じた適切なアドバイスができるよう、専門相談員がスキルアップ研修に積極的に参加しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 専門相談員が環境変化に応じた適切なアドバイスができるよう、スキルアップ研修に積極的に参加していくとともに、ホームページやSNS等を活用して最新の消費関連情報の発信に取り組んでいきます。				

主管部局 市民生活部 施策の目的 地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
自治会への加入率	自治会加入世帯数÷常住人口世帯数×100 ※10月1日時点（コミュニティ課）	64.39	63.03	62.53	%	↑
市民活動団体の数	市民活動推進センター登録団体数+ NPO 法人数-重複団体数（コミュニティ課）	204	229	234	団体	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 自治会に対し、自治会館の維持管理及び大規模修繕、並びに新設する際の経費の一部補助などを行い、円滑な運営ができるよう支援するとともに、コロナ禍における行政情報共有手段の一つとして電子閲覧機能をもった地域SNSの導入を検討しました。また、令和4年度からの市民活動推進センター運営業務委託にあたり、サウンディング調査を踏まえた仕様書に基づきプロポーザル方式にて事業者選定を行い、中間支援機能の効果的な強化を図りました。</p> <p>・評価 市民活動推進センター運営業務委託にあたってはNPO支援のみならず、多様な地域課題解決に向けた新たな仕様により事業者選定をすることができたこと、また自治会への地域SNS導入の試みについても、その過程を通じ、自治会のニーズや先進的な取り組みを把握するきっかけとなりました。</p> <p>・改善点 自治会向けの地域SNS導入の試みについては、コロナ禍における情報共有のみならず、自治会の事務負担軽減の観点からも意味のある取組みでありましたが、実証実験に用いた地域SNSの事業者が急遽令和4年5月でサービス終了することが判明し、既存のSNSの有効活用を含め代替案を今後検討していきます。</p>	<p>・現状 自治会における円滑な運営支援のため各種補助などを継続してまいります。役員の手不足などの諸課題に加え、コロナ禍により顔が見える場の設定が困難であったことを起因とした自治会内でのコミュニティ形成の低下などが懸念されることから自治会内での情報共有の手法をいくつか示すことが必要となっています。市民活動団体支援において新たな事業者による市民活動推進センター運営業務委託の運用を開始しています。</p> <p>・課題 新たな委託先による市民活動の一層の推進について、行政はもとより多様な主体との連携を図ることが必要となっています。</p> <p>・取組内容 自治会における電子閲覧の導入検討にあたり既存SNSの有効活用や自治会向けアプリケーションの先進事例研究を行うと共に、国・県の動向を注視します。自治会長説明会に際し動画配信などICTを活用し市の取組みへのアクセス向上を図ります。市民活動推進センターにおいて市民、NPO、行政など多様な主体への「つなぐ」を意識した相談業務拡充などの中間支援機能強化により地域課題解決に向けた市民活動団体支援に努めます。</p>

地域コミュニティの活性化 主管課：コミュニティ課

自治会活動助成事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の維持管理に要する経費の一部に対し補助金を交付します。また、コミュニティ活動活性化に資する講座を開催するなどし、自治会活動を支援します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
コミュニティ課	26,599		25,232		6,536	28,583	2,672	25,911
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
自治会懇談会開催回数(回)	-	-	1	自治会加入率(%)		63	62	67
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 自治会館の維持管理及び大規模修繕、並びに自治会館を新設する自治会に経費の一部補助、行政文書等の閲覧等を行う自治会に交付金を交付し、自治会の円滑な運営ができるよう支援しました。行政情報を自治会に伝えるための方法の一つとして地域SNSの導入を検討しました。</p> <p>・評価 地域コミュニティの核の一つである自治会に対し、自治会活動の促進に向けた財政的な支援や活動の後方支援を行いました。</p> <p>・課題に対する改善点 地域SNS導入の試みは、自治会の事務負担軽減とコロナ禍における情報共有の手法の検討策の一つとして自治会のニーズを把握することができました。</p>	<p>・現状 引続き地域コミュニティの核の一つである自治会に対し、各種補助などを通じ円滑な運営のため支援を実施しています。</p> <p>・課題 令和3年度に導入を試みた地域SNSの提供事業者が急遽、令和4年5月にサービス終了することが判明しました。自治会加入率の向上や自治会の負担軽減を図ることが課題です。</p> <p>・取組 既存SNSの有効活用や自治会向け専用アプリなどの先進事例を研究し、具体的な代替策について検討していきます。</p>							

地域コミュニティの活性化 主管課：コミュニティ課

自治会館建設費補助事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の建設（新築・増築）に要する経費の一部に対し補助金を交付し、活動を支援します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
コミュニティ課	18,300		18,300		1,911	40,000	13,500	26,500
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
自治会館建設補助申請件数(件)	2	2	3	自治会加入率(%)		63	62	67
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 自治会が実施する自治会館建設に対し、自治会館建設事業に要する経費の一部を、自治会からの要望等に基づき、補助金の交付等を行い、自治会活動の円滑な運営のため支援をしました。</p> <p>・評価 2自治会が補助制度を活用し、自治会館を新築しました。（美原自治会、若葉台自治会）</p> <p>・課題に対する改善点 要望把握の更なる改善のため、次年度概算要望時にある程度の確度で要望額などを把握できるようにすることが課題です。</p>	<p>・現状 前年度要望に基づき、3自治会（南柏本州団地自治会、東自治会、前平井自治会）に建設事業に係る補助、2自治会（東自治会、おたかの森北東自治会）に貸付を行う予定です。</p> <p>・課題 適切に財政支援が図れるよう、自治会のニーズを早期に把握できるようにすることが課題です。</p> <p>・取組 毎年7月から8月にかけて受け付けている自治会からの次年度要望を継続しつつ、別途アンケート調査などにより、次年度以降の建設事業補助金の活用意向の把握に努めます。</p>							

NPO活動推進事業		市民活動団体による公益的な活動を支援するため、活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営や各団体が行う公益事業に対し補助金を交付し、協働によるまちづくりを推進します。							
		担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源
コミュニティ課		14,218		12,353		5,096	18,218	499	17,719
主な活動指標		R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
流山市民活動推進センター施設利用者数(人)		10,696	15,292	18,000	市民活動推進センター登録団体数(団体)		198	203	220
					市民活動団体公益事業補助金交付事業件数(事業)		5	2	4
令和3年度 of 取組みと評価・改善点					令和4年度 of 現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>市民活動公益事業補助金について設立間もない団体への支援を図るため補助上限額を10万円程度とした新しい枠組みを拡充し交付要綱改正を行いました。市民活動推進センター運営業務委託にあたりサウンディング調査を実施し練り上げた仕様書に基づき、プロポーザル方式にて事業者選定を行いました。</p>					<p>・現状</p> <p>新たな補助制度において、7事業の申請に対し、4事業が採択されている。また、4月1日から新たな事業者により、市民活動推進センターの運営業務委託が開始されている。</p>				
<p>・評価</p> <p>協働まちづくり提案調整会議からの提言書を踏まえた上での要綱改正実施は市民活動団体支援の裾野を拡大できた観点からプラスであり、市民活動推進センター運営業務委託先についても地域課題解決のため市民、市民活動団体、行政などを「つなぐ」を念頭とした中間支援機能が強化された仕様書において事業者選定でき支援体制強化が図られています。</p>					<p>・課題</p> <p>新たな補助制度運用における、書面での具体的な評価方法の確立と、市民活動推進センターが効果的かつ円滑に運用できるよう行政、団体等と密に連携していくことが課題です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>新たな補助制度運用における、書面での具体的な評価方法の確立と、市民活動推進センターが効果的かつ円滑に運用できるよう行政、団体等と密に連携していくことが重要と認識しています。</p>					<p>・取組</p> <p>補助制度運用に関しては、引き続き協働まちづくり提案調整会議に適宜諮り、懸案事項の解消に努めます。また、市民活動推進センターの庁内や市民への認知度向上を図り、市民活動の推進に努めます。</p>				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
健康寿命(平均自立期間)	日常生活動作が自立している期間の平均 (千葉県健康福祉部資料) ※1 数値は2015年(H27)、2016年(H28)、2018年(H30)、上段:65歳男性、下段:65歳女性	18.55 20.46(※1)	18.69 20.64(※1)	18.89 21.15(※1)	年	↑
生活習慣病による死者数の割合	死亡者数全体のうち、悪性新生物(がん)、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患、高血圧性疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、糖尿病による死者数の占める割合(千葉県衛生統計年報) ※2 数値は2017(H29)年、2018(H30)年、2019(R1)年	56.3(※2)	55.6(※2)	55.9(※2)	%	↓
一般診療所の数	千葉県衛生統計年報 ※3 数値は2017年(H29)、2018(H30)年、2019(R1)年	95(※3)	102(※3)	103(※3)	-	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、事業の中止や縮小等を行い各種保健事業を実施してきました。新型コロナウイルス感染症対策として効果が期待される2回のワクチン接種の実施にあたっては、医療機関での個別接種、常設集団接種、公共施設を使用した集団接種を実施し希望する市民の方が速やかに接種できるよう、接種機会の確保に努めました。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策と新型コロナワクチン接種の促進を図り、感染拡大状況を鑑みながら市民の健康維持のための各種健(検)診事業の実施ができました。</p> <p>・改善点 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が続く中で、市民の健康維持のための各種健(検)診事業を実施しましたが、健康教育や相談事業については縮小せざるをえませんでした。今後は、健(検)診事業のみならず、市民の健康増進に役立つ健康教育や相談事業の再開に向けた準備や検討を進めていく必要があります。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症の感染による影響が続く中、市民の健康の維持・増進を念頭に感染予防に配慮しながら今年度もできる限り事業を実施します。また、新型コロナワクチン4回目接種が示されたことから、引き続きワクチン接種を円滑に実施できるよう、国の動向を注視しながら接種機会の確保に努めます。</p> <p>・課題 長引く新型コロナウイルス感染症対策を継続する中でも、市民の健康の維持増進及び必要な各種保健事業について、今年度は極力実施していきます。また、新型コロナワクチン接種については、国から4回目接種の方針が示されたことから、円滑な実施に向けた準備を行う必要があります。</p> <p>・取組内容 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び新型コロナワクチン接種の促進を図りながら、今後は、健(検)診事業のみならず、市民の健康増進に役立つ健康教育や相談事業の再開に向けた準備や検討を進めていきます。</p>

ライフステージに応じた市民の健康づくり 主管課：健康増進課、企画政策課

健康づくり支援事業	第2次健康づくり支援計画(令和2~11年度)に基づき、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした健康づくりを推進します。ヘルスアップ教室や健康づくり推進員活動、市民健康まつり、健康チェックコーナー等を通じて、健康的な生活習慣を身につけるための機会の提供や健康情報の普及啓発、受動喫煙防止等のたばこ対策、保育所や学校等と連携した食育の推進などを行います。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	4,453		1,511		1,274		4,104	810	3,294
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
ヘルスアップ教室開催回数(回)	50	50	120	ヘルスアップ教室参加者(人)			114	126	270
				市民健康まつり参加者数(人)			-	-	1,000
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み								
<p>・取組 新型コロナウイルス感染症の流行により、ヘルスアップ教室は上半期中止、市民健康まつりは開催が中止となるなどの影響がありましたが、下半期には、感染防止対策の工夫を行い、ヘルスアップ教室を開催しました。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染症の流行により、感染対策を行いながらヘルスアップ教室を開催しました。外出自粛等により、運動機会が減り続ける中で、特定健診で保健指導の対象となった方をヘルスアップ教室の参加につなげるなど、可能な運動機会等の提供を行うことができました。</p> <p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な事業が中止となりました。感染の状況に応じ、より市民の健康づくりを推進できるよう努めていく必要があります。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症が引き続き流行しており、感染防止対策を講じての実施や、感染した場合の重症化リスクが高い方が集まる事業の見送りなどの配慮が引き続き必要な状況です。</p> <p>・課題 新型コロナウイルス感染症の流行により、健康づくりへのきっかけとなる講座等、人を集めての啓発が難しい状況です。</p> <p>・取組 新型コロナウイルス感染症の流行下でもヘルスアップ教室に安心して参加できるよう感染症予防対策に努め、密にならないよう参加定員を減らすなど市民の健康づくりを支援する取組みを行っています。また、健康づくりのきっかけとなる情報提供に努めています。</p>								

ライフステージに応じた市民の健康づくり 主管課：健康増進課、企画政策課

母子健康診査事業	母子保健法に基づき、母子の健康の保持増進を目的とし、妊婦、3~6か月児、9~11か月児、3か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、妊婦・乳児一般健康診査、3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を実施します。令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症発生状況に応じて、健診の一部を個別委託し実施します。また、令和3年度から新生児聴覚スクリーニング検査を実施しています。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	346,235		356,219		101,036		389,326	4,992	384,334
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
妊娠届出数及び転入妊婦数(人)	2,301	1,883	2,000	妊婦一般健康診査受診率(%)			91	92	95
3か月児、1歳6か月児、3歳児健診送数(通)	6,752	7,334	7,000	3か月児、1歳6か月児、3歳児健診受診率(%)			96	93	95
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み								
<p>・取組 令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、保護者が安心してお子様にとって適切な月齢で各種健康診査を受診できるよう、市内協力医療機関で受診する個別健診を含めた内容で実施しています。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら滞りなく各種健康診査を実施することができましたが、3か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診については、受診率が低下しました。</p> <p>・課題に対する改善点 1歳6か月児、3歳児健康診査の実施方法を一部医療機関での個別健康診査に変更したことにより、受診率の低下が見られたため未受診訪問を実施し、状況把握及び問診票を再交付することで受診勧奨を行いました。</p>	<p>・現状 令和4年度についても引き続き新型コロナウイルス感染予防に配慮し、引き続き適切な月齢で各種健康診査を実施します。</p> <p>・課題 コロナ禍における乳幼児健康診査の実施方法について、受診率の向上も考慮し、健康診査の実施方法について更なる検討が必要です。また、令和3年度から実施している新生児聴覚スクリーニング検査については、検査結果を確実に把握し、早期発見、早期療育につながるよう関係機関との連携に努めます。</p> <p>・取組 親子保健係及び妊娠育児サポート係が連携し、妊産婦から乳幼児まで切れ目のない支援を実施します。また、乳幼児健康診査においては、引き続き新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、健康診査の実施方法や体制を検討し、受診率向上及び未受診者の把握に努めます。</p>								

疾病の早期発見 主管課：健康増進課、保険年金課

予防接種事業	感染症の発生及びまん延を予防するための予防接種を行い、感染症による疾病の予防及び公衆衛生の向上を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与と費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	658,177		677,738		24,528	747,819	7,600	740,219
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
麻しん風しん1期個別勧奨数(通)	2,272	2,213	2,213	麻しん風しん1期接種率(%)		99	92	95
麻しん風しん2期個別勧奨数(通)	2,325	2,462	2,422	麻しん風しん2期接種率(%)		97	96	95
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>風しん抗体検査・風しん第5期予防接種は、時限措置最後の年として実施していたため、未接種者への新規クーポン発行や転入者への通知、広報等での周知を行いました。その他の定期予防接種についても、個別勧奨等で接種に関する周知を行いました。</p> <p>・評価</p> <p>風しん抗体検査を含め予防接種についても安全で適切な実施や接種率の確保のための接種勧奨に努めました。麻しん風しん混合ワクチン第1期については、接種率の低下が見られました。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>これまで、1歳6か月児健康診査の機会に、麻しん風しん混合ワクチン第1期(1歳)の接種勧奨を対面で実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により医療機関での個別健康診査となったことから、直接勧奨をする機会が減ってしまったため、4年度事業を活用した接種勧奨を検討します。</p>				<p>・現状</p> <p>令和4年度は、ヒトパピローマウイルス感染症予防接種の接種勧奨再開と積極的勧奨の差し控えにより接種する機会を逃した方へのキャッチアップ接種を実施します。風しんの抗体検査・風しん第5期予防接種については令和6年度まで3年間延長されます。</p> <p>・課題</p> <p>麻しん・風しん混合ワクチン第1期については、1歳6か月児健康診査を医療機関での個別受診としたため、直接の接種勧奨機会が減ったことにより、接種率が低下しました。</p> <p>・取組</p> <p>ヒトパピローマウイルス感染症予防接種とキャッチアップ接種の対象者へ個別通知を実施します。風しんの抗体検査・風しん第5期予防接種の実施期間延長に伴い、未接種者への新規クーポン券の発行や、転入者への通知を行います。また、1歳6か月児健康診査の個別通知を利用した接種勧奨を行い、接種率の向上を図ります。</p>				

疾病の早期発見 主管課：健康増進課、保険年金課

健康増進事業	健康増進法に基づき、健康に関する知識の向上、生活習慣の改善を図り、疾病の早期発見・早期治療のための健康診査や各種がん検診を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与と費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	363,242		309,712		54,601	371,037	17,497	353,540
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
がん検診精密検査受診率(精検受診者/要精検者)(%)※	51	-	55	がん検診精密検査未把握率(%)※		32	-	25
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行下における、がん検診の受け控えが懸念される中、安心してがん検診を受診できる体制づくりと周知、受診勧奨を行いました。具体的には、受診者の密集を防ぐために検診開催日数を増やし、呼び出し時間を細分化しました。また、医療機関で実施する検診については、極力受診回数を減らす工夫をしました。</p> <p>・評価</p> <p>各種がん検診のうち、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診においては前年度と比較して受診率の上昇がみられました。子宮がん検診については前年度から低下したものの、感染症流行前と比較して上昇がみられました。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>引き続き、受診控えがないような検診体制の整備と更なる受診率向上に向けて、受診勧奨及び、がん検診の重要性の啓発を行います。</p>				<p>・現状</p> <p>令和3年度に引き続き、安心してがん検診を受診できる体制づくりと受診勧奨を行っています。更に、実施を見合わせていた健康教育の再開に向けて準備をしています。</p> <p>・課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症流行下においても、受診率を維持することができていますが、例年、国の目標値には届いていない状況が続いています。また、精密検査受診率が低く、疾病の早期発見につながっていないことが懸念されます。</p> <p>・取組</p> <p>受診率及び精密検査受診率の向上に向けて、個別通知や電話等により受診勧奨を行っていきます。また、健康教育の実施により、がんに対する正しい知識の啓発を図っていきます。</p>				

疾病の早期発見 主管課：健康増進課、保険年金課

特定健康診査等事業	国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査や特定保健指導を実施します。生活習慣病の予防を図るため、流山市国民健康保険データヘルズ計画に基づき、令和2年度から開始した糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象者への更なる周知やAIによる特定健診受診勧奨を実施し、被保険者の健康と医療費の適正化を目指します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与と費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	149,596		127,640		42,235	155,352	155,352	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
AI分析による特定健診受診勧奨通知(件)	-	30,544	31,000	特定健診受診率(%)※		43	-	57
特定保健指導利用勧奨数(件)	534	169	500	特定保健指導利用率(%)		30	20	30
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>特定健診については、AIによる受診勧奨を行い健診未受診者及び40～50歳代への受診促進に努めました。特定保健指導の受診率向上のため、医療機関と連携し受診勧奨を引き続き行いコロナ禍では訪問に代えて電話勧奨を行いました。また40代の受診率向上のため、令和3年度より希望者に対して、土日やオンラインによる保健指導を開始しました。</p> <p>・評価</p> <p>特定健診の令和3年度の受診率はコロナ禍の影響を強く受けた昨年に比べて上昇していますが、40～50歳代の受診率は30.6%とわずかに上昇しているものの、依然として低い位置を推移しています。特定保健指導は40～60歳代の対象者に、訪問や電話勧奨を実施しましたが、接触できる確率が低くアプローチ方法の検討が必要です。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>特定健診は、コロナ禍の影響は低減していくと想定されますが、状況に合わせて勧奨時期等を柔軟に変更しながら受診勧奨を行います。また、国保新規加入者に対する受診券の送付は、申請方式から自動的に送付する方式とし、未受診者とならないよう健診の機会を提供していきます。コロナ禍でも訪問件数が減少しないよう早期に訪問勧奨に取り組みます。</p>				<p>・現状</p> <p>特定健診については、引き続きAIによる受診勧奨を行い、健診未受診者及び40～50歳代への受診を促進します。また、医療機関と連携し、特定健診・保健指導の受診率の向上及び市民の健康増進に努めます。</p> <p>・課題</p> <p>特定健診は、コロナ禍の影響を受けた時期に比べ、受診率は上昇していますが、受診控えは残っていると考えられます。40～50歳代の受診率は低い位置を推移しているため、受診勧奨が必要です。若い世代に介入できるようニーズの把握に努め、早期に受診勧奨を行えるよう実施方法を検討します。</p> <p>・取組</p> <p>特定健診は、健診実施状況に合わせて勧奨時期等を柔軟に変更し、令和3年度に受診した不定期受診者・初受診者への継続受診の強化を行います。また国保新規加入者へのアプローチ(受診券の自動送付)を実施し、中長期的に継続受診者の増加に努めます。また、特定保健指導受診率向上のため、訪問による受診勧奨を早期に実施します。</p>				

疾病の早期発見 主管課：健康増進課、保険年金課

成人集団検診予約システム導入事業	成人集団検診に予約システムを導入し、24時間検診の空き状況を確認しながらインターネット予約することで、人数制限による密集を避けた安心安全な集団検診の場を提供します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	671		671		12,740	1,320	0	1,320
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
集団検診登録者数(人)	-	37,974	38,000	集団検診登録者数に対する予約者数の割合(%)		-	61	65
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 がん集団検診予約システムの運用を開始し、受診者予約状況を管理することで受診の集中化を防ぎ新型コロナウイルス感染症対策を講じ市民の皆様様に検診を受けていただけるよう取り組みました。				・現状 新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し、検診を控えたいと考えている市民が安心して受診できるよう、引き続き検診予約システムによる管理を続けます。				
・評価 検診予約システムの導入により、受診者の検診の場での密集を避けることができたため、感染リスクを軽減した検診の場を提供することができましたが、システムの操作方法の周知が不足し、受診者よりシステムの入力に関する問い合わせが多くあります。				・課題 受診者からの予約システムの操作に関する問い合わせが多いことから、入力方法について広報等により周知を図る必要があります。受診者自身が予約をすることは、受診者の受診意識を高めることにもつながると考えます。				
・課題に対する改善点 予約においてインターネットを活用した予約が少ない傾向にあるためシステム入力について周知を図っていき、当面問い合わせについて入力が不得手な方には職員が代行入力を行い受診予約の支援を行います。				・取組 予約システムの利用を促進するため、受診者へシステムの入力方法の手順書を送付し周知を図ります。システムの入力が不得手な方についても当面、職員の代行入力を引き続き行い受診率向上を目指します。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

医療体制整備・確保事業	平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急における初期診療・応急処置(第1次救急)、市内3病院における第2次救急など、流山市医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て、必要な医療提供体制の整備・確保を図ります。また、市内の病院等における看護師等の確保に資するよう、病院内保育を運営する病院に対する補助金制度のほか、看護学校等に在学中の方で、将来市内の病院等施設で看護師等として働く意思のある方に対し、修学資金の貸付けを行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	93,258		89,733		1,911	96,974	3,118	93,856
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
平日夜間・休日診療所開設日数(日)	365	365	365	平日夜間・休日診療所、夜間小児救急医療、第2次救急医療利用者数(人)		1,366	2,309	2,300
				看護師学校修学資金貸付金申請件数(件)		26	38	53
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 流山市平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急、2次救急など医療提供体制の維持のほか、院内保育の助成、看護師等修学資金貸付により、医療人材の確保に取り組みました。				・現状 新型コロナウイルス感染症が引き続き流行している中でも、夜間・休日の医療提供体制を維持しています。				
・評価 流山市医師会等の協力を得て、新型コロナウイルス感染症の流行下においても、必要な医療提供体制の維持に努めました。				・課題 新型コロナウイルス感染症の流行下においても、引き続き医療提供体制を維持していく必要があります。				
・課題に対する改善点 流山市平日夜間・休日診療所において、新型コロナウイルス感染症の流行下においても必要な1次救急が提供されるよう、流山市医師会等と緊密な連携を図り、取り組みました。				・取組 流山市医師会等と緊密な連携を図り、引き続き医療体制の維持に努めていきます。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

健康危機管理整備事業	県や関係機関との連携・協力のもと、災害や新型インフルエンザ等感染症など、市民の生命や健康を脅かす健康危機が発生した場合に備え、健康危機管理体制を構築します。災害発生時に備え、救護所用の医療資器材や医薬品の備蓄を実施するなど、医療救護体制の整備を行うとともに、新型インフルエンザ等感染症の発生に備え、ワクチンの住民接種体制の整備、感染者に接触する職員等の個人防護具や消毒薬等の備蓄など、新型インフルエンザ等感染症に対する対応体制等を構築します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	3,816		5,777		1,274	3,893	0	3,893
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
災害医療対策会議実施回数(回)	-	-	2	ランニング備蓄店舗数(件)		32	37	42
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 救護所における感染症対策に使用するため、パルスオキシメーターを追加購入しました。また、救急医療バッグ内の器具を定期点検しました。				・現状 新型コロナウイルス感染症の流行下にあり、感染症対策に最前線で取り組んでいる関係機関との災害医療対策会議の開催が難しい状況が続いています。				
・評価 全ての救護所(5か所)の必要物品を確認しました。救護所用の医薬品のランニング備蓄店舗数が5件増えました。				・課題 新型コロナウイルス感染症流行と自然災害等の同時発生への備えとして、「医療救護活動マニュアル」を実践できるよう関係機関で情報共有が必要です。また、マニュアルには、新型コロナウイルス感染症のみならず感染症全般への対策を追記する必要があります。				
・課題に対する改善点 引き続き、自然災害等への備えが必要であるとともに、さらに新型コロナウイルス感染症流行下の発災への対策についても、災害医療対策会議で検討する必要があります。				・取組 災害医療対策会議を中心に、流山市医師会、流山市歯科医師会、流山市薬剤師会等の関係機関と災害医療救護活動合同研修会を開催します。災害医療対策会議で「医療救護活動マニュアル」の感染症対策について検討します。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

保健センター施設整備事業	母子や成人の健（検）診、健康相談・教室等の各種保健事業のほか、平日夜間・休日診療所を併設し、地域保健の拠点としての機能を担う保健センター（昭和62年3月竣工）について、計画的な改修整備を行い、施設設備の利便性の向上と長寿命化を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	23,342		19,820		12,740	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組	竣工時（昭和62年）から設置され、経年劣化が進んでいたエレベーターの更新工事を行いました。				・現状 個別施設計画に基づき、計画的修繕を実施しています。			
・評価	個別施設計画による計画的な修繕により、施設の維持管理が図られています。				・課題 健（検）診、健康教育や相談事業等の各種保健事業のほか、平日夜間・休日診療所を併設し、地域保健の拠点としての機能を担う保健センターを長期的に利用できるように整備していく必要があります。			
・課題に対する改善点	日頃の施設の維持管理に努め、長期的な利用に努めていく必要があります。				・取組 施設内の照明を蛍光灯からLEDへの改修工事を行います。			

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

新型コロナウイルス感染症対策事業（健康増進課）	流山市PCR検査センターの設置・運営により新型コロナウイルス感染症の検査体制の確保を図ります。また、流山市新型コロナウイルス感染症対策医療提供促進交付金の交付により、市内の医療機関での新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）の入院受入及び検査体制の促進を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	120,747		509,365		29,025	257,997	22,365	235,632
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
新型コロナウイルス相談専用ダイヤルへの問い合わせ件数(件)	6,056	16,654	-	市内居住者新型コロナウイルス感染者(人)		890	11,584	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組	流山市新型コロナウイルス相談専用ダイヤルによる健康相談、流山市PCR検査センターの運営、市内医療機関に対し流山市医療提供促進交付金の交付、高齢者施設への感染症認定看護師等の派遣、感染者が確認された学校、保育園、学童や高齢者施設等においてPCR検査の実施や抗原検査キットの配布等、感染拡大防止等に取り組みました。				・現状 未だ新型コロナウイルス感染症の流行は収束しておらず、感染予防対策に努めるとともに、引き続き市民の不安を軽減する施策展開が必要な状況です。			
・評価	流山市医師会や保健所等と連携して、感染拡大防止、入院及び検査体制等の促進を図りました。				・課題 流山市医師会や保健所等と一層の連携を図り、流動的な感染状況に応じた感染拡大防止等に取り組む必要があります。			
・課題に対する改善点	流山市医師会や保健所等と一層の連携を図り、流動的な感染状況に応じた感染拡大防止等に取り組む必要があります。				・取組 感染症の流行状況により国や県が展開する施策を注視し、引き続き市民の不安を軽減する相談業務等の施策に取り組んでいきます。			

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

新型コロナウイルス感染症対策事業（商工振興課）	セーフティネット信用保証制度4号認定付きの市制度融資を受けた市内事業者に対し、融資に係る利子及び信用保証料を全額補助します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
商工振興課	264,787		262,482		6,370	241,461	180,000	61,461
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				融資件数(件)		165	72	15
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組	新型コロナウイルスの感染拡大により市内経済が大きな影響を受ける中、流山商工会議所をはじめとする関係機関と連携を図りながら市内商工業者に対する支援事業を実施しました。				・現状 コロナ禍により市内経済は大きな影響を受けていることから、引き続き関係機関と連携を図り、市内事業者等に対する支援を行います。			
・評価	市資金融資制度を活用し、セーフティネット4号認定を受けた中小事業者等の利子及び信用保証料の全額補給を行うとともに、テナント支援協力金事業、テイクアウト・デリバリー応援事業など、市独自の事業を実施でき、参加者の満足度を得ることができたと考えます。				・課題 セーフティネット信用保証制度が6月に期限を迎えるものの、延長の可能性があるため、情報収集を行います。			
・課題に対する改善点	引き続き新型コロナウイルスの影響が出ることが予想されるため、流山商工会議所と新たな事業を模索する必要があります。				・取組 流山商工会議所の商業部会・工業部会の参加者とこれまで以上に連携を図ります。			

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

新型コロナウイルス感染症対策事業 (保育課)	保育所等に必要アルコール消毒液などの購入に補助金を交付します。また公立保育所ではICTを活用した業務支援システム導入と手洗い場の自動水栓化により保育士の業務負担軽減及び接触機会低減による衛生面の向上を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
保育課	47,000		39,882		1,482	63,742	27,100	36,642
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
補助施設数(件)	83	80	80					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 市内保育施設における新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金の交付を実施しました。				<p>・現状</p> 市内保育施設において新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る情報共有や補助金交付を実施しています。				
<p>・評価</p> 市内保育施設に補助金を交付したことで、保育施設の新型コロナウイルス感染症対策に寄与できました。				<p>・課題</p> 感染拡大を防ぐために継続的な市内保育施設の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が必要です。				
<p>・課題に対する改善点</p> 保育施設の感染拡大を防ぐために施設の衛生面の向上に取り組めます。				<p>・取組</p> 新型コロナウイルス感染拡大防止として、保育所等が消耗品や備品購入等に係る費用に対して補助金の交付をします。公立保育所の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ICT化及び手洗い場の自動水栓化工事を行います。				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

新型コロナウイルス感染症対策事業 (情報政策・改革改善課)	テレワーク中においても職場と同等の環境で業務ができるように構築したネットワーク環境を、緊急時にも直ちに活用できるよう引き続き維持します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
情報政策・改革改善課	5,746		5,722		637	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
利用可能テレワーク用パソコン台数(台)	50	50	50	テレワーク用パソコン利用依頼に対する充足割合(%)		100	100	100
オンライン会議用有料アカウント数(アカウント)	10	10	10	オンライン会議用アカウント利用依頼に対する充足割合(%)		100	100	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 令和2年度に導入したテレワーク用パソコン及びオンライン会議用アプリケーションを引き続き活用しました。また、働き方改革等による生産性の向上を図るため、試行要領を定め、一部のテレワーク用パソコンについて庁外での研修や会議等でも利用しました。				<p>・現状</p> 本事業については、活用等について検討していくものの経常的な要素が強いことから令和4年度からは「全庁LAN整備事業」に統合しました。				
<p>・評価</p> 令和3年3月下旬からの第4波、7月から第5波、令和4年1月からの第6波においても、必要に応じ、テレワーク用パソコンを活用した在宅勤務やオンライン会議用アプリケーションを活用した打合せや研修等の実施により、業務に大きな支障をきたすことなく対応できました。				<p>・課題</p> -				
<p>・課題に対する改善点</p> テレワーク用パソコンを効率的に活用するため、平時における利用についても引き続き検討していく必要があります。				<p>・取組</p> -				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

新型コロナウイルス感染症対策事業 (学校教育課 保健衛生分)	新型コロナウイルス感染症対策用として、市内公立小学校及び中学校で使用継続的に必要な消毒用アルコールなどの保健用物資を購入します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校教育課	29,495		30,995		1,689	19,000	0	19,000
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
予算執行率(%)	99	78	-	学校内クラスター発件数(件)		-	-	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 消毒用アルコールや検温計などの保健用物資を購入しました。				<p>・現状</p> (令和3年度のみ主要事業)				
<p>・評価</p> 抗原検査キットの購入など、学校での感染予防対策に努めました。				<p>・課題</p> (令和3年度のみ主要事業)				
<p>・課題に対する改善点</p> 引き続き消毒用アルコールの購入など、学校内で感染拡大しないよう感染予防対策をしていきます。				<p>・取組</p> (令和3年度のみ主要事業)				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

新型コロナウイルス感染症対策事業 (指導課)	新型コロナウイルス感染症対策として、教育企画研究室やフレンドステーションで使用する継続的に必要な消毒用アルコールなどの保健用消耗品を購入します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	171		167		6,370	171	0	171
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
予算執行率(%)	100	98	100					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>新型コロナウイルス感染症として、フレンドステーションに通級する児童生徒や教育相談のために来室する保護者の感染症拡大防止のため、消毒用アルコールなどの保健用消耗品を購入しました。</p>				<p>・現状</p> <p>(令和3年度のみ主要事業)</p>				
<p>・評価</p> <p>継続的に使用することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>(令和3年度のみ主要事業)</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>執行率100%を目指しましたが、98%でした。</p>				<p>・取組</p> <p>(令和3年度のみ主要事業)</p>				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

新型コロナウイルス感染症対策事業 (中央消防署)	新型コロナウイルス感染症の陽性傷病者を取り扱った職員の二次感染によるクラスターの発生防止と、職員の不安及びストレスを取り除くためにPCR検査を行います。また、救急医療廃棄物等の適切な廃棄を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
中央消防署	792		6,688		12,665	850	0	850
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
PCR検査実施率(%)	-	100	-					
救急医療廃棄物廃棄率	-	100	100					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>新型コロナウイルス感染症の陽性傷病者を取り扱った職員の二次感染によるクラスターの発生防止と、職員の不安及びストレスを取り除くためにPCR検査を行いました。また、救急業務等の活動を実施した職員が使用した感染防護衣、マスク等について適切な廃棄を行います。</p>				<p>・現状</p> <p>未だ、終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症に対し、適切な感染対策により、職員の二次感染防止と職員の不安・ストレスを取り除く必要があります。</p>				
<p>・評価</p> <p>職員の二次感染によるクラスターの発生防止及び職員のストレス軽減に繋がりました。</p>				<p>・課題</p> <p>感染者が増加することにより、クラスターの発生確率が増え、職員の不安・ストレスが強くなります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>適切な感染対策や活動後のPCR検査の徹底により、職員の二次感染によるクラスターの発生を防ぎます。</p>				<p>・取組</p> <p>ワクチン接種3回目実施が普及したことまた、出勤時の感染対策の徹底により、職員の不安及びストレスの軽減が図られたため、PCR検査は中止とします。引き続き、救急医療廃棄物等の適切な廃棄に努めます。</p>				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課

新型コロナウイルス感染症対策事業 (高齢者支援課 高齢者施設分)	新型コロナウイルス感染症対策のため、市内のサービス付き高齢者向け住宅等を対象に居室に簡易陰圧装置を設置する際に、県の地域医療介護総合確保基金を活用し補助します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	8,640		1,139		0	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
設置台数(台)	-	-	-					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>県補助金要綱が定まらない時期に先行して、事業所から聞き取りのみで予算措置をしたところ、寸法の不一致、入札要件、その他条件が後から加味されたため撤退されました。</p>				<p>・現状</p> <p>対象事業所が設置を検討していないため終了とします。</p>				
<p>・評価</p> <p>陰圧装置の効果について、金額と利用頻度から総合的に考えると、日常生活に必要な性を感じる事ができなかったと思われます。</p>				<p>・課題</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策として、陰圧装置そのものが普及しておらず、効果が不透明です。</p>				<p>・取組</p>				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
新型コロナウイルス感染症対策事業 (健康増進課 ワクチン接種分)	流山市医師会の協力のもと、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
健康増進課	865,496		2,323,716		91,706	1,112,341	1,112,341	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
市内新型コロナワクチン接種施設数	-	68	68	新型コロナワクチン接種実施回数		-	358,690	115,500
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 医療機関での個別接種、市内3か所の常設集団接種会場を開設したほか、公共施設を使用した集団接種を実施し、希望する市民が接種を受けることができるよう努めました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 1～3回目接種を引き続き進めるとともに、4回目の接種が開始される見込みです。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 1・2回目は対象者の約90%、3回目は重症化リスクの高い高齢者の84%が接種を受けており、希望する市民の接種は進んでいます。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 追加対象者の接種間隔の変更があった場合にも、希望する市民が速やかに接種を受けることができるよう、接種体制を整えます。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 1・2回目接種時には高齢者の対象時期にコールセンターがつながりにくくなったことから、追加接種の際には接種券の郵送時期を調節し、一時期に予約が集中しないようにするとともにコールセンターの回線の増設、予約サポート窓口の設置を行い、予約が取りやすくなるよう取り組みました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 接種対象者の多い時期には集団接種を計画するとともに、医師会と連携し、接種を希望する市民が希望の時期・場所で接種を受けることができる体制を引き続き維持していきます。				
地域医療体制や健康危機管理体制づくり		主管課：健康増進課、消防防災課						
新型コロナウイルス感染症対策事業 (商工振興課 グループ提案型 売上アップ・プロジェクト)	新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた市内事業者の売上回復と市内経済の活性化の促進するため、グループ提案型売上上げアップ事業にかかる経費の一部を補助する事業です。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
商工振興課	0		0		6,370	6,022	0	6,022
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
応募件数(件)	-	-	6	補助金交付件数(件)		-	-	3
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 (令和4年度のみ主要事業)				<ul style="list-style-type: none"> 現状 多くのグループの提案を得られるよう事業の周知活動を行います。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 (令和4年度のみ主要事業)				<ul style="list-style-type: none"> 課題 補助する事業については、新型コロナウイルスの感染状況にも配慮する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 (令和4年度のみ主要事業)				<ul style="list-style-type: none"> 取組 流山商工会議所などを通じて、事業の周知を図ります。				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	「日ごろから何らかの学習活動（生涯学習）を行っていますか」に「はい」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	47.1	36.7	36.8	%	↑
学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	「学びたいときに学べる環境が整っていると思うか」に「整っている」「どちらかといえば整っている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	-	56.2	53.4	%	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。子育て施設との複合施設である南流山地域図書館の整備を進めました。スタートおたかの森ホールの一画に、おたかの森図書ピックアップセンターを開設しました。また、施設のバリアフリー化を推進するため、北部公民館に新たにエレベーターを設置しました。</p> <p>・評価 「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」については、市民の皆様から多くの意見をいただき十分な審議を重ねることができました。おたかの森図書ピックアップセンターにおいては、おたかの森市民窓口センターから独立したことで利用者の利便性を高めることができ、利用者数及び貸出点数が増えました。また、北部公民館のエレベーター設置工事中は、施工業者が安全対策及び感染症対策に努めました。</p> <p>・改善点 「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもの豊かな心を育む読書習慣を形成するための具体的な方策をまとめました。おたかの森図書ピックアップセンターでは、従来から行っていた予約資料の貸出、返却のほか、図書館で行っているサービスが概ね受けられるようになりました。また、北部公民館の施設のバリアフリー化の推進に努めました。</p>	<p>・現状 子どもの年齢が上がるにつれて読書離れが進む傾向が見られる中、読書への関心を高めるため、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの発達段階に応じた取組を推進していく必要があります。南流山地域図書館の整備に伴い、南流山センター内の図書分館が移動するため、空きスペースの整備を進めます。</p> <p>・課題 長期化するコロナ禍で各事業の実施が困難な場合もあります。感染状況を注視しながら企画、運営していく必要があります。さらに施設の維持管理を適正に行うために、改修や整備を計画的に進めるように努めます。</p> <p>・取組内容 「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境の充実に努めます。子育て施設との複合施設である南流山地域図書館の整備を進めます。また、南流山センター内の図書分館が移動するため、内装改修工事を行い健康増進課の相談室や会議室の整備を進めます。さらに屋上防水及びタイル以外の外壁改修工事を行います。</p>

多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業	夏休み期間中、保護者が日中働いている小学生に対して、学校施設の一部を使用して体験学習などを行います。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
公民館	2,902	2,792	3,987	3,228	2,240	988	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
募集定員(人)	-	100	100	参加延べ人数(人)	-	97	100
イベント回数(件)	-	34	40				
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 夏休みの宿題や読書の時間の他、紙芝居や科学実験等のイベントを各校17回組み込み、幅広い学習プログラムを実施しました。</p> <p>・評価 子ども達からは、沢山のイベントがあつてとても楽しく、友達が出来ました等の感想があり、保護者からも子供が毎日楽しそうと大変好評でした。</p> <p>・課題に対する改善点 コロナ禍の実施のため、消毒や換気等の徹底や活動場所も制限される中での実施となり、参加児童の家族も含め体調管理に協力を求めて実施します。</p>	<p>・現状 「夏休み子ども教室」事業を7月21日から8月30日まで(土日・祝日・お盆8月12日・15日を除く)の26日間、小山小学校と南流山小学校の2校で、各校50人の定員募集で実施します。</p> <p>・課題 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応を取りつつ、事業を実施します。</p> <p>・取組 引き続き夏休みの宿題や読書の時間の他、多彩なイベントを実施し幅広い学習プログラムを実施します。</p>						

多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

図書館資料購入事業	図書をはじめ、電子書籍・雑誌・新聞・視聴覚資料などの図書館として必要な資料を購入します。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
図書館	36,320	36,319	49,342	39,320	0	39,320	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
図書購入冊数(冊)	14,299	26,054	15,033	蔵書冊数(冊)	500,446	520,950	535,983
視聴覚資料購入点数(点)	486	502	387	貸出点数(月平均)(点)	78,767	97,865	117,438
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 「流山市立図書館資料収集方針」のほか、「流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、資料を購入しました。</p> <p>・評価 図書、雑誌、視聴覚資料、電子書籍のバランスを取りながら、幅広い分野の資料を購入しました。</p> <p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルスの感染防止対策として、自宅でも読書を楽しめる電子書籍の利用を促進するため、料理、手芸、育児等の実用書や児童書等も購入して電子書籍を拡充しました。</p>	<p>・現状 引き続き計画的に資料を購入します。</p> <p>・課題 新型コロナウイルスの影響により図書館に来館できない人も多いことから、自宅でも読書を楽しめる電子書籍の所蔵点数を増やしていく必要があります。「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、児童書の充実を図ります。</p> <p>・取組 資料の利用状況をきめ細かく把握しながら計画的に購入します。</p>						

多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

おたかの森こども図書館資料充実事業	幼い頃から本に親しみ、生涯を通じた読書活動のステップとするため、子どもの読書活動推進計画に基づくブックスタート関連事業として、市内子育て関連施設に「乳幼児向けブックセット」を設置します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
図書館	1,045		1,000		15,116	1,050	0	1,050
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
ブックセット設置施設数(施設)	95	14	14	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数(人)		11,641	15,648	21,907
ブックセット設置冊数(冊数)	1,935	924	922					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 手作りのケースに絵本6冊を入れたブックセットを製作し、市内に新設された子育て関連施設に設置しました。				・現状 子育て関連施設が毎年増加するため、ブックセットを設置済みの子育て関連施設に絵本を追加して贈ることは見直すこととし、市内に新設された子育て関連施設を対象にブックセットを設置していきます。				
・評価 市内に新設された保育園、児童センターにブックセットを設置し、子どもの読書活動についての理解・関心を深め、子どもがいろいろな絵本に親しめる環境づくりを支援することができました。				・課題 ブックセットを設置済みの子育て関連施設に対する支援をどのように継続していくかが課題です。				
・課題に対する改善点 今後の事業のあり方を検討するため、ブックセットを既に設置した子育て関連施設を対象にアンケートを実施し、ブックセットの利用状況や要望について調査しました。				・取組 子どもの読書活動を推進し、子どもを取り巻く読書環境の整備を継続的に支援していくため、ニーズに合った長期的な事業のあり方について検討します。				

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

南流山地域図書館整備事業	令和4年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に整備する子育て支援施設(子育て世代活動支援センター及び児童センター)との複合施設として、(仮称)南流山地域図書館を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
図書館	641,000		112,949		21,187	324,015	303,337	20,678
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
工事進捗率(%)	1	67	100					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 建設工事と外構に係る設計を実施しました。				・現状 工事の進捗に合わせながら開館準備を進めています。12月開館に向け事故等が無いよう進捗管理をしています。				
・評価 完成に向け、必要な変更を行い、計画通りに工事が進みました。				・課題 南流山地域図書館を完成させ12月から開館する必要があります。また、南流山中学校の各種行事への影響を最小限にした工事を実施しなければなりません。				
・課題に対する改善点 南流山中学校の各種行事への影響を限りなく少なく出来るよう協議を重ねました。				・取組 工事監理者及びファシリティマネジメント室と連携し、工事の進捗管理を行います。南流山中学校と協議を行い学校行事への影響を最小限に抑えます。				

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

文化会館施設整備事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、文化会館ホールの改修を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
公民館	0		0		0	2,800	2,800	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
工事進捗率(特定天井改修設計業務委託)(%)	-	-	100	稼働率(市民会館)(%) 利用日数/開館日数		29	50	40
				利用者アンケート調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)		48	44	50
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 新規事業のため該当はありません				・現状 文化会館ホール特定天井を建築基準法施行令第39条第3項の規定に基づき大臣が定める技術基準に従って脱着対策をすることが求められています。				
・評価 新規事業のため該当はありません				・課題 ホール特定天井の脱着防止のため、改修に伴う設計業務を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 新規事業のため該当はありません				・取組 ホール特定天井の脱着防止のため、改修に伴う設計業務委託を実施します。				

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

中央図書館改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した中央図書館を改修します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
図書館	396		396		14,817	1,550	1,300	250
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
工事進捗率(設計業務)(%)	-	-	100					
工事進捗率(出入口ドア改修)(%)	-	100	-					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>1階出入口ドアの改修作業を実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>開館して4年経過しており建築物や設備が老朽化しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>出入口ドアを改修したことにより利用者の安全を確保することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に戻すだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>出入口の利用制限を最小限に抑え改修作業を実施しました。</p>				<p>・取組</p> <p>緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施します。自動火災報知設備及び非常用放送設備の改修を進めます。</p>				

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

南流山センター施設整備改修事業	(仮称)南流山地域図書館の整備により、南流山センター内の図書館分館が移動することから、センター内の空きスペースの改装を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
公民館	2,650		3,388		4,535	70,106	55,400	14,706
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
工事進捗率(設計業務委託)(%)	-	100	-	稼働率(%) 利用日数/開館日数		67	74	70
工事進捗率(内装改修、屋上防水及び外壁改修)(%)	-	-	100	利用者満足度調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)		56	57	58
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>関係課と協議を行った上で、工事設計書を作成するための設計業務委託を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和3年度の設計業務委託に基づき、内装改修を進めます。</p>				
<p>・評価</p> <p>設計業務委託を年度内に完了することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>工事期間中の施設使用者の安全対策を行う必要があります。また、施工業者が安全対策及び感染症対策を徹底するよう指導する必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>計画的に事業を進めるため、徹底したスケジュール管理を行います。</p>				<p>・取組</p> <p>令和3年度の設計を基に南流山センター内装改修を実施します。【関連事業：施策2-3 文化・芸術 南流山図書館整備事業】改装に伴い、一部の備品を更新します。また、屋上防水及び外壁改修工事を実施します。</p>				

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

北部公民館施設整備改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、北部公民館のエレベーターを整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
公民館	71,000		68,772		4,535	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
団体及び公民館事業による利用回数(回) 行政報告より	2,697	3,676	3,700	稼働率(%) 利用日数/開館日数		55	61	65
利用者数(人) 行政報告より	29,602	42,156	44,000	利用者満足度調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)		70	68	70
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>エレベーター設置工事を実施しました。工事は令和3年12月6日に完了しました。</p>				<p>・現状</p> <p>前年度で事業が完了しました。</p>				
<p>・評価</p> <p>感染症対策や安全対策を徹底して工事を実施しました。</p>				<p>・課題</p> <p>前年度で事業が完了しました。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>施設のバリアフリー化推進に努めました。</p>				<p>・取組</p> <p>設置したエレベーター管理を適切に行い、利用者に安全で快適な環境を提供します。</p>				

生涯学習の環境整備								主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館									
東部公民館施設整備改修事業		利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した外壁レンガの改修工事を実施します。															
担当課		R3当初予算				R3決算見込				R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
公民館		0				3,509				3,660		0		0		0	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標				R2実績		R3実績		R4目標	
工事進捗率(%)		-		100		-		稼働率(%)※利用日数/開館日数				39		55		60	
								利用者満足度調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)				59		62		65	
令和3年度の取組みと評価・改善点								令和4年度の現状・課題・取組み									
・取組		外壁タイル部分が老朽化により、はく落したため、はく落防止の改修工事を行いました。															
		・現状 老朽化した施設を適切に管理する必要があります。															
・評価		タイルのはく落発生から、いち早く現場に赴き、利用者の安全確保に努めました。早急に予算化し、同年度内に工事を完了することができました。															
		・課題 老朽化した施設を適切に管理する必要があります。															
・課題に対する改善点		今後も施設の維持管理を行い、利用者に安全で快適な施設の提供に努めます。															
		・取組 必要に応じた改修を行い、施設の維持管理に努めます。															

生涯学習の環境整備								主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館									
博物館改修事業		利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した施設の改修を進めます。															
担当課		R3当初予算				R3決算見込				R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
博物館		0				0				0		1,550		1,300		250	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標				R2実績		R3実績		R4目標	
令和3年度の取組みと評価・改善点								令和4年度の現状・課題・取組み									
・取組		令和3年度は実施事業はありませんでした。															
		・現状 開館して44年経過しており、施設の老朽化が進んでいます。															
・評価																	
		・課題 自動火災設備及び非常用放送設備について、更新を検討します。															
・課題に対する改善点																	
		・取組 更新手段について、検討を進めていきます。															

生涯学習の環境整備								主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館									
おおたかの森図書ブックアップサービス拡充事業		おおたかの森市民窓口センターから独立した図書館カウンターをスタートおおたかの森ホールの一画に新設し、図書館サービスを実施します。令和3年8月1日に「おおたかの森図書ブックアップセンター」を開設しました。															
担当課		R3当初予算				R3決算見込				R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
図書館		8,000				7,487				23,264		0		0		0	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標				R2実績		R3実績		R4目標	
おおたかの森市民窓口センターの利用者数(人)		12,542		24,740		37,110											
おおたかの森市民窓口センターの貸出点数(点)		30,424		58,996		88,494											
令和3年度の取組みと評価・改善点								令和4年度の現状・課題・取組み									
・取組		令和3年8月1日におおたかの森図書ブックアップセンターを開設しました。															
		・現状 おおたかの森図書ブックアップセンターの整備は完了し、図書館で行っているのと概ね同等のサービスを提供しています。															
・評価		おおたかの森図書ブックアップセンター開設以後、おおたかの森市民窓口センターで提供していたブックアップサービスと比較すると、利用者数、貸出点数とも大幅に増加しています。															
		・課題 利用者数とともに予約資料数も増加し続けていることから、今後、おおたかの森図書ブックアップセンター内の書架に資料が収まりきらなくなる懸念があります。															
・課題に対する改善点		おおたかの森図書ブックアップセンターでは、従来から行っていた予約資料の貸出、返却のほか、利用者登録、新刊図書購入希望の受付、他市町村立図書館からの資料の取り寄せ等の図書館サービスを開始しました。															
		・取組 おおたかの森図書ブックアップセンターの整備が完了したため、事業を終了しました。業務委託料のみ、北部分館、初石分館、南流山分館と合わせて中央図書館分館業務委託料として計上しています。															

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

文化会館非常用発電装置更新事業		発電機の回転整流器の絶縁不良があったため、設備の更新工事等を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
公民館	2,000		1,815		4,535	46,084	34,500	11,584	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
工事進捗率(設計業務)(%)	-	100	-	稼働率(市民会館)(%)	利用日数/開館日数	29	50	40	
工事進捗率(更新)(%)	-	-	100	利用者アンケート調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)		48	44	50	
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
<ul style="list-style-type: none"> 取組 非常用発電装置の更新に向けて、設計業務委託を実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 非常用予備発電装置の整備を進めます。					
<ul style="list-style-type: none"> 評価 設計業務委託を年度内に完了することができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 施工業者が安全対策及び感染症対策を徹底するように指導する必要があります。					
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 計画的に事業を進めるため、徹底したスケジュール管理を行います。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 非常用予備発電装置の更新工事及び工事監理業務を実施します。					

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

文化会館及び北部公民館高濃度PCB廃棄物処理事業		ポリ塩化ビフェニール廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、文化会館及び北部公民館で保管している高濃度PCB廃棄物を処理します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
公民館	16,054		15,955		4,535	0	0	0	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
廃棄物処分進捗率(%)	-	100	-						
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
<ul style="list-style-type: none"> 取組 高濃度PCB廃棄物を専門業者に運搬してもらい、処分を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 前年度で事業は終了しました。					
<ul style="list-style-type: none"> 評価 高濃度PCB廃棄物の廃棄期限までに処分が完了しました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 前年度で事業は終了しました。					
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 保管していたすべての高濃度PCB廃棄物を適正に処分しました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 前年度で事業は終了しました。					

主管部局 生涯学習部

施策の目的

文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	「日ごろから学習活動を行っている市民の対象分野」における「教養（語学・歴史・文学等）」「文化芸術（音楽・絵画等）」の割合（まちづくり達成度アンケート）	-	46.4	30.3	%	↑
市内の指定文化財等の数	国登録、県・市指定文化財の数（博物館）	51	51	52	件	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 流山市文化祭のオープニングセレモニー・イベントは、今年度からスタートおおたかの森ホールに会場を移して実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年度に引き続き「国際室内楽音楽祭」が中止となりました。旧割烹新川屋本館を新たに市指定有形文化財に指定しました。</p> <p>・評価 前年度は中止となった事業が多数ありましたが、感染症対策の徹底及び事業プログラムの見直し等により、文化芸術事業に多くの市民参加を促すことができました。詳細な調査により、文化財指定範囲を確定することができました。</p> <p>・改善点 文化祭オープニングセレモニー・イベントでは、会場や事業プログラムの見直しにより、新たな世代の参加やにぎわい創出に繋げることが出来ました。市指定有形文化財については、利根運河関連で初の文化財指定になりました。</p>	<p>・現状 長引くコロナ禍において、市民の文化芸術活動を推進します。新たな文化財の指定、文化財の保存修復を進めます。</p> <p>・課題 新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、文化芸術活動を推進する必要があります。文化財の指定に至るまでの調査期間が長くなる傾向について、改善の必要があります。</p> <p>・取組内容 流山市文化祭については、オープニングセレモニー・イベントに加え、団体発表の一部をスタートおおたかの森ホールで開催し、更なるPRと観覧者数の増加を目指します。質の高い音楽鑑賞の機会を提供するため、スタートおおたかの森ホールで開催される「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2022」を共催します。国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事を進めます。指定文化財候補の掘り起こしを進めます。</p>

市民主体の文化芸術活動の促進

主管課：生涯学習課

文化祭開催事業	市民の文化芸術活動の発表の場であり、市内の代表的な文化の祭典として、流山市文化祭実行委員会が開催する文化祭の事業費の一部を補助します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
生涯学習課	1,300		1,300		1,911	1,300	0	1,300
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
イベント実施数(回)	-	17	25	延べ観覧者数(人)		-	3,471	5,000
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 流山市文化祭は、10月23日に開催したオープニングセレモニー・イベントをはじめ、公民館や生涯学習センターを会場に11月28日まで各団体による展示や発表を実施しました。</p> <p>・評価 文化祭の認知度や集客数の低さを改善するため、今年度からオープニングセレモニー・イベントの会場を文化会館から、スタートおおたかの森ホールに移して実施しました。</p> <p>・課題に対する改善点 オープニングセレモニー・イベントでは、たまたま立ち寄った方など、流山市文化祭を知らない方にも参加していただき、新たな客層へ文化祭を周知することができたと考えます。文化祭の延べ観覧者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したイベントもあったため、例年と比較して減少しました。</p>	<p>・現状 オープニングセレモニー・イベントは、引き続き、スタートおおたかの森ホールで開催することに加え、団体の発表の一部も同ホールで開催します。</p> <p>・課題 演者（実行委員会）の高齢化が課題です。</p> <p>・取組 各団体の企画に、若い世代の一般の方が参加可能が提案していきます。</p>							

優れた文化芸術に親しめる機会の充実

主管課：生涯学習課、公民館

一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した一茶双樹記念館・杜のアトリエ黎明の改修を進めます。令和3年度障子、襖修繕（双樹亭）等・令和4年度 経年補修工事（一茶庵、杜のアトリエ黎明）							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
博物館	1,867		1,623		6,370	1,492	0	1,492
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 利用者に安全で快適な環境を提供するために、一茶双樹記念館・杜のアトリエ黎明の改修を進めました。</p> <p>・評価 杜のアトリエ黎明空調機修繕を行いました。一茶双樹記念館の展示ケース修繕、解説パネルの更新、夏障子の修繕を行いました。</p> <p>・課題に対する改善点 施設の修繕を進めました。</p>	<p>・現状 利用者に安全で快適な環境を提供するために、一茶双樹記念館・杜のアトリエ黎明の改修を進めます。</p> <p>・課題 車椅子利用者が中庭まで入れないため、改修を検討する。</p> <p>・取組 車椅子利用者に配慮した改修を行います。</p>							

優れた文化芸術に親しめる機会の充実 主管課：生涯学習課、公民館

国際室内楽音楽祭共催事業	スタートおおたかの森ホールで開催される「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2021」を共催します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
生涯学習課	3,000		1,000		637	3,000	1,500	1,500
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				スペシャルイベント来場者数(人)		-	312	-
				3日間の延べ来場者数(人)		-	-	1,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度の国際室内楽音楽祭は中止となりましたが、次年度の開催に向けスタートおおたかの森ホール指定管理者が10月31日に開催したスペシャルイベント(プレ音楽祭)を共催し、事業費の一部を負担しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 5月3日から5日までの3日間、スタートおおたかの森ホールで開催される「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2022」を共催します。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 				<ul style="list-style-type: none"> 課題 コロナ禍でのイベント開催となるため、感染状況により中止となる可能性があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 スペシャルイベントはコロナ禍で開催されましたが、多くの方に音楽鑑賞の機会を提供できたと考えます。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 スタートおおたかの森ホール指定管理者主催の「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2022」を共催し、事業費の一部を負担します。				

歴史的文化的遺産の保存・活用 主管課：図書館、博物館

指定等文化財保存活用整備事業	市内に残る文化財の保存・整備を行い、活用を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
博物館	62,466		4,290		6,370	46,642	42,000	4,642
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				現地見学会の参加人数(人)		-	-	50
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 ・市指定文化財「鱈ヶ崎三本松古墳古塚碑」を鱈ヶ崎4号公園内に設置し、一般公開ができるようになりました。 ・国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」保存修復工事は、修復工事内容を再検討する必要が生じたため、工事開始を令和4年度からに変更することにしました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 ・国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事を進めるとともに、公開に向けた準備を進めます。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 ・鱈ヶ崎三本松古墳のあった地へ古墳を戻すことにより、古墳の存在や文化財の保存・公開が図られました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 ・解体・修復時に修理箇所の追加が発生する可能性があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 ・鱈ヶ崎三本松古墳の調査成果を公開できるように進める。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 ・国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事を行いながら、工事過程での見学会を実施します。				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	「健康維持のために日ごろからやっていること」における「汗をかく程度の運動を週1、2回程度習慣的に行っている」の割合（まちづくり達成度アンケート）	37.5	35.5	33.7	%	↑
スポーツ施設の利用者数	利用者数（スポーツ振興課）	1,405,139	1,013,333	1,397,357	人	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 新型コロナウイルス感染症のまん延が長期化し、多くのスポーツ行事が中止や規模縮小を余儀なくされました。そのなかでも、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるオランダ代表選手団を迎え入れ、オンラインを活用しつつ児童・生徒を含む市民との交流事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、キックマン アリーナを千葉県の臨時医療施設として提供しました。</p> <p>・評価 コロナ禍の中、第29回流山ロードレース大会はオンラインで実施する等の工夫をし、市民のスポーツ振興に努めることができました。スポーツ施設の整備についても計画通り進捗しました。</p> <p>・改善点 スポーツ行事実施時には、その時点で最新の新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安全・安心を最優先とし、コロナ禍でもスポーツの振興を推進できる体制を整えます。</p>	<p>・現状 令和4年度も長期化するコロナ禍でのスポーツ行事の実施、スポーツ施設の整備・運営業務を進めていきます。令和4年度の大きな事業のひとつである、総合運動公園野球場の観覧席・バックネット等改修や総合運動公園庭球場増設設計等、大規模な施設整備について、計画的に事業を進めます。</p> <p>・課題 流山ロードレース大会はコロナ禍により2年連続で集合形式では開催されていませんが、令和4年度は地域の感染状況を注視しながら、3年ぶりに集合形式での大会実施を目指します。また、スポーツ施設は引き続き、十分な感染症対策を講じながら運営していきます。</p> <p>・取組内容 令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、前年度に実施された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を生かしながら、スポーツイベントを実施するとともに、アフターコロナを見据えたスポーツ施設整備に努めていきます。</p>

スポーツ活動の促進 主管課：スポーツ振興課

トップアスリート交流事業	令和3年度に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にあたり、女子ハンドボールやパラ卓球をはじめとするオランダ代表チームの事前キャンプを受け入れました。事前キャンプにあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、実施可能な交流事業を工夫して実施しました。令和4年度以降についても、トップアスリートとの交流を継続し、息の長いスポーツ振興に努めていきます。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
スポーツ振興課	43,303	40,772	23,550	1,000	0	1,000	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
				交流事業の参加者数(人)	-	500	500
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に際し、女子ハンドボール、卓球及びパラ卓球オランダ代表の事前キャンプを実施しました。</p> <p>・評価 コロナ禍による未曾有の危機の中、1人の感染者も出さず事前キャンプを終え、交流事業においても一定の成果を挙げることができたことは高く評価できます。</p> <p>・課題に対する改善点 コロナ禍により、事前キャンプでは、市民と選手との直接的な接触ができないなか、市内小中学校の児童生徒による贈り物、オンラインを活用した歓迎式典および女子ハンドボール練習試合の公開など、可能な交流事業を工夫して実施しました。</p>	<p>・現状 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に際しての事前キャンプを実施し、コロナ禍にも拘らず市民のスポーツ実施の意欲は強い状態にあります。</p> <p>・課題 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として醸成されたスポーツ振興の機運を、長期的なスポーツ振興につなげていくことが課題です。</p> <p>・取組 本市ゆかりのオリンピック・パラリンピアンと市民との交流を継続し、今後の長期的なスポーツ振興を図っていきます。</p>						

スポーツ環境の整備 主管課：スポーツ振興課

体育施設改修・整備事業	総合運動公園野球場観覧席・バックネット等改修工事、総合運動公園庭球場増設設計等を実施し、スポーツ施設の利用者の安全性・快適性・利便性の確保を図ります。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
スポーツ振興課	17,241	16,542	23,550	308,254	280,787	27,467	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
				屋内外体育施設利用者実数(人)	625,646	630,432	710,000
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、安全・安心のスポーツ施設を運営し、市民サービスの向上に取組みました。</p> <p>・評価 「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」を実現できるよう運営し、工事における設計業務等も計画通り進捗させることができました。</p> <p>・課題に対する改善点 利用者の意見等を考慮しながら、コロナ禍において一層の安全・安心のスポーツ施設を運営し、提供します。</p>	<p>・現状 総合運動公園野球場観覧席・バックネット等改修工事、総合運動公園庭球場増設設計等を実施すべく、検討を重ねています。また、より快適な施設運営のため、指定管理者や受託事業者と連絡調整を図っています。</p> <p>・課題 新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、施設の改修・整備を計画的に進め、安全・安心なスポーツ施設を運営し、提供します。</p> <p>・取組 滞りなく、計画通りに工事等が進捗するよう各関係者と調整を図り、スポーツ施設の市民サービス向上に努めます。</p>						

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
人口1人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査（国土交通省）	5.15	5.28	5.23	m ²	↑
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	80.9	83.0	88.3	%	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 公園、緑地、街路樹については、適正な維持管理を行いました。また、既存公園の改善については、市民ニーズの把握に努め実施しました。流山グリーンチェーン戦略により、新たなみどりの創出に努めました。</p> <p>・評価 公園や緑地、街路樹の維持管理については、管理区域を設定し樹木の剪定等を行うことでみどりの保全に努めました。また、グリーンチェーン認定の取得件数を向上させるため、事業者へ丁寧で粘り強い指導を行いました。</p> <p>・改善点 公園や街路樹の適正な維持管理や、グリーンチェーン認定の取得促進により、より多くのみどりの保全、創出に努めました。</p>	<p>・現状 公園、緑地、街路樹の維持管理を行い、既存のみどりを保全するとともに、流山グリーンチェーン戦略によって、新たなみどりの創出に努めています。</p> <p>・課題 公園や緑地、街路樹については、きめ細やかな維持管理を行い、より効果的にみどりを保全する必要があります。また、グリーンチェーン認定の取得件数を向上させ、より多くの新たなみどりを創出する必要があります。</p> <p>・取組内容 公園、緑地、街路樹については、適正な維持管理を行い、市民が安全、快適に利用できる良質なみどりを保全します。また、流山グリーンチェーン戦略により、住宅や店舗などにより多くのみどりを取り入れていただき、新たなみどりの創出に努めます。</p>

みどりの保全 主管課：みどりの課、道路建設課

<p>まちなか森づくり事業</p> <p>まちなかのみどりを創出するため、計画的に街路樹植栽や公共スペースへの植栽を行うとともに、新規住宅や民間施設等への緑化啓発により「流山グリーンチェーン戦略」を推進し、緑視率が高く、みどり豊かな街並みの形成に取り組めます。</p>								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
みどりの課	11,915		11,671		2,861	10,505	0	10,505
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率(緑化面積/敷地面積×100%) (%)	11	16	12					
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 まちなか森づくりプロジェクトとして、南流山1丁目ほか、市道108号線の一部に高木植栽、低木植栽を行いました。また、おおたかの森北1丁目、市道293号線の一部に低木植栽を行いました。</p> <p>・評価 既存街路樹の植栽を行い、みどり豊かな街並み形成に取り組めました。</p> <p>・課題に対する改善点 街路樹植栽を行いました。</p>	<p>・現状 街路樹の植栽可能なスペースを確認して、低木や高木の植栽を行っています。</p> <p>・課題 街路樹の枯木や老木を植替えや、公共スペースの植栽を計画的に行い、みどり豊かな街並みの形成に取り組む必要があります。また、新たな植栽のための公共スペースを見出すことに苦慮しています。</p> <p>・取組 おおぐろの森小中学校前の街路樹植栽を行います。</p>							

みどりの保全 主管課：みどりの課、道路建設課

<p>良質なみどりの拠点保全事業</p> <p>土地所有者から借り受けている市民の森を保全するため、用地を取得するとともに、自然に触れながら散策等をできるように、園路等の施設整備を行います。</p>								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
みどりの課	16,342		17,067		4,373	17,375	7,400	9,975
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
中野久木散策の森の用地取得面積 (m ²)	7,060	-	-	公園緑地で憩い安らげている市民の割合 (%)		78	84	87
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 市内のみどりの実態調査を行い、「みどりのカルテ」の作成を継続しました。</p> <p>・評価 市民の森や借地公園の地権者と良好な関係を築きました。</p> <p>・課題に対する改善点 用地取得した中野久木散策の森整備工事を行いました。また、大群の森の未供用箇所においても、自然に親しめる環境を整えるため、散策路の整備を行いました。</p>	<p>・現状 市内のみどりの実態調査を行い、引き続き「みどりのカルテ」の作成を行います。</p> <p>・課題 市民の森や借地公園の地権者との良好な関係を継続する必要があります。</p> <p>・取組 松ヶ丘3号散策の森の用地測量を行います。また、西初石小鳥の森整備工事を行います。</p>							

みどりの保全								主管課：みどりの課、道路建設課									
みどりを支える人づくり事業		みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。															
担当課		R3当初予算				R3決算見込				R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
みどりの課		564				457				10,743		583		180		403	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標				R2実績		R3実績		R4目標	
講習会の開催回数(回)		7		9		11		講習会への参加人数(人)				102		207		250	
令和3年度の実績と評価・改善点								令和4年度の実績・課題・取組み									
・取組		みどりの担い手を育成するため、緑化に関する講習会を開催しました。															
・現状		市民と協働でみどりの維持管理を行っています。															
・評価		緑化に関する講習会を開催することで、みどりを担う人材を育成しました。また、開催日を見直したことで、より幅広い年代の方に参加いただけました。															
・課題		みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成が必要不可欠です。															
・課題に対する改善点		緑化に関する講習会を4種類で合計9回に開催回数を増やし、開催日を見直すことで、参加人数が増加しました。															
・取組		緑化に関する講習会を合計で11回開催します。また、みどりの基本計画の進捗報告のため、みどりの委員会を開催します。															
みどりの創出								主管課：みどりの課、道路建設課									
新たな賑わい空間創出事業		つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進捗に合わせて、都市施設として必要な公園施設の整備を実施します。															
担当課		R3当初予算				R3決算見込				R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
みどりの課		267,648				173,545				10,743		487,278		420,600		66,678	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標				R2実績		R3実績		R4目標	
								公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)				78		84		87	
令和3年度の実績と評価・改善点								令和4年度の実績・課題・取組み									
・取組		総合運動公園アスレチック広場周辺の整備を行いました。土地区画整理事業地区内の緑地の整備を行いました。南流山中央公園の再整備工事に着手しました。															
・現状		土地区画整理事業の進捗に合わせて、良好な住環境の提供が求められており、地域のニーズに合わせて公園施設整備を行います。															
・評価		土地区画整理の進捗、地域のニーズに合わせて、緑地整備を行いました。															
・課題		土地区画整理の進捗により、公園緑地整備時期の変更があるため、土地区画整理事業者と密に協議を行う必要があります。															
・課題に対する改善点		土地区画整理事業者と密に協議を行い、緑地整備時期についての調整を図りました。															
・取組		総合運動公園テニスコート周辺の整備を行います。土地区画整理事業地区内の公園整備を行います。南流山中央公園の整備工事をします。															
みどりの創出								主管課：みどりの課、道路建設課									
安心安全な公園づくり事業		既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行い利用者の安全性・利便性の向上を図ります。															
担当課		R3当初予算				R3決算見込				R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
みどりの課		82,519				99,005				18,786		132,707		50,600		82,107	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標				R2実績		R3実績		R4目標	
								公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)				78		84		87	
令和3年度の実績と評価・改善点								令和4年度の実績・課題・取組み									
・取組		既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。また、コミュニティ第1児童公園に遊具を新設しました。															
・現状		既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行います。また、既存公園の遊具新設・更新を行います。															
・評価		既存公園の遊具を始めとした公園施設の更新・補修を行い、公園利用者の安全性の確保を図りました。															
・課題		公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行う必要があります。															
・課題に対する改善点		既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検結果を踏まえて、更新・補修を行いました。															
・取組		既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検を行います。また、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行います。															

生物多様性地域戦略推進事業	生物多様性ながれやま戦略（第二期）に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行います。							
	担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源
環境政策課	2,363		2,013		12,740	2,354	0	2,354
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				生物多様性啓発イベントの参加者数(人)		45	115	120
				市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合(%)		83	88	90
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の実績・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>生物多様性ながれやま戦略（第二期）に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>生物多様性ながれやま戦略の改訂に着手します。また、引き続き各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行います。</p>				
<p>・評価</p> <p>保育園児や小・中学生と植樹を行い、自らの手でみどりを創出する機会を提供しました。</p>				<p>・課題</p> <p>モニタリング調査員を新規募集するとともに、入門・ステップアップの2つの講習会により、担い手の育成に努めます。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>市の鳥の啓発のため、オオタカパネル展を市役所ロビーに加え、生涯学習センター（流山エルス）でも開催しました。</p>				<p>・取組</p> <p>グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウムなどの環境学習の機会を通じて、生物多様性の価値や持続可能性について啓発を行います。</p>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	86.0	92.2	91.4	%	↑
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	74.4	75.2	75.2	%	↑
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	61.6	62.2	63.1	%	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区及び木地区の土地区画整理事業について事業の促進を図りました。また、景観に配慮するため、景観条例の手続きにおいて、景観計画に適合するよう指導を行ったほか、広告物等の事業者に対して条例に基づく許可等における手続きを通じて適切に指導を行いました。</p> <p>・評価 千葉県が施行する運動公園周辺地区の進捗は面積ベースで4.4%、木地区では面積ベースで9.9%の進捗となりました。また、良好な景観の形成に寄与し、貢献した事業者等を景観賞として表彰することで、市民意識の高揚を図ることが出来ました。</p> <p>・改善点 千葉県が施行する運動公園周辺地区では2号調整池を暫定供用し浸水対策が改善されました。景観計画及び広告物条例ルールブックを活用し、広告主及び公告事業者等に対し、良好な景観形成の誘導を図りました。</p>	<p>・現状 千葉県が施行する運動公園周辺地区について事業の促進を図ります。また、土地区画整理事業区域内（つくばエクスプレス沿線整備区域）を中心に、建築行為及び開発行為が見込まれることから、年間550件程度以上の事前協議が想定されるため、景観計画に適合するよう指導を行います。</p> <p>・課題 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図っていきます。景観計画については多くの事業者が、景観計画の主旨を理解し協力的である一方、理解を得られない事業者への指導が必要です。</p> <p>・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、主要となる幹線道路整備を推進します。景観計画の主旨が理解を得られない事業者へは、粘り強く指導していきます。</p>

つくばエクスプレス沿線整備の促進 主管課：都市計画課、まちづくり推進課

運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理負担事業	県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
まちづくり推進課	368,470		425,443		6,370	509,563	487,300	22,263	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
面積ベース進捗率(%)	42	43	47						

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 千葉県が施行する、運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担（2分の1）し、事業の促進を図りました。</p> <p>・評価 令和3年度末の進捗は、面積ベースで約4.4%となりました。</p> <p>・課題に対する改善点 2号調整池を暫定供用し、浸水対策が改善されました。</p>	<p>・現状 千葉県が施行する、運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担（2分の1）し、事業の促進を図ります。</p> <p>・課題 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図っていきます。</p> <p>・取組 主要となる幹線道路整備を推進します。</p>

つくばエクスプレス沿線整備の促進 主管課：都市計画課、まちづくり推進課

木地区一体型特定土地区画整理負担事業	県との費用負担協定に基づき、木地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
まちづくり推進課	455,680		441,527		6,370	325,781	295,200	30,581	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
面積ベース進捗率(%)	99	99	100						

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 千葉県が施行する、木地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき負担（2分の1）し、事業の促進を図りました。</p> <p>・評価 令和3年度末の進捗率は、面積ベースで約99.4%となりました。</p> <p>・課題に対する改善点 地区内すべての道路が完成しました。</p>	<p>・現状 (令和3年度のみ主要事業)</p> <p>・課題 (令和3年度のみ主要事業)</p> <p>・取組 (令和3年度のみ主要事業)</p>

市街地のまちづくり		主管課：都市計画課、まちづくり推進課						
都市計画見直し事業	地域の実情に応じた土地利用を誘導するため、区域区分、用途地域及び高度地区等の都市計画の変更を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
都市計画課	6,000		2,475		12,740	16,982	0	16,982
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				流山市は住み心地の良いまちであると思う市民の割合(%)		87	88	-
				これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合(%)		92	91	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 市民への説明や市民意見の聴取を行い、用途地域等の変更を行いました。 区域区分の変更手続きにおいて、千葉県との協議を開始しました。 				<ul style="list-style-type: none"> 現状 (令和3年度のみ主要事業) 				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 用途地域や区域区分の変更手続きについて、予定どおり進めることができました。 				<ul style="list-style-type: none"> 課題 (令和3年度のみ主要事業) 				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 用途地域及び区域区分の変更手続きにおける関係機関との協議については、コロナ禍で打合せ等の自粛が求められる中、メールや電話により適切に行うことができました。 				<ul style="list-style-type: none"> 取組 (令和3年度のみ主要事業) 				

市街地のまちづくり		主管課：都市計画課、まちづくり推進課						
生産緑地に関する図書作成事業	平成4年11月に都市計画決定した生産緑地地区が、令和4年11月で指定から30年を迎えることから、生産緑地所有者に対し、従来の税制措置を10年延長できる、特定生産緑地地区への指定に係る手続きを行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
都市計画課	3,500		1,584		6,370	1,500	0	1,500
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 特定生産緑地の指定申請書を受理し、審査を行いました。 特定生産緑地の指定に関する図書の作成に着手しました。 				<ul style="list-style-type: none"> 現状 (令和3年度のみ主要事業) 				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 特定生産緑地指定の手続きについて、遅延なく進めることができました。 				<ul style="list-style-type: none"> 課題 (令和3年度のみ主要事業) 				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 特定生産緑地指定の手続き中に発生した変更に対し、対象者へのわかりやすい説明を行うとともに、迅速な対応を行いました。 				<ul style="list-style-type: none"> 取組 (令和3年度のみ主要事業) 				

市街地のまちづくり		主管課：都市計画課、まちづくり推進課						
江戸川台駅東口周辺地区再整備事業	駅利用に合った広場の改修や旧ジェトロ用地の活用、周辺公共施設の再配置など、江戸川台駅東口周辺の整備に向けた実態調査を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
まちづくり推進課	11,770		0		15,925	828	0	828
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
地元組織等のイベント実施回数(回)	-	-	2	駅周辺の住み心地の良さの満足度(%)		-	91	91
				駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度(%)		-	37	37
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 駅前広場の利用実態調査や住民等との意見交換、ニーズ調査を行い、課題を整理しました。 				<ul style="list-style-type: none"> 現状 駅前広場の利用実態調査や住民等との意見交換、ニーズ調査を行い、課題を整理しました。 				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 駅前広場の利用実態調査や住民等との意見交換、ニーズ調査を行い、課題を整理することができました。 				<ul style="list-style-type: none"> 課題 社会実験を実施し、更なる課題を整理した上で、整備方針を定め、住民等との合意形成を図る必要があります。 				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 社会実験を実施し、更なる課題を整理した上で、整備方針を定める必要があります。 				<ul style="list-style-type: none"> 取組 社会実験を実施し、更なる課題を整理した上で、整備方針を定め、住民等との意見交換を実施します。 				

景観形成の促進 主管課：都市計画課

流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業	流山おおたかの森駅センター地区道路歩行者の快適性・回遊性を高めるため、道路改修工事を実施する。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
まちづくり推進課	0		4,070		8,447	47,850	27,300	20,550
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
事業進捗率(事業費ベース:%)	-	-	9	良好な市街地の形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		83	83	83
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> センター地区道路改修工事について、令和4年度設計を行うため、現況調査及び関係機関協議を行った。				<p>・現状</p> 来年度改修工事を実施するため、今年度は道路改修工事に必要な実施設計を行う。				
<p>・評価</p> 交通量調査、沿道利用者聞き取り調査及び警察事前相談を行った。				<p>・課題</p> 交通安全対策、渋滞対策と歩行者の快適性・回遊性を高めることを両立する。				
<p>・課題に対する改善点</p> 交通量調査、沿道利用者聞き取り調査及び警察事前相談を行い、交通安全対策と渋滞対策を実施設計で考慮して検討する。				<p>・取組</p> 良質な交流空間の形成と更なる賑わいを創出するため、プロポーザル方式により、設計業者を選定する。				

景観形成の促進 主管課：都市計画課

景観形成推進事業	本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。また、良質なまちづくりの推進に向けた景観シンポジウムを開催し、「流山市景観計画」の周知と意見交換を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
都市計画課	786		534		8,046	202	0	202
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
景観条例第11条に基づく事前協議件数(件)	530	593	550	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		83	83	84
景観賞の応募件数(件)	2	5	-	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		62	63	64
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 景観条例の手続きにおいて、景観計画に適合するよう指導を行いました。景観シンポジウムを開催し、市民等が理解を深め、興味を抱けるよう啓発を図りました。				<p>・現状</p> 土地区画整理事業区域内(つくばエクスプレス沿線整備区域)を中心に、建築行為及び開発行為が見込まれることから、年間550件程度以上の事前協議が想定されます。				
<p>・評価</p> 景観シンポジウムの来場者から、積極的な発言がなされたことから、啓発について一定の効果をj得ることができました。良好な景観の形成に寄与し、貢献した事業者等を景観賞として表彰することで、市民意識の高揚を図ることができました。				<p>・課題</p> 多くの事業者が、景観計画の主旨を理解し協力的である一方で、理解を得られない事業者への指導が必要です。				
<p>・課題に対する改善点</p> 景観シンポジウムでは、市民や事業者がなじみやすいテーマを企画し、開催しました。景観賞の募集では、SNS等を活用することで広く周知を図りました。				<p>・取組</p> 景観計画の主旨が理解を得られない事業者へは、粘り強く指導していきます。				

景観形成の促進 主管課：都市計画課

広告物等推進事業	良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害を防止するため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
都市計画課	4,227		4,035		7,644	3,315	2,754	561
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数(件)	129	127	135	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		83	83	84
屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数(件)	667	1,599	650	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		62	63	64
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 広告物等を掲出する広告主及び広告事業者に対し、条例に基づく許可等における手続きを通じて、適切に指導を行いました。				<p>・現状</p> 条例の施行から3年が経過し、多くの広告主及び広告事業者に、制限内容を周知できてきています。				
<p>・評価</p> 条例に適合した広告物等や、市内の景観に配慮された広告物等が掲出されてきました。				<p>・課題</p> 本市になじみの少ない広告事業者に、制限内容の周知が必要です。また、条例の制限に適合していない広告物等の是正が必要です。				
<p>・課題に対する改善点</p> 景観計画及び広告物条例ルールブックを活用し、広告主及び広告事業者等に対し、良好な景観形成の誘導を図りました。				<p>・取組</p> 景観を阻害する要因となる違反広告物等、又は公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、是正に向けた具体的な交渉を行っていきます。				

主管部局 土木部 施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	69.8	73.5	73.3	%	↑
都市計画道路の整備率	道路建設課	72.4	72.5	73.2	%	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進しました。 交通の集中する交差点対策の推進を図りました。 流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車走行空間の整備を進めました。 <p>・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿道住民に向けて工程計画等に係る説明会を開き、円滑な工事の進捗に努めます。 <p>・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民説明会にて計画の説明を行い周知を図りました。 工事着手にむけ、関係機関との協議を進めました。 	<p>・現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口増加等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。 <p>・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。 <p>・取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進します。 交通の集中する交差点対策の推進を図ります。 流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車走行空間の整備を進めます。

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

名都借跨線橋道路拡幅改良事業	緊急時の大型車両通行や歩行者及び自転車の安全な通行を確保するため、名都借跨線橋を含む当該路線延長3.25m区間において、車両の相互通行が可能となるよう拡幅改良を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
道路建設課	491,822	373,551	3,185	588,922	549,817	39,105	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	32	42	50
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組</p> <p>新設歩道橋の暫定供用開始、車道橋の改良工事に着手します。また、R4年度から側道の一部が通行止めとなることから、流山市施行により対策工事を実施します。</p> <p>・評価</p> <p>騒音振動対策を実施し、騒音振動の低減に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点</p> <p>工事に伴う騒音振動が懸念されたため、対策として騒音振動計を2基設置しました。</p>				<p>・現状</p> <p>横断歩道橋の仮設階段工事を完了し、令和3年7月に暫定供用を開始、また、車道橋の仮設橋工事を実施し、令和4年1月に向小金1丁目側の暫定2車線供用開始しました。</p> <p>・課題</p> <p>騒音振動に伴う工事が継続するため、引続き沿線住民への配慮しながら事業を進める必要があります。</p> <p>・取組</p> <p>騒音振動計を側道全てに設置(4箇所)し、騒音振動の低減に努めます。</p> <p>向小金2丁目側の車道橋部拡幅工事に着手します。</p>			

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

東小学校前通学路道路拡幅整備事業	東小学校の通学路として安全を確保するため、歩道幅員を拡幅し、歩行者の通行に配慮した道路整備を提供するものです。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
道路建設課	0	0	3,185	5,000	4,500	500	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100	71	71	72
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み			
<p>・取組</p> <p>(令和4年度のみ主要事業)</p>				<p>・現状</p> <p>市道71068号線の国道6号線から東部中学校入口バス停付近間における、歩道幅員拡幅を目的とした道路改良工事を完了しました。</p>			
<p>・評価</p> <p>(令和4年度のみ主要事業)</p>				<p>・課題</p> <p>東部中学校入口バス停から名都借交差点バス停付近交差点間においては、歩道幅員が約1.5mと狭い状況です。</p>			
<p>・課題に対する改善点</p> <p>(令和4年度のみ主要事業)</p>				<p>・取組</p> <p>当該区間において、歩行者が安全に通行できるよう歩道幅員を目的とした道路改良を行うために予備設計を進めます。</p>			

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

自転車ネットワーク整備事業	自転車ネットワーク計画に基づき、公共施設及び鉄道駅等を結ぶ都市計画道路を中心に自転車通行空間整備を行い、自転車及び歩行者の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
道路建設課	11,000		13,290		3,185	14,355	0	14,355
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				整備率(%) = 整備済延長(m) ÷ 全体延長(m) × 100		24	27	31
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を行いました。				・現状 自転車ネットワーク計画路線のうち、令和3年度に2kmを整備しました。				
・評価 現場状況を考慮した整備に努めました。				・課題 現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握が必要です。				
・課題に対する改善点 発注前に現地において十分な調査を行いました。				・取組 自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を行います。				

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課

都市計画道路3・4・8号美田駒木線道路改良事業	都市計画道路3・4・8号美田駒木線のうち、未整備である約100m区間において、道路の改良事業を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
道路建設課	0		0		3,185	2,000	0	2,000
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				整備率(%) = 執行済み事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		-	-	100
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 (令和4年度のみ主要事業)				・現状 本路線と接続する都市計画道路3・4・19号大畔美田線の予備設計が完了しています。				
・評価 (令和4年度のみ主要事業)				・課題 隣接する都市計画道路3・4・19号大畔美田線との接続に配慮しながら進める必要があります。				
・課題に対する改善点 (令和4年度のみ主要事業)				・取組 当該区間において、道路線形及び道路構造を決定するため、予備設計を進めます。				

安全で快適な道路環境の確保 主管課：道路建設課、道路管理課

道路維持補修事業	道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
道路管理課	244,500		264,070		21,486	370,000	222,000	148,000
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
道路舗装補修延長(m)	2,066	2,598	7,000	情報処理件数(件)		296	321	350
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 道路の舗装等が劣化している12路線の道路補修工事を実施しました。				・現状 ライフサイクルコストを視野に入れた、計画的かつ効率的な予防保全型の補修を実施しています。				
・評価 近隣住民の意見を聴取することで、今後発生する道路補修工事を減らすことができました。				・課題 近年の交通量増加に伴う、舗装の劣化進行速度の変化に注視する必要があります。				
・課題に対する改善点 舗装の劣化進行速度を抑えるよう、近隣住民の意見を聴取しながら、道路補修工事を行いました。				・取組 過去の道路補修工事のデータを再点検し、効率的な予防保全型の補修を実施します。				

橋りょう補修事業	流山市が管理する橋梁の維持管理の適正管理に努め、通行の安全確保を図ります。							
	担当課	R3当初予算		R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
道路管理課	126,398		133,158	7,644	158,812	131,471	27,341	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
橋りょう補修工事件数(件)	4	7	5					
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 (令和4年度のみ主要事業) 				<ul style="list-style-type: none"> 現状 橋りょうの長寿命化を図るため補修工事を行います。 				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 (令和4年度のみ主要事業) 				<ul style="list-style-type: none"> 課題 近年の交通量増加に伴う、新たな橋りょうの損傷が発生していないかどうか注視する必要があります。 				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 (令和4年度のみ主要事業) 				<ul style="list-style-type: none"> 取組 日常点検を行うことで、顕在化していない不良箇所の早期発見に努めます。 				

主管部局 土木部 施策の目的 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課）	15.5	0.0	0.06	km	↑
水害による住家被害の棟数	過去3年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	0	棟	→

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 道路冠水対策として、雨水排水施設の設計を行いました。 河川施設である樋管の点検を行い、修繕が必要な箇所を選定しました。</p> <p>・評価 局地的大雨の際に、一時的な道路冠水が発生しました。 準用河川の土砂撤去により、排水能力の確保に努めました。</p> <p>・改善点 道路冠水対策として、雨水排水施設の設計を行いました。引き続き道路冠水が発生する箇所の排水対策の検討が必要です。</p>	<p>・現状 台風や局地的大雨時に大きな被害は発生していませんが、一時的な道路冠水等が発生しています。</p> <p>・課題 道路冠水対策が必要な箇所を的確に把握して、解消するための対策を施す必要があります。</p> <p>・取組内容 道路冠水対策として、雨水排水施設の整備工事を行います。 河川施設である樋管の修繕工事を行います。 浸水（内水）ハザードマップの更新を行います。</p>

雨水排水施設の整備 主管課：河川課、上下水道局

地区内雨水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
下水道建設課	387,000	387,000	7,409	336,200	336,100	100	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
各年度の整備面積 (ha)	-	-	1				
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 雨水排水は、約100m (Φ1, 200~2, 000mm) の整備を計画しました。</p> <p>・評価 雨水排水は、約58m (Φ1, 200~2, 000mm) の整備を行いました。</p> <p>・課題に対する改善点 土地区画整理事業施行者と早期完成に向けて、調整を図ります。</p>	<p>・現状 運動公園周辺地区の公共下水道（雨水）の事業進捗率は、令和2年度末時点で46.6パーセントとなっています。</p> <p>・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道（雨水）を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けるものです。</p> <p>・取組 土地区画整理事業施行者の千葉県と事業推進を図るため、基本協定等の見直しを検討します。</p>						

雨水排水施設の整備 主管課：河川課、上下水道局

雨水排水施設整備事業	浸水被害が発生している、又は恐れのある地域に雨水排水施設の整備を行います。 ・令和4年度 排水管整備（江戸川台西）等 ・令和5年度 排水管整備（江戸川台東）等 ・令和6年度 排水管整備等						
担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
河川課	10,197	12,892	10,192	66,550	59,600	6,950	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
				内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）	-	-	-
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 道路冠水対策として、江戸川台西及び東地区の雨水排水対策の排水設計を行いました。</p> <p>・評価 野々下5丁目地区の雨水排水施設整備が完了しました。</p> <p>・課題に対する改善点 樹つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前に点検、清掃を実施しています。</p>	<p>・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。</p> <p>・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。</p> <p>・取組 道路冠水対策として、江戸川台西、江戸川台東及びおおたかの森北地区の雨水排水施設を整備します。</p>						

雨水排水施設の整備								主管課：河川課、上下水道局									
流山排水機場改修事業		流山排水機場の排水能力を最大限活用できる施設改修を行います。 ・令和4年度 商用電源予備ルートの確保 ・令和5年度 商用電源予備ルートの確保、排水機場内の電気施設改修 ・令和6年度															
担当課		R3当初予算				R3決算見込				R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
河川課		0				0				3,185		12,000		0		12,000	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標				R2実績		R3実績		R4目標	
								商用電源予備ルートの整備延長(m)				-		-		2,100	
令和3年度の取組みと評価・改善点								令和4年度の現状・課題・取組み									
・取組 (令和4年度のみ主要事業)		当該施設の電源は、現在、1箇所の変電施設からの供給となっており、断線等の有事の際の予備電源が確保されていない。															
・評価 (令和4年度のみ主要事業)		当該施設を稼働するためには6,600Vの高圧電力が必要であり、自家発電施設を整備、維持管理するためには多額の費用を要する。 施設建設から年数が経過しているため、修繕計画の策定が必要となる。															
・課題に対する改善点 (令和4年度のみ主要事業)		予備電源として、現在とは別の変電所からの供給ルート整備を電気事業者に依頼するとともに、その費用の一部を負担する。															
河川環境の整備								主管課：河川課									
河川等維持補修事業		河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 ・令和4年度 修繕工事等 ・令和5年度 修繕工事等 ・令和6年度 修繕工事等															
担当課		R3当初予算				R3決算見込				R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源	
河川課		16,969				25,097				4,459		16,823		1,700		15,123	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標				R2実績		R3実績		R4目標	
河川施設の維持補修に関する工事件数(件)		4		-		2		内水氾濫による床上浸水の棟数(棟)				-		-		-	
								憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合(%)				82		84		-	
令和3年度の取組みと評価・改善点								令和4年度の現状・課題・取組み									
・取組 職員によるパトロールや施設点検及び住民等からの情報提供により、水路等の雨水排水施設の補修を行った。		職員によるパトロールや施設点検及び住民等からの情報提供により、破損や老朽化した水路等の雨水排水施設の補修を行っている。															
・評価 的確な補修を実施し、施設の破損等に起因した事故を未然に防止することが出来た。		補修対象の施設や住民からの要望が増加していることから、施設の健全度や補修の優先度を的確に見極め、限りある予算と人員で効率的に対応する必要がある。															
・課題に対する改善点 老朽化した施設が増加していることや、住人からの要望が増えていることから、施設の健全度や補修の優先度等を的確に見極め、より効率的な補修を行う必要がある。		引き続き効率的な補修を行い、水路や雨水排水施設の適切な機能維持に努める。															

主管部局 上下水道局 施策の目的 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	89.1	95.9	95.9	%	↑
公共下水道普及率	処理区域内人口÷行政区域内人口×100（下水道建設課）	90.8	91.9	92.5	%	↑

令和3年度の実績と評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 流山市水道事業経営戦略及び流山市下水道事業経営戦略の進捗状況を確認しました。単独浄化槽から合併浄化槽に転換した方に対し、補助金を交付しました。（交付件数10件、交付額11,111,000円）主要配水管や老朽化した配水管を耐震化へ計画的に更新しました。</p> <p>・評価 流山市水道事業経営戦略及び流山市下水道事業経営戦略の実効性を確保することに努めました。公共水域の水質改善を図るため、合併浄化槽の普及促進を図りました。主要配水管及び配水管の耐震化に努めました。</p> <p>・改善点 上下水道事業の安定経営を行うため、水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略の進捗状況を毎年確認する必要があります。単独浄化槽から合併浄化槽に転換する方への更なる普及促進を図る必要があります。関係機関との協議が整い、工事に着工し完成を目指します。</p>	<p>・現状 上下水道事業は、流山市水道ビジョン、水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略に基づき、事業運営を行っています。単独浄化槽から合併浄化槽に転換する人が少なく、年間10件程度となっています。主要配水管や老朽化した配水管の耐震化に努めます。</p> <p>・課題 改定から3年経過した流山市水道事業経営戦略を見直しするとともに、流山市下水道ビジョンを策定する必要があります。単独浄化槽から合併浄化槽に転換する人が少ない状況です。主要配水管の耐震化が完了していない配水管があります。</p> <p>・取組内容 流山市水道事業経営戦略を改定するとともに、流山市下水道事業経営戦略の進捗状況を確認します。また、流山市下水道ビジョンを策定します。公共水域の水質改善のために、引き続き合併浄化槽の普及促進を図っていきます。主要配水管の耐震化を優先的に推進するとともに、老朽化した配水管は更新計画に基づき耐震管に更新し、耐震能力の向上に努めます</p>

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

<p>T X沿線整備地区配水管拡張事業</p> <p>担当課 水道工務課</p> <p>主な活動指標 配水管布設延長 (m)</p>	<p>T X沿線の土地区画整理事業に係る配水管拡張事業を実施します。</p> <p>R3当初予算 108,201</p> <p>R3決算見込 79,673</p> <p>R3職員給与費(目安) 6,370</p> <p>R4当初予算 156,965</p> <p>R4特定財源 131,338</p> <p>R4一般財源 25,627</p> <p>R2実績 1,938</p> <p>R3実績 2,086</p> <p>R4目標(予定) 3,080</p> <p>整備率 (%) 75</p> <p>R3実績 76</p> <p>R4目標 45</p>
<p>・取組 木地区は、20mの区間で工事を行い、令和3年度の事業完了を目指しました。運動公園周辺地区は3,054mの区間で工事を行いました。</p> <p>・評価 ・木地区は、令和3年度で事業が完了しました。 ・運動公園周辺地区は2,033.3mの区間で工事が完成しました。</p> <p>・課題に対する改善点 運動公園周辺地区L=2,251.1mの区間は、令和4年9月までの完成を目指します。</p>	<p>・現状 運動公園周辺地区配水管拡張工事L=2,251.1mの区間を、令和4年度に繰越している。</p> <p>・課題 土地区画整理事業の造成工事の進捗に合わせる必要がある。</p> <p>・取組 土地区画整理事業者と工程調整を図りながら、L=3,080.0mの区間で工事を行います。</p>

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

<p>老朽配水管等耐震化事業</p> <p>担当課 水道工務課</p> <p>主な活動指標 整備延長 (m)</p>	<p>老朽化した配水管等を耐震化へ計画的に更新していきます。</p> <p>R3当初予算 341,321</p> <p>R3決算見込 166,371</p> <p>R3職員給与費(目安) 6,370</p> <p>R4当初予算 208,681</p> <p>R4特定財源 0</p> <p>R4一般財源 208,681</p> <p>R2実績 3,854</p> <p>R3実績 2,215</p> <p>R4目標(予定) 721</p> <p>耐震管適合率 (%) 61</p> <p>漏水発生件数(件) 321</p> <p>R3実績 62</p> <p>R4目標 250</p>
<p>・取組 老朽化した配水管等を耐震管へ計画的に更新しました。北部地域L=1,718.0m、中部地域L=24.0m、南部地域L=649.0mの工事を行いました。</p> <p>・評価 北部地域L=1,543.6m、中部地域L=672.0mの区間で完成しました。</p> <p>・課題に対する改善点 中部地域L=351.7mの区間を令和4年5月末、南部地域L=314.8mの区間を令和4年6月末の完成を目指します。</p>	<p>・現状 中部地域L=351.7m、南部地域L=314.8mの区間を令和4年度に繰越している。</p> <p>・課題 関係機関との協議を積極的に進めます。</p> <p>・取組 中部地域、L=427.0m、南部地域L=294.0mの区間で工事を行います。</p>

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

主要配水管等耐震化事業	主要な配水管等を耐震化へ計画的に更新していきます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
水道工務課	224,839		192,720		6,370	379,832	0	379,832
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
整備延長(m)	814	1,008	1,380	耐震化適合率(%)		51	51	54
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 主要な配水管を耐震管へ計画的に更新しました。北部主要配水管L=236.0m、下花輪駒木線L=610.0mの工事を行いました。				・現状 江戸川台主要配水管L=151.3m、下花輪駒木線L=98.0m、の区間は、令和4年度に繰越している。				
・評価 北部主要配水管L=71.8mの工事が完成しました。下花輪駒木線L=936.6mの工事が完成しました。				・課題 関係機関との協議を積極的に行います。				
・課題に対する改善点 関連工事の進捗の遅れ及び関係機関との協議に時間を要したことから、積極的な協議・調整を行います。				・取組 北部主要配水管L=350.0m、江戸川台主要配水管L=382.0m、下花輪駒木線L=528.0m、東部主要配水管L=120.0mの工事を行います。				

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

上下水道料金徴収等業務委託事業	水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者へ委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
経営業務課	183,700		168,168		13,119	168,168	0	168,168
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
給水契約件数(件)	84,768	85,942	87,000	不納欠損処理件数：水道料金(件)		216	154	160
下水道契約件数(件)	75,206	77,989	79,000	不納欠損処理件数：下水道使用料(件)		173	131	140
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 包括委託している事業者と連携を密にし、上下水道料金の適正な徴収に努めました。また、4月から検針時等の戸別訪問時において高齢者等の見守りを開始しました。				・現状 人口の増加や公共下水道の供用開始区域の拡大により、水栓契約件数や下水道使用者が増加しています。				
・評価 お客様からの自主的な納付の増加により、新たな料金未納者及び給水停止執行件数が減少し、コロナ禍での収納率の向上につながりました。また不納欠損処理件数・金額については例年と比較し大幅な減少となりました。				・課題 市外転居滞納者への督促、催促はしていますが、収納までに至る件数は少なく、また住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており転居先の確認が困難を極めています。				
・課題に対する改善点 適正な徴収を行うため、未納者への架電による催促を強化し、給水停止対象となる前にお客様から自主的に納付していただくよう努めました。				・取組 滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加することにより、過去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めます。				

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局

浄水場更新事業	令和6年度までにおおたかの森浄水場に新たに配水池を1池建設します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
水道工務課	11,418		10,450		12,740	33,000	0	33,000
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
配水池基本検討業務進捗率(%)	-	100	-	配水池事業完成(%)		-	-	-
配水池詳細設計業務進捗率(%)	-	-	100					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 配水池の材質や仕様書の基本検討業務を行いました。				・現状 新設配水池の建設に向け、基本設計が完了したことから、配水池の詳細設計を行う段階です。				
・評価 基本検討業務が完了しました。				・課題 配水池の新設により、浄水場内の既設フェンスを撤去する必要があるため、場内の警備システムを更新する必要があります。				
・課題に対する改善点 配水池の増設により、駐車場が無くなるため、駐車スペース確保の検討を行いました。				・取組 配水池の詳細設計を行い、年度内に設計を完了させます。なお、来局者に支障をきたさないような施工展開を設計に盛り込みます。				

計画的な下水道事業の推進 主管課：上下水道局

地区内汚水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、汚水管を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
下水道建設課	136,000		108,542		9,555	120,300	120,250	50
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
各年度の整備面積(ha)	9	11	9	下水道整備率(%)		78	79	81
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和3年度は、3.3Kmの整備を計画しました。</p>				<p>・現状</p> <p>運動公園周辺地区の公共下水道(汚水)の事業進捗率は、令和2年度末時点で29.2%となっています。</p>				
<p>・評価</p> <p>令和3年度は、2.7Kmの整備を行いました。</p>				<p>・課題</p> <p>土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道(汚水)を施工するため、造成工事の進捗状況により、汚水管整備に影響を受けるものです。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>土地区画整理事業施行者と早期完成に向けて、調整を図ります。</p>				<p>・取組</p> <p>土地区画整理事業施行者の千葉県と事業推進を図るため、事業委託等の見直しを検討します。</p>				

計画的な下水道事業の推進 主管課：上下水道局

江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業	既存市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
下水道建設課	1,237,012		1,232,624		19,110	704,167	432,000	272,167
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
各年度の整備面積(ha)	26	27	11	公共下水道普及率(%)		91	92	93
各年度の整備延長(m)	8,150	5,640	3,927	公共下水道水洗化率(%)		92	92	94
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>西深井、東深井、美原2・3丁目、長崎1丁目、鰯ヶ崎、向小金2・3丁目、おおたかの森西3・4丁目、おおたかの森南一丁目、大畔の約3.4haの下水道の整備を計画しました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和6年度に既存市街地の既成に向け、向小金地区、おおたかの森西三丁目に加え、新たに八木南団地の約1.1haの下水道を整備します。</p>				
<p>・評価</p> <p>西深井、東深井、美原2・3丁目、長崎1丁目、鰯ヶ崎、向小金3丁目、おおたかの森西四丁目、おおたかの森南一丁目、大畔の約2.8haの下水道を整備しました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和3年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>早期整備に向けて、公共下水道(汚水)整備沿線住民に対して、丁寧な説明と事業への協力を求めていきます。</p>				<p>・取組</p> <p>業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和4年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。</p>				

計画的な下水道事業の推進 主管課：上下水道局

手賀沼流域関連公共下水道整備事業	既存市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
下水道建設課	79,119		74,731		15,925	379,300	308,000	71,300
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
各年度の整備面積(ha)	4	-	12	公共下水道普及率(%)		92	92	94
各年度の整備延長(m)	1,946	-	3,236	公共下水道水洗化率(%)		96	95	97
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>駒木地区において約4haを計画しました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和6年度に既存市街地の既成に向け、駒木地区の整備に加え、駒木台、青田地区の約1.2haの下水道を整備します。</p>				
<p>・評価</p> <p>駒木の工事発注を行い、繰越工事となっております。</p>				<p>・課題</p> <p>令和3年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>早期整備に向けて、公共下水道(汚水)整備沿線住民に対して、丁寧な説明と事業への協力を求めていきます。</p>				<p>・取組</p> <p>業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和4年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。</p>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	77.5	81.5	83.1	%	↑
市内鉄道駅の1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 ※数値は2018（H30）年度、2019（R1）年度、2020（R2）年度	180,380 ※	183,175 ※	136,708 ※	人	↑
流山ぐリーンバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	2,505	1,739	2,045	人	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 都心へのアクセス利便性向上及び混雑緩和のため、鉄道事業者に対して要望書を提出しました。初石駅の施設整備について、自由通路、橋上駅舎及び駅前広場の設計業務や補償物件調査を行いました。地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、「流山市地域公共交通計画」を令和4年2月に策定しました。</p> <p>・評価 流山ぐリーンバスの利用者数が、前年度に比べやや回復傾向にあります。</p> <p>・改善点 流山ぐリーンバスについて、6ルートの運行を継続するとともに、南流山・ホルートにおいて経路・ダイヤの変更を行いました。</p>	<p>・現状 初石駅の施設整備については、自由通路及び橋上駅舎の整備に向け東武鉄道株式会社と協議を継続しています。流山ぐリーンバスについては、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が回復傾向にあるものの依然厳しい状況です。</p> <p>・課題 初石駅については、自由通路及び橋上駅舎の整備を計画的に推進するため、東武鉄道株式会社と綿密に協議を行う必要があります。流山ぐリーンバスについては、利用者数を増加させ収支の安定化を図るため、需要確保策を検討する必要があります。</p> <p>・取組内容 つくばエクスプレスについては、引き続き、車両編成の8両化や東京駅延伸等の実現に向け、様々な機会を通じて関係各方面への働きかけを行います。初石駅における自由通路及び橋上駅舎の整備について、自由通路、橋上駅舎の工事着手に向けた手続きを進めます。流山ぐリーンバスについては、地域公共交通計画に基づき、流山ぐリーンバスの運賃体系の見直し等による効果測定の検討調査を行います。</p>

広域交通ネットワークの充実 主管課：まちづくり推進課

TX東京駅延伸促進事業		つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込			R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
まちづくり推進課	11	0			1,274	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
TX沿線都市での会議等の開催回数(件)	5	4	5	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		75	75	76
				つくばエクスプレス線の駅1日平均乗車人員(人)(数値は、R元年度、R2年度)		395,400	277,901	-
令和3年度の取組みと評価・改善点		令和4年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 沿線区市と連携し、首都圏新都市鉄道に対し、つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、令和3年6月29日付で要望書を提出しました。</p> <p>・評価 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。</p> <p>・課題に対する改善点 沿線区市と連携し、一体整備案として挙がっていた「都心直結線」や「都心部・臨海地域地下鉄構想」の動向を注視しながら、要望活動を続けていきます。</p>	<p>・現状 つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会を毎年度開催し、首都圏新都市鉄道に対し要望活動を続けています。</p> <p>・課題 首都圏新都市鉄道から前向きな回答が得られていません。</p> <p>・取組 引き続き、つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会を通じて、首都圏新都市鉄道に対し、つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げ等を要望します。</p>							

広域交通ネットワークの充実 主管課：まちづくり推進課

初石駅施設整備事業		東武野田線初石駅の利便性を向上するため、令和6年度中の供用開始に向け、橋上駅舎、自由通路及び駅前広場を整備します。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込			R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
まちづくり推進課	186,335	21,481			7,644	648,760	303,282	345,478
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
事業進捗率(事業費ベース:%)	1	2	35	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		75	75	76
				初石駅の1日平均乗降人員(人)(数値はR元年度、R2年度)		18,609	15,250	-
令和3年度の取組みと評価・改善点		令和4年度の現状・課題・取組み						
<p>・取組 東武鉄道株式会社と実施設計に関する協定書を令和3年11月29日に締結しました。</p> <p>・評価 東武鉄道株式会社が自由通路及び橋上駅舎の実施設計に着手しました。</p> <p>・課題に対する改善点 計画的に事業を進めるため、東武鉄道株式会社と綿密に協議し、徹底したスケジュール管理を行います。</p>	<p>・現状 自由通路及び橋上駅舎の工事着手に向けて、東武鉄道株式会社と協議を継続しています。</p> <p>・課題 物件補償及び用地取得を速やかに進める必要があります。</p> <p>・取組 自由通路及び橋上駅舎の工事着手に向けて、東武鉄道株式会社と施行協定を締結します。</p>							

地域公共交通ネットワークの充実		主管課：まちづくり推進課、都市計画課、道路管理課						
ぐりーんバス運行事業		鉄道を主軸とした流山市の公共交通体系に対応するため、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。						
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
まちづくり推進課	101,000		112,891		3,822	88,433	0	88,433
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
利用促進啓発活動回数(お散歩マップ・自治会回覧)(回)	-	-	1	流山ぐりーんバスの年間利用者数(人)		632,823	744,436	914,484
				収支率全ルート平均(%)		38	48	50
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 6ルートを運行しました。南流山・ホルートの経路変更を行いました。				・現状 引き続き市内6ルートを運行を継続します。				
・評価 利用者数と運行収支率がやや回復しました。				・課題 今後も同様のサービスで運行を継続するには、収支の安定化を図るための需要確保策の検討が必要です。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、散策マップの作成及びイベント情報の掲示等を行い、流山ぐりーんバスの利用促進を図ります。				・取組 ぐりーんバスの利便性及び運行収支率の向上を図るため、地域公共交通計画に基づく施策を積極的に導入します。				
地域公共交通ネットワークの充実		主管課：まちづくり推進課、都市計画課、道路管理課						
地域公共交通活性化事業		地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにし、持続可能な公共交通網を形成するため、地域公共交通計画を策定します。						
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
まちづくり推進課	667		1,092		7,644	22,435	0	22,435
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
地域公共交通活性化協議会の開催回数(回)	4	5	6	公共交通に満足している市民の割合(%)		81	83	84
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、「流山市地域公共交通計画」を令和4年2月に策定しました。				・現状 「流山市地域公共交通計画」に位置付けた公共交通施策実施の検討や、実施事業の評価及び検証ならびに関係機関との協議調整のため、「流山市地域公共交通活性化協議会」を継続していきます。				
・評価 「流山市地域公共交通計画」が策定されたことにより、流山ぐりーんバス運行ルール等が明確になりました。				・課題 「流山市地域公共交通計画」に定めた流山ぐりーんバスの継続・変更・廃止フローについては、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、運用開始時期を慎重に検討する必要があります。				
・課題に対する改善点 公共交通マップの作成や経路検索サイトの周知など、分かりやすい公共交通の案内を行いました。				・取組 市内バス路線の利便性向上を図るため、流山ぐりーんバスの運賃体系や路線バスの運行ルート見直し等による効果計測の検討調査を行います。駅前広場において増加する企業送迎バス等の利用実態を調査し、効率的で安全な交通利用を図るための対応策等を検討します。				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画（建築住宅課） ※1 R2より国の耐震化率の算定に合わせ、棟単位から戸数単位に変更し、算出した数値	87.2	93.2(※1)	93.2(※1)	%	↑
住宅の空き家率	住宅総数のうち、一時居住用や販売用を除いた「その他の住宅」の占める割合（総務省「住宅・土地統計調査」）※1： 2018(H30)年度	3.2(※1)	3.2(※1)	3.2(※1)	%	↓

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 地域住民の生活環境に深刻な影響が懸念される、管理不十分な空き家の改善を図るため、所有者等を特定し助言・指導に努めました。また、高齢者が安心して住み替えができるようするとともに、子育て世代の市内移住の支援を図るため、住み替え支援相談会を開催しました。</p>	<p>・現状 平成25年度に策定した「流山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。</p>
<p>・評価 管理不十分な空き家の所有者等に対し助言・指導を行った結果、11件の改善が図られました。</p>	<p>・課題 建設資材や人件費の高騰により工事費が増加しています。</p>
<p>・改善点 新型コロナウイルス感染対策として、ZOOMを活用した非接触型のオンライン相談会を開催しました。</p>	<p>・取組内容 住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、今後も計画的に空き家対策を進めていきます。</p>

住生活の安定と向上 主管課：建築住宅課、宅地課、高齢者支援課、障害者支援課

市営住宅整備事業 安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコストの削減を図ります。

担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
建築住宅課	13,843	13,585	2,548	13,843	13,843	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R4目標
市営住宅管理戸数(戸)	449	449	449			

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅柳田団地4号棟の屋上防水改修工事を行いました。</p>	<p>・現状 平成25年度に策定した「流山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。</p>
<p>・評価 計画的に改善工事を行うことで、建築物の耐久性・安全性の向上と建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。</p>	<p>・課題 建設資材や人件費の高騰により工事費が増加しています。</p>
<p>・課題に対する改善点 今後も長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善策を計画的に実施します。</p>	<p>・取組 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、大橋団地1～4号棟の受水槽の取替工事を行います。</p>

空き家対策の推進 主管課：建築住宅課

空き家対策事業 適正に管理されていない空家の解消を推進するため、法律や条例に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空家対策を効果的に行うため、住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、計画に沿って取り組みを進めます。

担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
建築住宅課	7,216	6,782	1,911	901	901	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R4目標
空き家問題に関する通報件数(件)	72	80	80	38	41	40

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 近隣住民等から情報提供があった空き家で、適正な管理を行っていない所有者等に対し改善指導を行いました。</p>	<p>・現状 空家等対策計画を策定し、計画に沿って取り組みを進めます。</p>
<p>・評価 情報提供があった空き家に対し、現地調査を行うとともに、管理不全の空き家80件に対し改善指導を行い、11件が改善されました。</p>	<p>・課題 自治会地域を単位として実態調査を進めていますが、まだ空き家の把握ができていない地域があります。</p>
<p>・課題に対する改善点 空家等対策計画を策定することで、空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施して行きます。</p>	<p>・取組 空家等対策計画を策定し、今後も計画的に空家対策を進めていきます。</p>

高齢者住み替え支援相談事業	高齢者が安心して住み替えができるようにするとともに、子育て世代の市内移住の支援を図るため、相談会の開催やセミナーを開催します。							
	担当課	R3当初予算		R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
建築住宅課	93		38	2,548	58	58	0	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
住み替え相談会開催回数	-	6	6	住み替え相談会参加組数(組)		-	10	15
				住み替え相談の成立件数(件)		-	1	1
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>高齢者が安心して住み替えができるようにするとともに、子育て世代の市内移住の支援を図るため、住み替え相談会を開催しました。</p>				<p>・現状</p> <p>住み替え支援相談会については、年6回の開催を予定しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>ZOOMを活用することで自宅等からでも相談会に参加ができるため、参加者からも好評をいただいております。今後も継続していきます。</p>				<p>・課題</p> <p>新型コロナウイルス感染防止策を講じて相談会の実施を予定していますが、高齢者の参加が多いことから、開催については慎重に判断していきます。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>新型コロナウイルス感染対策として、ZOOMを活用した非接触型のオンライン相談会を開催しました。</p>				<p>・取組</p> <p>今年度も新型コロナウイルス感染対策として、ZOOMを活用した非接触型のオンライン相談会を開催します。</p>				

主管部局 環境部 施策の目的 地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
二酸化炭素排出量の基準年度比	平成19(2007)年度の排出量を100とした場合の指数(環境政策課)※上段は民生家庭、下段は民生業務。国の統計等を用いて算定するため2年遅れての公表。※国の統計が改定されたため、R1・R2の実績を再算定しています。	124 159 (H29分)	137 165 (H30分)	121 166 (R1分)	-	↓
身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	「どちらかといえば不満」「不満」と回答した市民の割合(なごれやままちづくり達成度アンケート※H30年度のみ市民意識調査)	-	31.2	28.5	%	↓

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 地球温暖化対策の推進のため、住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置の促進、市民が取り組める地球温暖化対策の普及啓発、みどりの保全による二酸化炭素吸収源対策を行いました。</p> <p>・評価 補助金交付件数、二酸化炭素削減量の増加が見られ一定の効果を受けていると判断できる一方、補助事業の有用性の周知、設置可能業者への理解等の促進に努める必要があります。</p> <p>・改善点 地球温暖化対策に対する市民意識の高揚を目指し、市民が取り組める地球温暖化対策の普及啓発、設置可能業者への理解等の促進に努めていく必要があります。</p>	<p>・現状 効果的な二酸化炭素の削減を目指し、市民・市民活動団体・事業者・市のそれぞれが総合的かつ計画的に実施できる取組みを推進する実行計画を目指し、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改訂に向けた準備を進めています。また、新たに集合住宅・商業施設等の電気自動車等充電設備の設置に対する補助事業を開始しました。</p> <p>・課題 各種補助制度の活用促進に努めつつ、既存住宅や集合住宅など住宅用創エネルギー・省エネルギー設備の設置が難しい建築物への働きかけといった、時勢に合った事業設計を検討する必要があります。</p> <p>・取組内容 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改正を実施しつつ、市民への周知啓発事業や補助事業の有用性の周知、設置可能業者への理解等の促進を進め、多様な手法で地球温暖化対策を実行できるよう努めます。</p>

地球温暖化対策の推進 主管課：環境政策課

地球温暖化対策事業	地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等の事業を行います。令和4年度から、集合住宅や商業施設等の駐車場に電気自動車等充電設備の設置に対する補助事業を開始します。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
環境政策課	17,869		21,696		15,925		18,088	4,700	13,388
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標	
地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数(件)	113	187	200	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量(t-CO2)		185	305	351	
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み								
<p>・取組 地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光発電設備を始めとする住宅用省エネルギー設備の設置に対する補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等の事業を行いました。令和3年度から、太陽光設備の設置を拡大するため、無償設置サービス(ゼロ円ソーラー)を提供する市内事業者に対する補助事業を開始しました。</p> <p>・評価 補助金交付件数、二酸化炭素削減量の向上があり一定の効果を受けている一方、補助事業の有用性の周知、設置可能事業者への理解等の促進に努める必要があります。</p> <p>・課題に対する改善点 太陽光設備の設置を普及拡大するため、無償設置サービスを提供する市内事業者の登録数の増加を目指し、事業の周知啓発等への取り組みや、補助金交付件数の増加に努めます。</p>	<p>・現状 太陽光発電設備を始めとする住宅用省エネルギー設備の設置やゼロ円ソーラーに対する補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等を行います。本年度より、集合住宅や商業施設等の駐車場に電気自動車等充電設備の設置に対する補助事業を開始しました。</p> <p>・課題 電気自動車等の普及や再生可能エネルギーによる電力への切り替えなど、時勢に合った事業設計を検討する必要があります。</p> <p>・取組 新規制度である集合住宅や商業施設等の電気自動車等充電設備の設置補助のPRに注力します。</p>								

地球温暖化対策の推進 主管課：環境政策課

公用車用EV充電スポット整備事業	温室効果ガス排出量の抑制の一環として、リースが満了する公用車両の一部について、電気自動車を導入するにあたり、必要不可欠なEV充電設備を整備します。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
財産活用課	10,774		10,774		19,110		0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標	
改修箇所(箇所)	-	36	-						
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み								
<p>・取組 公用車駐車場に36台分のEV充電スポットを整備しました。</p> <p>・評価 年度内に36台分の充電スポットを整備することが出来ました。</p> <p>・課題に対する改善点 リース期間満了の公用車について計画的に電気自動車を導入していきます。</p>	<p>・現状 整備済みのため、事業終了とします。</p> <p>・課題</p> <p>・取組</p>								

路上喫煙の防止及びまちをきれいにする事業	路上喫煙等を防止し環境美化を推進するため、路上喫煙防止重点区域のパトロール、クリーンボランティアによる地域清掃を行います。						
	担当課	R3当初予算		R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源
環境政策課	10,009		9,262	7,407	10,752	256	10,496
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
路上喫煙等防止指導件数(件)	186	163	200	路上喫煙等防止過料件数(件)	76	49	80
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 年間をとおしてパトロールを実施し、路上喫煙の防止に努めました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 今後も現在と同様、通年においてのパトロールを実施します。			
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 パトロールの実施、違反者に対する指導等、適切に行いました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 路上喫煙は引き続き確認されています。			
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症対策として、緊急事態宣言時には指導のみとしたもののパトロールは通年実施することができました。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 路上喫煙は引き続き確認されており、パトロールを継続します。			

主管部局 環境部

施策の目的 ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
1人1日当たりのごみ発生量	ごみ処理量の推移（クリーンセンター） ※値はH30年度、R1年度、R2年度のもの	848※	861※	813※	g	↓
資源化率	ごみ処理量の推移（クリーンセンター） ※値はH30年度、R1年度、R2年度のもの	21.8※	24.0※	27.6※	%	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 令和4年4月の指定ごみ袋本格導入に向け、ホームページの掲載やパンフレット、ごみ出しカレンダーの配布を行いました。さらなる周知拡大のため、ごみ出前講座やごみ分別アプリを利用した周知を行いました。森のまちエコセンターでは、剪定枝の資源化によるエコ堆肥の無料配布を（19回）実施しました。</p> <p>・評価 指定ごみ袋本格導入に向けたさらなる周知として、チラシのポスティングを実施しました。廃棄物処理施設については、突発修繕を適正に実施し安全かつ安定的な運転管理に努めました。</p> <p>・改善点 一般廃棄物処理基本計画の1人1日当りのごみ発生量の目標達成を目指す中、指定ごみ袋の周知拡大を実施していきます。廃棄物処理施設では、適正な定期点検整備を実施することで安全かつ安定的な運転管理を実施していきます。</p>	<p>・現状 指定ごみ袋導入に伴い、ごみ集積所を衛生的に保つため適正排出について、周知や啓発を実施します。施設の老朽化に伴う機器類の修繕整備を適正に行うことで、安定したごみ処理に努めています。</p> <p>・課題 4月から導入した指定ごみ袋の周知・啓発を継続して行うとともに、市民からの意見や要望を検証することで、更なるリサイクル率の向上及びごみの減量化・資源化に取り組む必要があります。廃棄物処理施設では、詳細な定期点検整備を行い安全かつ適正な修繕業務を実施する必要があります。</p> <p>・取組内容 ごみの分別・減量化及び資源化に協力してもらうために、家庭ごみの正しい分け方・出し方やごみ分別アプリの周知に努めるとともに、指定ごみ袋への意見や要望を取りまとめ検証していきます。ごみ焼却施設の長寿命化整備を令和4年度から令和7年度までの4か年継続事業として実施し、施設の安全で安定的な運転と適性な管理に努めます。森のまちエコセンターでは、堆肥の製造・配布を継続的にしています。</p>

ごみの減量化・資源化の推進 主管課：クリーンセンター

ごみ減量・資源化事業	ごみの減量、分別促進を図るため、指定ごみ袋やごみ分別アプリの導入、食品ロス削減の先進地視察及び事業系排出者へのアンケートを実施します。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
クリーンセンター	608	470		10,001	559	0	559
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
ガレージセール実施回数(回)	1	-	2	1人1日当たりのごみ発生量(g/1人・日)	813	795	794
ごみ出前講座回数(回)	4	4	6	資源化率(%)	28	29	22

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 コロナ禍のため、廃棄物減量等推進員へ委嘱状、活動資料を送付し、ごみ減量等について周知に努めました。指定ごみ袋の周知については、試行期間を設け、市ホームページの掲載、チラシ、ごみ収集曜日カレンダーの裏面を利用した周知の他、さらなる周知のため、チラシのポスティングを行いました。</p> <p>・評価 自治会未加入者や集合住宅に住まわれている市民に対して、集合住宅管理会社やポスティングを行い周知に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点 周知等については、ホームページや広報、自治会や管理組合、集合住宅の管理会社に向けてさらなる周知の徹底を図りました。</p>	<p>・現状 指定ごみ袋導入後、指定ごみ袋を使用せず、家庭ごみを排出している方がいるため、対策が必要な状況です。相談のあったごみ集積所には、周知看板を貼り周知を行っていますが、さらなる周知が必要と考えます。</p> <p>・課題 自治会やごみ減量等推進員、集合住宅管理会社との連携を図り、さらなる周知が必要となります。</p> <p>・取組 周知拡大を図るため、ごみ出前講座を行うほか、ごみ分別アプリの利用促進を図り、ごみの減量、分別や指定ごみ袋の周知を併せて行います。</p>

ごみの減量化・資源化の推進 主管課：クリーンセンター

リサイクル推進事業	集団回収を実施するリサイクル団体の活動支援やごみ減量化促進ポスターコンクールの開催及び各種講座を開催します。						
担当課	R3当初予算	R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
クリーンセンター	223,986	258,484		8,746	248,799	1,325	247,474
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
リサイクル団体登録数(団体)	254	256	256	集団回収量(t)	9,097	8,890	9,100
リサイクル講座(教室)開催数(回)	49	48	57	リサイクル講座(教室)の参加者数(人)	1,000	598	1,000

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 ごみ減量化促進ポスターコンクールを開催し、最優秀作品をポスターにして公共施設等に掲示しました。リサイクル団体へは、報償金及び備品等を支給し活動支援を行いました。学校に設置してある大型生ごみ処理機は、経年劣化により整備や修繕が出来ないことや、栄養士からの衛生的見地から撤去しました。</p> <p>・評価 ごみ減量化促進ポスターコンクールを開催する際は、コロナウイルス感染症予防を徹底して実施しました。</p> <p>・課題に対する改善点 各種講座については、3密を避け、人数や内容を調整したうえで開催しました。大型生ごみ処理機の撤去に伴い、給食残渣の減量・資源化について関係課から残渣量を提出してもらい研究しました。</p>	<p>・現状 令和4年度のごみ減量化促進ポスターコンクールや各種講座の開催においては、無理のない範囲で開催するよう努めます。リサイクル団体へは、引き続き報償金及び備品等を支給し活動支援を実施します。</p> <p>・課題 令和4年度のごみ減量化促進ポスターコンクールの開催においては、各学校担当者や連携し、無理のない範囲で開催するよう努めます。</p> <p>・取組 令和4年度から開始される生ごみ肥料化処理器購入補助金制度を広く周知し、ごみの減量・資源化に努めます。</p>

ごみの減量化・資源化の推進 主管課：クリーンセンター

ごみ収集事業	各家庭からごみ集積所に排出される一般廃棄物を衛生的に処理するため、ごみの収集を業務委託し、ごみを適正に処理することによって、市民一人一人が衛生的な中で生活が営むことができる環境づくりに努めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
クリーンセンター	349,904		350,679		8,281	323,919	323,919	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組	令和3年度では主要事業ではないため、該当なし			・現状 指定ごみ袋導入に伴い、ごみ集積所を衛生的に保つため適正排出について、現状把握に努め、周知や啓発を実施します。				
・評価				・課題 多様化したごみの適正排出を実施するため、わかりやすい周知が必要となります。				
・課題に対する改善点				・取組 「正しいごみの出し方・分け方」パンフレットの見直しを検討していきます。				

ごみの減量化・資源化の推進 主管課：クリーンセンター

リサイクル館施設整備事業	リサイクル館の機器の劣化が進んでいることから、機器類の性能を担保するため機器を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
クリーンセンター	25,000		19,392		3,185	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
修繕費(千円)	35,412	19,392		機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)		-	-	-
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組	粗大ごみ破砕機油圧装置の補修など、適正な廃棄物の処理と設備性能の維持を図る整備を実施しました。			・現状 令和4年度事業廃止のため該当なし				
・評価	経年劣化に対する施設・設備の修繕を実施し、適正な処理と施設の安定稼働に努めました。			・課題				
・課題に対する改善点	リサイクル館設備の整備については、令和4年度からリサイクル館包括管理運営業務として委託し、計画的に整備を図っていきます。			・取組				

一般廃棄物の適正処理 主管課：クリーンセンター

ごみ焼却施設整備事業	ごみ焼却施設の安全操業、適正な廃棄物処理を実施するため、定期的に設備を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
クリーンセンター	420,000		619,885		6,370	579,500	0	579,500
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
修繕費用(千円)	595,830	619,885	579,500	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)		-	-	-
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組	ごみ焼却施設の定期点検整備については、施設・設備の状況を見極め関係法令に遵守し適正に実施しました。			・現状 ごみ焼却施設の老朽化による施設・設備の状況を的確に見極め、関係法令に遵守した適正な定期点検整備を実施します。				
・評価	ごみ焼却施設の突発修繕を実施する際には、ごみ収集に支障のないよう関係機関との調整を迅速に図り適正な処理に努めました。			・課題 安定した運転管理を実施するために、ごみ焼却施設の長寿命化整備と定期点検整備の工程管理の調整が必要となります。				
・課題に対する改善点	施設の老朽化に伴い、施設・設備の状況を見極め、関係法令に基づいた定期点検整備を行い安全かつ安定した運転管理に努めました。			・取組 定期点検整備に基づいた、施設の修繕業務を適正に実施することで、安全かつ安定した運転管理を継続して行います。				

一般廃棄物の適正処理		主管課：クリーンセンター						
クリーンセンター放射能対策事業	国が設置する長期保管施設へ移設するまでの間、国に代わって指定廃棄物を安全に一時保管します。また、焼却灰や排ガス等に含まれる放射性物質のモニタリング測定を継続し安全を確保します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
クリーンセンター	3,902		7,591		3,822	2,027	2,027	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
焼却灰等の放射能濃度測定回数(回)	75	75	75	指定廃棄物(溶融飛灰)の一時保管量(トン)		582	582	582
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 指定廃棄物の長期保管施設の設置について、国へ継続的に要望するとともに焼却灰や排ガス中に含まれる放射性物質の測定を定期的実施し、安全を確認し適正な処理を行いました。				<p>・現状</p> 指定廃棄物の長期保管施設の設置については、継続して国へ要望するとともに、今後も放射性測定を定期的実施し、安全確保に努めていきます。				
<p>・評価</p> 指定廃棄物の長期保管施設の設置については、継続して国へ要望するとともに、今後も放射性測定を定期的実施し、安全確保に努めていきます。				<p>・課題</p> 国が設置する長期保管施設が設置されるまでの期間は、一次保管施設周辺の放射線量を定期的に測定し安全を確保していく必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 指定廃棄物保管箇所については、江戸川の浸水想定区域に位置付けられていることから、国と協議を行い浸水対策工事を実施しました。				<p>・取組</p> 焼却灰や排ガス中に含まれる放射性物質の測定を定期的実施し、安全を確認し適正な処理を行うとともに、一次保管施設周辺の放射線量を定期的に測定し安全確保に努めます。				
一般廃棄物の適正処理		主管課：クリーンセンター						
廃棄物処理施設延命化事業	ごみ焼却施設の長寿命化整備に向け、令和2年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、令和4年度から令和7年度までの4か年継続事業として施設の長寿命化整備実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
クリーンセンター	2,698		2,698		17,113	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
長寿命化総合計画策定の進捗状況(%)	100	-	-	CO2排出量の削減率(%)		-	-	-
長寿命化詳細仕様書作成の進捗状況(%)	-	100	-					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 令和4年度から実施する長寿命化整備に向け、長寿命化総合計画に基づき仕様書を作成しました。				<p>・現状</p> ごみ焼却施設は稼働から18年目が経過しており、長寿命化総合計画に基づき施設・設備の延命化整備として基幹的設備改良工事を実施することで安全かつ安定した運転管理を行います。				
<p>・評価</p> 長寿命化整備するに当たり、施設の二酸化炭素排出量5%以上の削減を図ることにより国庫補助金を活用します。				<p>・課題</p> 安定した運転管理を実施するために、ごみ焼却施設の延命化整備と定期点検整備の工程管理の調整が必要となります。				
<p>・課題に対する改善点</p> 長寿命化総合計画に基づき仕様書を作成する際、国庫補助金を活用するため二酸化炭素排出量5%以上する計画としました。				<p>・取組</p> 令和5年度からの基幹的設備改良工事の着工に向けて、工事請負契約の締結や実施設計などの準備を行います。				

主管部局 経済振興部 施策の目的 消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
小売吸引力指数	本市の人口1人当たり年間商品販売額÷千葉県全体の人口1人当たり年間商品販売額（総務省・経済産業省）※1 2016(H28)年経済センサス	0.765(※1)	0.765(※1)	0.765(※1)	-	↑
1事業所当たりの製造品出荷額等	(総務省・経済産業省) ※1 2016(H28)年経済センサス	682(※1)	682(※1)	682(※1)	百万円	↑
法人市民税	普通会計決算カード（財政調整課）	75,478	68,291	51,458	万円	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 ジョブサポート流山において、新たに就職氷河期世代支援コースを実施しました。効率的かつ効果的に小児科等への誘致活動を展開しました。新型コロナウイルス対策としては、3度に渡るテイクアウト・デリバリー応援事業を実施し、飲食事業者へ支援を行ったほか、対面販売・対面サービス安心店舗づくり支援事業により、空気清浄機等の設置を推進、売り上げが減少した事業者に対し、セーフティネット4号認定者向け融資を行い、事業の継続支援に努めました。</p> <p>・評価 空き店舗活用事業では、1件の改装費補助と10件の家賃補助を行いました。女性向け創業スクールでは、受講生16名のうち最終プレゼンテーションに13人が参加、創業しました。小児科2施設の開業に結び付けました。市融資制度については22事業所に対し資金融資を、134事業所に対し利子補給を行いました。</p> <p>・改善点 空き店舗有効活用事業においては、事前協議を行うほか、商工会議所による相談業務を併用することにより、継続的な経営につながるよう支援しました。新型コロナウイルスの影響による事業者等への負担を減らせるよう、迅速な対応に努めました。</p>	<p>・現状 コロナ禍等による市内経済や就労環境への影響は依然として大きく、事業の継続や創業、就労支援に注力する必要があります。また、子育て世代の人口増加により、産科クリニックの混雑が深刻化しています。</p> <p>・課題 新型コロナウイルス等による世界経済の不安定さにより、雇用環境に大きな変化が生じているため、多様な働き方に対応した支援が必要です。感染症対策事業として「セーフティネット4号認定」の融資についても引き続き対応する必要があるほか、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新たな事業展開への支援も必要と考えます。</p> <p>・取組内容 就職氷河期世代支援コースを含む就職個別相談を実施し、就労を支援します。女性向け創業スクールを実施するほか、関係機関と連携し創業者の課題解決や経営相談に対応します。空き店舗の減少や地域の活性化、創業者支援のため、創業を検討する方へ制度の周知を図ります。開業を検討している医療機関等に対しては、情報提供、関係機関との調整などの支援を行います。</p>

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

空き店舗有効活用事業	空き店舗を開業地として活用する創業者に対し、事業開始に必要な改装費の一部、創業期における賃料の一部を補助し、もって地域の商業活性化を図ります。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
商工振興課	7,373		7,427		3,185		11,364	0	11,364
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
相談延件数(件)	26	15	20	補助金交付件数(件)			10	10	10

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 市内の空き店舗を活用するため、1件の改装費補助と10件の賃料補助を実施しました。</p> <p>・評価 空き店舗が早期に活用され、まちの賑わいに寄与しました。</p> <p>・課題に対する改善点 事前協議で創業の課題を解決することにより、継続的な経営につなげることができました。</p>	<p>・現状 補助期間終了後も、補助に頼らない経営を実現するため、流山商工会議所が創業者にヒアリングを実施して、経営のアドバイスを行っています。</p> <p>・課題 空き店舗の早期解消に向けて、パンフレットなどで周知が必要と考えます。</p> <p>・取組 新たな空き店舗の有効活用の促進を行うため、流山商工会議所とともに、創業者の課題解決に取り組んでまいります。</p>

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

中小企業資金融資事業	市内中小企業者の育成と振興に寄与するため、金融機関を通じた資金融資の実施及び融資利息の一部補助を行います。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
商工振興課	142,573		139,568		3,185		142,384	130,007	12,377
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
商工会議所役員会等参加回数(常任委員会、商業部会、工業部会)(回)	36	36	36	融資件数(件)			12	22	20
流山工業団地役員会参加回数(回)	12	12	12	利子補給件数(件)			151	142	150

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 市制度融資の申請について関係法令に則り審査を行い、22事業所に対し資金融資を実行し、134事業所に対し利子補給を行いました。</p> <p>・評価 貸付者に融資利息の一部を補助することにより、資金繰りにかかる負担の軽減化が図れました。</p> <p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染拡大を発端とする景況悪化に備えた運転資金等の融資については、別途「新型コロナウイルス感染症対策事業」を創設して対応しました。</p>	<p>・現状 従来の市制度融資については、新型コロナウイルス感染症対策事業が創設されたため融資申し込みは少数となると思われます。</p> <p>・課題 企業経営の基盤強化には自助努力が基本であることから、補給率の見直しも検討していく必要があります。</p> <p>・取組 対前年度比での売り上げ減少による「セーフティネット4号認定」の融資については、引き続き「新型コロナウイルス感染症対策事業」で対応することとし、感染問題の長期化に伴う申請数の増加が生じた場合にも迅速に対応できるよう努めます。</p>

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

創業支援事業	流山商工会議所や千葉県信用保証協会と連携し、創業者（5年未満）を対象とした「ワンストップ相談窓口」及び「女性向け創業スクール（ゼミナール）」を実施します。実施にあたっては、流山商工会議所や千葉県信用保証協会所属の経営相談員と協力しています。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
商工振興課	1,320		1,320		6,370	1,527	0	1,527
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
女性向け創業スクール受講生(人)	11	16	30	創業者数(女性向け創業スクール卒業生)(人)		3	13	20
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 全4回のカリキュラムを実施して、女性の創業支援を実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 コロナ禍により市内経済は大きな影響を受けていることから、引き続き創業者への支援を行います。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 16名の参加者のうち、13名が最終プレゼンテーションに参加しました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 カリキュラム毎の参加者を30名に増員したため、これまで以上に、新型コロナウイルスの感染症対策が必要になります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 個々の悩みに適切な助言を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 周知のために、市内の駅や庁舎、ホームページにチラシを配架します。				

魅力ある事業者の育成・誘致 主管課：商工振興課

企業立地促進事業	地域産業の発展と市民の雇用機会の拡充、市の財政の安定、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出を促進します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
商工振興課	12,673		10,187		12,740	13,338	0	13,338
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
面談にいたった事業所等の数(件)	49	37	40	企業等立地促進奨励金の交付対象事業所等の新規立地件数(件)		1	2	2
面談・相談等の数(件)	87	82	80	物件のマッチング等の支援を行った事業所等が立地に至った件数(件)		2	2	2
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 出生数の増加と高い合計特殊出生率を背景に、小児科及び産科クリニックの混雑が深刻化していることから、当該2科目のクリニックの誘致に取り組みました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 子どもを産み育てる世代の流入と高い合計特殊出生率を背景に、年少人口が増加したことで、特に産科クリニックの混雑が深刻化し、開業促進が喫緊の課題となっています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 医師向けに作成した資料を元に開業支援コンサルタントとの協力関係の構築、物件候補地情報の収集、医師との面談といったロジックを整理したうえで、効率的かつ効果的な誘致活動を展開してきた結果、小児科2施設の開業に至りました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 産科医は訴訟リスクが高く、なり手が少ないうえに開業資金も他の診療科に比べ高額なことから、開業志向の高い医師との接触が困難な状況です。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 医師との接触の機会を増やすため、新たなコンサルタントとの協力体制の構築及び開業候補地となる物件が少ないことから、不動産関連事業者等と協力し情報収集に努めています。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 新規コンサルタントの開拓による更なる協力関係の構築、WEB広告配信等により産科医との接触を図り、開業に至るまでに必要な情報提供、関係機関との調整などの支援を行います。				

就労の支援 主管課：商工振興課

就労支援セミナー企画運営事業	求職者が早期に正規雇用につながるよう、就労支援セミナーや就職個別相談等の支援を行う。また、県補助金を活用して令和3年度より新設した「就職氷河期世代支援コース」を引き続き実施する。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
商工振興課	12,243		12,205		1,096	12,267	3,129	9,138
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
就職個別相談相談者数(人)	108	110	100	就職個別相談就職者数(人)		87	89	70
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 ジョブサポート流山(流山市地域職業相談室)において、各種就労支援セミナーを開催、就職までの継続した支援を行う就職個別相談を実施、令和3年度は「就職氷河期世代支援コース」を新設して、求職者への支援を行いました。千葉県ジョブサポートセンターと連携し、就労支援セミナーを実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 ジョブサポート流山(流山市地域職業相談室)において、各種就労支援セミナーを開催、就職までの継続した支援を行う就職個別相談を継続実施、令和4年度で終了となる「就職氷河期世代支援コース」を継続して、求職者への支援を行うとともに、働き方改革講座及びハローワーク、千葉県ジョブサポートセンター等との共催事業を実施し支援に努めます。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和3年度は、コロナ禍等の影響により、企業からの求人数も減少するなど就労支援にも影響が生じました。就職個別相談及び新設した「就職氷河期世代支援コース」では、就職者数の目標値は達成するものの、正規雇用者数が減少しました。その他の支援として、働き方改革講座やマンパワーセミナーを開催しました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 コロナパンデミック及び紛争問題により、世界経済の不安定による影響を受けると共に雇用環境も大きく変化が生じています。リモートワークの進展や「ジョブ型雇用」など働き方の変化に対応した支援に努めます。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 引き続き求職者に対し支援に努めることで、正規雇用につながるよう努めます。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 就職個別相談(就職氷河期世代支援コース含む)の継続、働き方改革による研修講座、マンパワーセミナーによる支援の他、コロナパンデミックによる相談へのリスク軽減を図るため、対面式に加え、オンラインを活用した支援を検討します。				

地域職業相談室運営事業	江戸川台駅前庁舎に「ジョブサポート流山」を設け、国（松戸公共職業安定所）の相談員2名、市の地域職業相談員1名を配置して、求職者に対する相談対応と企業への紹介手続き等を行い、地域就労需要に対応した就職活動への支援を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
商工振興課	2,471		2,362		2,077	2,571	0	2,571
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
相談者数(人)	3,300	3,779	3,500	市民の利用者数(人)		2,697	3,090	2,800
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 ジョブサポート流山にて、求職者に対して職業相談及び紹介、求人自己検索システムによる求人情報の提供を行った他、希望者には市が実施する「就職個別相談」に誘導し、就労支援に努めました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 (令和3年度のみ主要事業)				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 面談を通じて求職者が抱える不安や悩みに配慮した丁寧な対応を心がけ、個々の適性を見極め、納得できる就職先を紹介できました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 (令和3年度のみ主要事業)				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 長期化するコロナ禍やウクライナ紛争等により経済情勢と雇用情勢に変化が生じていることから、これらの変化に対応した支援に努めます。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 (令和3年度のみ主要事業)				

主管部局 経済振興部 施策の目的 都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
認定農業者数	市の認定を受けた農業経営者	41	43	46	経営体	↑
農業産出額（推計）	千葉農林水産統計年報の市町村別農業産出額推計結果※R1実績(H29～H30)、R2実績(H30～R1)、R3実績(R1～R2)年	229(※)	230(※)	185(※)	千万円	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 本市農業の中心的役割を担っている認定農業者に対する環境配慮型農業資材の支援、市内農業者の農業経営の安定化、収益性の推進が図れるよう農用地利用集積事業や農業振興資金融資事業等に取り組みました。</p> <p>・評価 市内小中学校及び保育所に、流山産米の通年供給と市内産野菜の供給拡大に取り組み食育と地産地消の推進が図れました。今後も市内農業者の生産性、収益性の推進を継続する必要があります。</p> <p>・改善点 本市農業の中心的役割を担っている認定農業者に対する環境配慮型農業資材の支援、市内農業者の農業経営の安定化、収益性の推進が図れるよう農用地利用集積事業や農業振興資金融資事業等に取り組み農地の有効活用を図り、収益性を高めていくことが必要です。</p>	<p>・現状 都市農業としての利点を活かした直売やスーパー等の産直販売を促進し、学校給食への流山産米の通年供給の継続、認定農業者を中心に市内農業者に対して農用地の有効活用のための事業継続が行えるよう努めています。</p> <p>・課題 都市化の進展による産直販売の促進や学校給食への流山産の米及び野菜の供給確保や認定農業者を中心とした市内農業者の安定した農業経営のための支援が必要です。</p> <p>・取組内容 学校給食への流山産米の安定供給、市内産野菜の供給拡大のために生産性、効率性の向上、認定農業者を中心に市内農業者の生産性、収益性の向上につながる継続的な支援に取り組みます。</p>

農業経営改善の充実 主管課：農業振興課

認定農業者支援事業	本市農業の中心的な役割を担っている認定農業者が購入する環境配慮型農業資材費の一部を支援することにより、生産規模の拡大及び効率化を図り、更なる農業振興を推進します。環境配慮型農業資材の購入を促進することにより、減農薬、化学肥料使用の削減に繋がり環境にやさしい農業を推進します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
農業振興課	2,500		2,500		1,512	3,400	0	3,400
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
実績補助金額(千円)	1,900	2,500	3,400	認定農業者数(経営体)		43	46	46
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 認定農業者の農業生産の効率化を進めるため、環境配慮型農業資材の購入費の一部を補助金として支援しました。</p> <p>・評価 本事業が多くの認定農業者が活用できるよう事業周知に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点 認定農業者が更なる本事業の活用を推進する必要があります。</p>				<p>・現状 認定農業者の農業生産の効率化のため、環境配慮型農業資材の購入費の一部を補助金として継続的支援に努めています。</p> <p>・課題 認定農業者の生産性、収益性が向上させるよう継続して支援していく必要があります。</p> <p>・取組 認定農業者の生産性、収益性が向上するよう継続的支援に取り組みます。</p>				

農業経営改善の充実 主管課：農業振興課

農業振興資金融資及び利子補給事業	農業後継者、新たに農業を営む者等に、融資機関を通じて農業振興資金を貸し付け、利子の一部を補給し都市農業の安定的な継続ができる効率的な農業経営の拡大を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
農業振興課	5,361		5,350		1,274	7,457	7,000	457
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
利子補給金額(千円)	382	350	458	利用実績件数(件)		1	3	7
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 農業を営む者等に、農業経営に係る負担を融資機関を通じて農業振興資金を貸し付けを行い、その利子の一部を補給しました。</p> <p>・評価 利子補給することで都市農業の安定的な継続が図れました。</p> <p>・課題に対する改善点 安定的な農業経営が継続的に行えるよう本事業の推進する必要があります。</p>				<p>・現状 農業を営む者等が、安定的な農業経営が継続的に行えるよう努めています。</p> <p>・課題 農業を営む者等が、安定した農業経営が継続できるよう支援していく必要があります。</p> <p>・取組 資金融資制度の活用により都市農業の安定的な農業経営が継続的に行えるよう活用の促進に取り組みます。</p>				

農業経営改善の充実 主管課：農業振興課

工コ農業推進事業	減農薬、減化学肥料による環境への負荷を低減する方向の農業生産を推進し、環境にやさしい農業の向上に資するための支援事業を行います。消費者のエコロジー趣向に対応し、環境にやさしい農産物生産に資することができます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
農業振興課	700		700		1,749	1,372	0	1,372
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
実績補助金額(千円)	1,200	700	1,372	工コ農業生産農家数(件)		42	48	50
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 減農薬、減化学肥料による環境への負荷を低減する方向の農業生産を進めるため、低農薬、低化学肥料の購入費の一部を補助金として支援しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の導入を継続的支援に努めます。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 低農薬栽培、低化学肥料栽培による、環境にやさしい農産物の生産に寄与しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の導入を継続できるよう支援していく必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 農業者が更なる本事業の活用を推進する必要があります。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の導入を継続できるよう支援に取り組めます。				

農業への理解の促進 主管課：農業振興課

学校給食地産地消推進事業	地産地消を推進し、流山産米を市内小中学校及び保育所の給食に提供するため、水稲生産者等を助成することで安定的に通年供給できるよう確保します。なお、学校給食については、米以外にも地元野菜の供給拡大を促進します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
農業振興課	14,030		14,030		2,548	15,896	0	15,896
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
米飯給食実施回数(回/年)	2,250	2,860	2,970	学校給食への流山産米の出荷量(t)		189	183	198
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 流山産米を学校給食に通年供給するため、水稲生産者からの買取価格と一般流通米との差額の一部を助成しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 流山産米を継続的に学校給食に供給するため、水稲生産者からの買取価格と一般流通米との差額の一部を助成することで、米飯給食の安定供給に努めている。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 水稲生産者の収益性の安定が図れました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 流山産米を継続的に学校給食に供給するため、水稲生産者へ継続して支援していく必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 流山産米以外の地元野菜の安定供給の促進に努めます。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 流山産米を学校給食に通年供給するため、水稲生産者の収益性が安定するよう継続的支援に取り組めます。				

農業への理解の促進 主管課：農業振興課

市民農園事業	遊休農地等を土地所有者から借上げ、市民農園として市民が農作業を実践する場、家族や市民相互のふれあいの場として有償提供するとともに、更なる遊休農地の有効活用を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
農業振興課	1,162		1,063		1,512	2,153	215	1,938
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
市民農園借り上げ面積(m ²)	10,003	10,003	10,003	農園数(農園)		6	6	6
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 遊休農地を農地所有者から借上げ、市民農園として農地の有効活用に取り組みました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 遊休農地の有効活用として、農地の土地所有者から市民農園として借上げています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 遊休農地の有効活用が図れ、市民の家庭菜園での野菜作りのニーズに寄与しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 農地所有者の土地活用による契約解除となった場合の代替え地の候補地を探す必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 遊休農地に情報収集に努めます。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 遊休農地の有効活用に取り組めます。				

主管部局 経済振興部 施策の目的 地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
入込客数	施設、イベントの入込客数（流山本町・利根運河ツーリズム推進課）	366,065	147,548	133,975	人	↑

令和3年度の実績と評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 コロナ禍のツーリズム推進として、女性から好評を得ている流山版のことりっつがをリニューアルし、流山本町に特化した「ことりっつ流山本町」を発行しました。それに併せて、流山本町の店舗を巡っていただく「流山本町お散歩キャンペーン」や、流鉄沿線活性化を目的とした「流鉄トレインマーケット」を実施しました。</p> <p>・評価 イベント参加者からは、「普段は行かない店舗の商品を購入することができた」や「イベントをきっかけに初めて訪れることができた」などの声が聞かれ、また出店者からは「テイクアウトイベントは出店の負担がからず続けてほしい」と好評だったことから、新しい要素を加えながら引き続き実施していくべきものと考えています。</p> <p>・改善点 大人数の集客は難しいことから、単年度で終わることがないよう、コロナ禍に対応した持続可能なイベント等を実施していく必要があります。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症が未だ収束の様相を見せないことから、引き続き感染状況を見ながらマイクロツーリズムを推進していく必要があると考えています。</p> <p>・課題 新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、コンテンツの充実やハード面での環境整備に取り組む必要があります。</p> <p>・取組内容 引き続き、流山本町及び利根運河両地域のマイクロツーリズムを推進するとともに、両地域のツーリズム環境整備を実施します。また、流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインを支援するとともに連携し、コンテンツの充実に取り組めます。</p>

地域資源を活かしたツーリズムの振興 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

流山版DMO推進事業	観光地域づくりの舵取り役として官民連携により設立された法人である流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援し、観光振興を推進します。					
------------	--	--	--	--	--	--

担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	30,000	28,597	21,187	19,900	14,925	4,975	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
				流山本町地域への来訪者数(人)	49,962	64,629	50,000

令和3年度の実績と評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 地域資源である白みりんの新しいコンテンツ開発を流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインと共に取り組みました。</p> <p>・評価 国の地方創生推進交付金を活用し、白みりんに関する動画・体験・新商品の開発ができました。</p> <p>・課題に対する改善点 白みりん発祥の地ならではのコンテンツ制作を行いました。</p>	<p>・現状 観光地域づくりの舵取り役となる流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援するとともに連携してツーリズムを推進していきます。</p> <p>・課題 古民家の保全及び古民家を活用した店舗等を出展する事業者とのマッチングが課題です。</p> <p>・取組 国の地方創生推進交付金を活用し、古民家活用の仕組みづくりを流山版DMOである株式会社流山ツーリズムデザインと共に取り組みます。</p>

地域資源を活かしたツーリズムの振興 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

流山本町・利根運河ツーリズム推進事業	流山本町及び利根運河地域の歴史的建造物を活用し、飲食店やギャラリー、観光情報の発信等を行う拠点を創出します。また、地域情報誌掲載による観光PRを行い、来訪者の増加を図ります。					
--------------------	---	--	--	--	--	--

担当課	R3当初予算	R3決算見込	R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	2,379	568	23,264	7,357	0	7,357	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標	R2実績	R3実績	R4目標
ツーリズム推進事業補助金相談回数(回)	4	12	5	ツーリズム推進事業補助金(改装)件数(件)	-	1	2
				ツーリズム推進事業補助金(家賃)件数(件)	1	-	3

令和3年度の実績と評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組 コロナ禍に対応したイベントとして、地域を回遊する「流山本町おさんぽキャンペーン」と流鉄沿線活性化を目的とした「流鉄トレインマーケット」を開催しました。また、古民家を活用して出店する店舗1件に対して補助金の交付を決定しました。</p> <p>・評価 マイクロツーリズムの推進だけでなく、イベントに姉妹都市を招き、各市の物産品を販売するブースを設けたことで姉妹都市交流もできました。</p> <p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、イベントやPRを実施しました。</p>	<p>・現状 新型コロナウイルス感染症の収束が見えないため、大規模なイベント等によるPRができない状況にあります。</p> <p>・課題 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、イベントやPRを実施していく必要があります。</p> <p>・取組 引き続き、マイクロツーリズムを推進するため、地域を回遊するイベントの開催や地域誌によるPRを行います。また、古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付します。</p>

地域資源を活かしたツーリズムの振興 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

白みりんミュージアム整備事業	白みりん発祥の地であることをPRし、白みりんについて学び体験できる施設を流山本町地域に整備します。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	0		0		19,110	49,000	46,500	2,500	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
施設の入込客数(人)	-	-	-						
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> 流山本町のランドマークとなる施設としての基本方針を策定しました。また、整備等の財源に充てるために、白みりんミュージアム基金条例を制定しました。				<p>・現状</p> 白みりん発祥の地として、ランドマークとなる体験型観光施設の整備を行います。					
<p>・評価</p> 整備に向けた方針の基礎ができ、基金を設立したことで、ふるさと納税のポータルサイト等でPRができました。				<p>・課題</p> 白みりん発祥地ならではの体験等ができる施設整備を行う必要があります。					
<p>・課題に対する改善点</p> 白みりん発祥地ならではの体験型観光施設を整備するためのコンセプトを固めました。				<p>・取組</p> 白みりんミュージアムの整備に向け、建築・展示設計を行います。					

来訪者の受入体制の充実 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

利根運河地区ツーリズム環境整備事業	利根運河地域の歴史や自然環境を活かしたツーリズム環境の整備を行い、観光振興及び交流人口の増加を図ります。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	8,144		4,218		12,740	12,000	10,800	1,200	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
				利根運河地域の来訪者数(人)			49,317	37,310	40,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> 市指定有形文化財となった旧割烹新川屋本館の整備に向け、測量を行いました。また、2か年の継続事業として、耐震診断及び耐震プランの検討を開始しました。				<p>・現状</p> 引き続き、令和2～6年にかけて利根運河地域のツーリズム環境を整備します。					
<p>・評価</p> 財源として国の補助金(都市構造再編集中事業)を活用しています。				<p>・課題</p> 利根運河地域の歴史的建造物や自然等の地域資源を活用したツーリズム環境の整備が必要です。					
<p>・課題に対する改善点</p> 市有形文化財である旧割烹新川屋本館の整備に向けての基礎調査ができました。				<p>・取組</p> 旧割烹新川屋本館の整備に向け、引き続き耐震診断及び耐震プランの検討を行います。					

来訪者の受入体制の充実 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課

流山本町地区ツーリズム環境整備事業	流山本町地域の歴史的建造物を活かしたツーリズム環境の整備を行い、観光振興及び交流人口の増加を図ります。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	7,073		3,278		12,740	31,155	27,500	3,655	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
				流山本町地域の来訪者数(人)			49,962	64,629	50,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み					
<p>・取組</p> 赤城山公園の修景整備に向け設計を行いました。				<p>・現状</p> 引き続き、令和2～6年にかけて、流山本町地域のツーリズム環境整備を行います。					
<p>・評価</p> 財源として国の補助金(都市構造再編集中事業)を活用しています。				<p>・課題</p> 流山本町地域の歴史的建造物などの地域資源を活用したツーリズム環境の整備が必要です。					
<p>・課題に対する改善点</p> 流山の地名発祥の地と言われている赤城山公園のツーリズム環境を整備するための設計ができました。				<p>・取組</p> 赤城山公園の修景整備のための設計に基づき、工事を行います。					

主管部局 健康福祉部

施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
高齢者の人口	住民基本台帳人口（市民課）※翌年度4月1日時点	46,162	46,689	46,965	人	-
生きがいを感じる高齢者の割合	「生きがいをもって元気に暮らしていると思いますか」における「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合（まちづくり達成度アンケート）	79.6	79.0	82.8	%	↑
要介護・要支援認定率	65歳以上の要介護・要支援認定者数/第1号被保険者数（65歳以上）×100（介護支援課）※翌年度4月1日時点	17.2	17.9	18.2	%	↓

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 高齢者が住み慣れた地域で元気に生き生き暮らし続けるよう、移動スーパーの巡回や高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業の開始により生活支援や介護予防に取り組みました。</p> <p>・評価 移動スーパーの巡回により地域の見守りや買い物支援活動が推進された。高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を実施し通いの場等に専門職が向き、運動・栄養・口腔に関する健康教育や相談などを実施することでフレイル（虚弱）予防の普及啓発が図れた。</p> <p>・改善点 移動スーパーの巡回場所拡充について検討します。高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業をより多くの通いの場で実施できるよう周知します。</p>	<p>・現状 高齢者人口、要介護、要支援認定者率が増加しています。コロナ禍でも感染防止対策を講じながら継続した介護予防の取り組みを行う必要があると捉えています。</p> <p>・課題 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を関係各課で連携し、介護予防及び高齢者の保健事業の充実を図ります。</p> <p>・取組内容 移動スーパーの巡回場所のリクエストに応じた巡回ルートの検討をします。高齢者が容易に通える範囲に住民主体のながいき100歳体操グループが活動できるよう立ち上げ支援を行います。高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業では、様々な高齢者の集いの場に事業を上げるとともに国保データベース（KDB）を活用し、フレイル予防に取り組みます。</p>

多様な生きがいづくり 主管課：高齢者支援課

高齢者等市内移動支援バス事業	市内の事業所の協力のもとに送迎バスの空席を活用し、高齢者の活動範囲の拡大を支援することで積極的な社会参加を促進します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	403		0		637	802	0	802
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
協力民間事業者数(団体)	5	5	5	利用件数(人)		60	-	500
運行ルート数(ルート)	6	6	66	新規利用登録者数(人)		200	27	25
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、病院利用者以外の乗車である本事業としては中止とせざるを得ませんでした。</p> <p>・評価 高齢者の感染リスクを考慮すると、事業の一時中止はやむを得ないと考えます。</p> <p>・課題に対する改善点 感染予防対策を十分に行っているにもかかわらず、医療機関への通院の利用者との乗車はお互いの感染リスクが伴うことから感染対策について検討します。</p>	<p>・現状 感染拡大状況及び社会活動の状況を確認しながら、事業の再開に向けて事業所と協議してまいります。</p> <p>・課題 再開の時期の判断が感染拡大状況等により困難です。</p> <p>・取組 情報収集と再開できる時期の判断を的確に行い、再開時には利用者にはいち早くお知らせします。</p>							

多様な生きがいづくり 主管課：高齢者支援課

敬老バス支援事業	高齢者団体に市が大型バスを貸出し、高齢者相互の親睦やレクリエーション活動等の支援を行うことで、健康で生きがいのある生活を促進します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	7,464		5,671		1,911	8,219	0	8,219
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
利用回数(回)	22	31	70	新規利用団体(団体)		-	-	5
利用人数(人)	412	581	1,100					
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み							
<p>・取組 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、マスクの着用、手指消毒、検温、換気、利用人数を半数以下に制限、座席シートのビニール加工、車内の定期的な消毒、宿泊利用の中止、まん延防止等重点措置時の景を超えての利用制限を実施しました。</p> <p>・評価 敬老バス利用者からバス利用を介してと思われる感染者発生報告は受けていません。コロナ禍でも親睦やレクリエーション活動の一助となりました。</p> <p>・課題に対する改善点 利用者に対する感染予防策確保について、新たな感染防止対策商品があれば前向きに取り組んでいきます。</p>	<p>・現状 まん延防止等重点措置や団体利用者の中に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した等キャンセルが相次ぐ現状にあります。</p> <p>・課題 不要不急な外出を控える自粛と、高齢者の積極的な社会参加を呼びかけることとのバランスが求められています。</p> <p>・取組 新型コロナウイルス感染症拡大防止と、ガソリン代高騰のため近距離の利用が増えつつあります。</p>							

多様な生きがいづくり 主管課：高齢者支援課

高齢者ふれあいの家支援事業	市内の空家等を利用し、閉じこもりがちな高齢者が自由に集まり、地域の子どもたちを含めた高齢者との交流や健康づくり、趣味活動ができる場所を提供していただける個人・団体等を支援します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	5,946		4,743		1,911	6,585	0	6,585
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
年間開催総数(回)	2,561	3,175	3,200	年間利用者総数(人)		29,622	43,184	43,500
市内設置場所(か所)	25	27	28					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染症対策をしながらの三密回避による集客及び新たな企画を常に検討しています。				・現状 コロナ禍ではあるが、集客や企画に力を入れて努力している「ふれあいの家」には報償費を増額する予定です。				
・評価 コロナ禍ではあるが、新規に2件のふれあいの家を開設することができました。				・課題 新型コロナウイルス感染へのリスク低減を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 ふれあいの家の周知・PRが不足しています。ボランティアスタッフの減少しています。				・取組 アルコール消毒液・マスク等の配布を実施します。健康体操とのコラボレーションによる健康への取組みや普及啓発を実施します。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり 主管課：介護支援課、高齢者支援課

在宅高齢者介護予防・生活支援事業	公共交通機関の利用が困難な非課税世帯の単身高齢者を対象に、自宅の玄関から病院等の利用施設まで移動及び乗降の介助を支援します。また、理美容店へ出向くことが困難な高齢者には、訪問による理美容サービスを提供し、移動・出張に要する費用を助成します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	9,869		9,600		1,911	9,920	878	9,042
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
訪問理美容サービス利用回数(回)	85	77	85	訪問理美容サービス新規利用者(人)		10	17	20
外出支援サービス利用回数(回)	3,690	3,703	3,820	外出支援サービス新規利用者(人)		37	41	45
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少しました。				・現状 外出支援サービスについては、委託先の運転士の不足が課題です。				
・評価 サービスを必要としている利用者に、適正なサービスの提供を行いました。				・課題 高齢者は増加しており、必要としている高齢者への利用の促進を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 不要不急な外出の自粛により、社会生活上の必要なサービスも利用控えの傾向がみられます。外出支援サービスについては、事業所側の課題として、運転士不足があげられるが、持続可能となるよう運転士確保のための周知を工夫します。				・取組 サービスを必要としている人に適正に利用されるよう制度を周知するとともに、高齢者の雇用の場として委託先の運転士を活用します。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり 主管課：介護支援課、高齢者支援課

地域福祉センター整備事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、高齢者及び障害者福祉に関する複合施設である地域福祉センターのエレベーターの改修工事を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	28,322		22,623		637	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
地域福祉センター整備事業(事業者)	-	1	-	安心・安全な施設利用に関する満足度(%)		-	100	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 エレベーター本体全ての更新工事を施設利用を継続しながらの工事だったため、利用の安全対策に配慮し実施しました。				・現状 改修工事完了につき本事業については、令和3年度をもって終了いたしました。				
・評価 エレベーターの代替えとなる昇降機の安全利用のための講習会を施設職員に対し開催するとともに、工事中の安全確保のために警備員を配置し、安心に工事が遂行されました。				・課題 改修工事完了につき本事業については、令和3年度をもって終了いたしました。				
・課題に対する改善点				・取組 改修工事完了につき本事業については、令和3年度をもって終了いたしました。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課						
在宅医療介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
介護支援課	16,187		11,410		14,817	11,964	11,964	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
介護と医療をつむぐ会開催回数(回)	5	5	5	情報共有システムを利用した在宅療養者数(延べ)(人)		38	49	60
出前講座開催回数(回)	2	2	3					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 医師や介護に係わる専門職の団体代表者による「在宅医療介護連携会議」を5回開催し、事業評価を行いました。医療・介護の専門職に向けて、多職種連携推進を目的とした「介護と医療をつむぐ会」と「看取り症例検討会」を開催しました。市民への周知活動として、市民公開講座を開催し、「おうち療養情報紙」を発行しました。				・現状 「在宅医療介護連携会議」において、市内の医療介護職能団体と協働して、地域の医療と介護についての課題抽出と改善に取り組んでいます。				
・評価 新型コロナウイルス感染症流行の状況が続きましたが、オンラインやYoutube動画配信を利用し、会議や研修会を開催・実施しました。				・課題 医療と介護の関係者が協働できる関係性を作り、良質な在宅医療介護が提供できる体制を構築する必要があります。				
・課題に対する改善点 「介護と医療をつむぐ会」については、参加者の減少と固定化が、情報共有システムについては、システム利用者数は微増しているものの有効利用の方法が課題としてあり、新しい企画など考案する必要があります。				・取組 「在宅医療介護連携会議」の定例会開催の他、「介護と医療をつむぐ会」「市民公開講座」の開催、「おうち療養情報紙」の発行は引き続き行い、医療介護の専門職の連携強化を図るとともに、在宅療養や看取りについての市民啓発に努めます。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課						
地域包括支援センター委託事業	介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防するため、心身の状況や環境等に応じ、包括的な援助や福祉の増進を図るための包括的支援事業を実施し、地域住民の健康の維持及び生活の安定のための援助を行う、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の設置・運営を委託します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	144,756		143,442		12,740	144,648	144,648	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
相談件数(件)(令和元年度より、地区の相談傾向を把握する集計方法に変更)	17,432	18,961	20,000	運営状況調査評価指標の点数(全センター平均)(点)		52	53	53
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 各高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の強み等をとらえつつ、相談室同士の交流、連携、情報共有を図りました。また、高齢者支援課に地区担当保健師を配置し、後方支援を行いました。				・現状 各地域の特性を把握し、地域の住民や関係者等や高齢者なんでも相談室間（地域包括支援センター）の交流、連携、情報共有を図るため、地域ケア会議、運営協議会、職種別交流会等を開催し、機能強化に努めています。				
・評価 職種別交流会を高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の職員の希望により集合型で行うことで、相談室間の交流や情報共有ができ、連携等の機能強化と職員のスキルアップを行うことが出来ました。				・課題 高齢者人口の増加や複雑化・長期化する問題への対応や増加する業務の効率化に対し、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の職員の確保が課題です。				
・課題に対する改善点 高齢者人口の増加に伴う、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）職員体制の確保や複雑化する問題が課題となっており、各相談室の業務について現状把握や業務の効率化を図ることが必要です。				・取組 各高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の現状把握を行い、職員の増員に向けて、必要性を検討していきます。問題が複雑化する中、市や各相談室間の連携を強化し、業務の効率化を進めてまいります。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり		主管課：介護支援課、高齢者支援課						
高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業	高齢者の保健事業（国保データベースから抽出したハイリスク者への専門職の訪問による個別相談・指導）と介護予防事業（専門職による集いの場への積極的な関与）を一体的に行いフレイル（虚弱）の予防を図ることで、要介護状態への進行の予防及び健康寿命の延伸を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	11,110		8,048		20,226	12,480	11,981	499
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
通いの場での健康教育・健康相談の実施回数(回)	-	109	120	通いの場での健康教育・健康相談の参加人数(人)		-	1,981	2,400
糖尿病性腎症重症化予防プログラムおよび低栄養に関するプログラムの指導回数(回)	-	47	60	糖尿病性腎症重症化予防プログラムおよび低栄養に関するプログラムの実施人数(人)		-	27	30
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 高齢者の通いの場や体操等の活動の場で、医療専門職がフレイル予防の健康教育や健康相談を実施しました。また、健診等の結果より、糖尿病性腎症と低栄養ハイリスク者へ医療専門職の訪問等による個別相談・指導を実施しました。				・現状 コロナ禍で高齢者の活動の場も休止するなど、フレイル（虚弱）状態に陥りやすい状況であり、フレイル予防の重要性を啓発するとともに、介護保険の介護予防事業との連携を強化することで介護状態への予防及び高齢者の保健事業の充実を図る必要があります。				
・評価 コロナ禍で通いの場の活動が休止しているグループも多く、活動をしているグループへは、感染症対策を実施しながら、各活動の状況に合わせた安心安全な実施方法を調整し、各医療専門職によるフレイル予防の健康教育・相談を実施できました。また、ハイリスク者への訪問等は個人の状況や感染症拡大状況に合わせて個別相談・指導を実施できました。				・課題 コロナ禍で通いの場の活動が休止しているグループも多く、フレイル予防の重要性や専門職の介入の目的を理解していただき、連携しながら医療専門職が関わる場を増加させ、多くの高齢者へ展開していくことが課題です。				
・課題に対する改善点 コロナ禍で通いの場の活動を休止しているグループも多いため、フレイル予防の重要性や専門職の介入の目的を理解していただき、各グループの状況把握や連携を図る必要があります。				・取組 昨年度実施した高齢者の通いの場等へのフレイル予防の健康教育や健康相談を継続実施するとともに、昨年度未実施の高齢者ふれあいの家等通いの場へ調整を図り、実施に向けて連携を図ります。また、糖尿病性腎症と低栄養ハイリスク者へ医療専門職の訪問等による個別相談・指導も継続して実施します。				

介護体制づくり 主管課：介護支援課、高齢者支援課

介護人材確保支援事業	介護人材確保を目的として国、県の介護人材確保対策事業と連携しながら市内の介護保険施設、事業所の就業者の確保を目的とした事業を実施します。また、市単独事業として、市内介護保険サービス事業所に勤務する介護職員の処遇改善事業と介護福祉士の資格を取得して市内の介護施設等に勤務しようとする介護福祉士等の養成施設等の在学者へ就学資金の貸し付け事業を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
介護支援課	11,190		1,552		5,096	134,234	134,234	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
理解促進講座開催回数(回)	1	1	1	介護職員養成研修受講費助成件数(件)		32	27	30
				流山市介護職員処遇改善事業補助対象者人数(人)		-	-	700
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 介護職員養成研修受講費助成について、喀痰吸引等研修を助成対象として追加しました。また、指定養成施設で修学し、介護福祉士資格の取得を目指す学生に対する資金の貸付事業を開始しました。				・現状 介護職員の確保は困難な状況が続いています。				
・評価 介護職員養成研修受講費助成について、27件の申請がありましたが、令和2年度より申請件数が減少しました。				・課題 市内介護サービス事業所に就業する介護職員数を増加させるとともに、提供するサービスの質の向上を目指していきます。				
・課題に対する改善点 事業所の人材不足は継続しており、介護職員の能力向上に対する助成と共に、新たな介護人材の確保に向けた支援が必要です。				・取組 介護職員養成研修受講費助成により、市内事業所における有資格の介護職員の増加を図ります。また、介護職員処遇改善事業や個別就職相談会によるマッチングなどを実施して、介護人材の確保と定着支援を実施します。				

介護体制づくり 主管課：介護支援課、高齢者支援課

特別養護老人ホーム整備支援事業	特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向け、高齢者支援計画に基づいて計画的に施設整備を進めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
介護支援課	0		0		2,119	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
市内特別養護老人ホームの施設数(施設)	12	12	12	特別養護老人ホーム入所希望待機者数(人)		270	251	280
市内特別養護老人ホームの入所定員数(人)	976	1,086	1,086					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 太陽の里おおたかの森(100床)が4月に開設されました。老朽化していた初石苑を廃止し(50床)、はまなす苑を増築(60床)することで計100床を増床しました。令和6年4月の新規開設(60床)を目指し社会福祉法人あかぎ万葉を事業者に選定しました。				・現状 高齢者人口が増加しているため、入所待機者の増加が続く見込みです。				
・評価 第8期高齢者支援計画に基づき、入所待機者の解消を目指し特別養護老人ホームの整備を進めました。100床の増床について、令和4年度中の開設時期を令和3年度中に前倒しました。				・課題 本人・家族の負担を軽減し、適切な介護サービスを提供できるよう施設整備を着実に進めていく必要があります。また、開設に遅れが生じないよう事業者・法人と連携を図っていく必要があります。				
・課題に対する改善点 特にありません。				・取組 令和6年4月の新規開設(60床)を目指して、事業者の社会福祉法人あかぎ万葉への必要な支援を行います。第9期高齢者支援計画の策定にあたり、事業者アンケートを通じて法人の意向を把握するとともに、必要な整備数の見込みを立てていきます。				

介護体制づくり 主管課：介護支援課、高齢者支援課

高齢者介護予防普及啓発事業	介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防教室を実施します。また、知識の普及啓発を目指し、パンフレットの作成、配布を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	1,036		1,234		8,447	1,373	1,373	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
介護予防教室開催数(回)	29	21	21	介護予防教室参加延べ人数(人)		219	351	516
				ながいき100歳体操グループ数(グループ)		45	51	70
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 感染症対策に留意して「筋力アップ教室」を実施しました。キックマン アリーナでの教室では手話通訳と要約筆記を行い、聴覚障害のある方も介護予防に取り組めるようにしました。また認知機能の維持・向上を目的とした「しゃきしゃき100歳体操」の普及啓発を行いました。				・現状 「ながいき100歳体操」の普及啓発活動として介護予防教室の「筋力アップ教室」を実施します。また、認知機能の維持・向上を目的とした体操も併せて普及啓発を行います。				
・評価 新型コロナウイルス感染症の影響下においても高齢者が介護予防に取り組めるよう、感染症対策に留意しながら介護予防教室を運営し、介護予防の知識の普及啓発を実施しました。今後も高齢者が所属する団体への周知を行い、介護予防に取り組む方を増やしていくことが必要です。				・課題 より多くの市民が介護予防に取り組めるように、「ながいき100歳体操」の周知方法を工夫する必要があります。				
・課題に対する改善点 コロナ禍で自宅でも介護予防のための体操に取り組んだり、自主グループの活動に生かしていただけるよう「ながいき100歳体操」の動画をDVDにより作成配布するとともに、YouTubeで公開しました。				・取組 感染症対策に留意して「筋力アップ教室」を実施します。また、認知機能の維持・向上を目的とした「しゃきしゃき100歳体操」の普及啓発を行います。「ながいき100歳体操」にまだ取り組んでいない高齢者が所属する団体に「ながいき100歳体操」を紹介し、周知を図ります。				

認知症施策推進事業	認知症に関する知識の普及及び啓発を行います。また、認知症の疑いのある方や認知症の方等へ早期に対応できるよう相談支援体制の構築を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
介護支援課	2,165		1,000		9,555	2,866	2,866	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
認知症サポーター養成講座開催数(回)	31	30	40	認知症サポーター養成数(人)		964	1,009	1,500
令和3年度の実績と評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>認知症の正しい知識の普及・啓発のため、感染症対策を講じながら体験型講座や認知症サポーター養成講座等を開催し、「認知症安心ガイドブック」の配布を行いました。さらに、認知症地域支援推進員の会議において、認知症の人や家族が地域で暮らし続けていく上での課題について検討しました。</p>				<p>・現状</p> <p>認知症の疑いがあり、支援が必要な状態となっても受診やサービスに結びついていないケースや認知症の人や家族が誰にも相談できずに家庭内で抱え込み、課題が複雑化しているケースが存在します。</p>				
<p>・評価</p> <p>認知症サポーター養成講座の受講者数が増加しました。認知症体験型講座は応募者も多く、参加者からも好評でした。</p>				<p>・課題</p> <p>認知症に対する正しい知識の啓発と理解を持って地域全体で認知症の方を見守ることできるよう、認知症サポーターのさらなる増加や活動促進、また、認知症の人や家族が早期に相談・受診ができるよう相談窓口の周知が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>認知症安心ガイドブックを見た方が、より活用しやすい内容に改善する必要があります。また、高齢者なんでも相談室や医療機関などの相談場所について周知を行う必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>9月を「認知症月間」とし、講演会や、認知症体験型講座等を開催します。また、「認知症安心ガイドブック」の作成や相談窓口の周知、認知症の方の見守りを含めた認知症サポーターの活動機会の創出について、認知症地域支援推進員等と検討していきます。</p>				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数	障害者支援課資料 ※上から身体障害者、知的障害者、精神障害者 ※R1実績=H30年4月1日現在、R2実績=H31年4月1日現在、R3実績=R2年4月1日現在	4,216 1,011 1,332	4,204 1,061 1,444	4,230 1,089 1,556	人	-
障害者就労支援センターの利用者数	障害者支援課資料 ※R1実績=H30年4月1日現在、R2実績=H31年4月1日現在、R3実績=R2年4月1日現在	207	194	181	人	↑
相談支援事業の利用者数	障害者支援課資料 ※R1実績=H30年4月1日現在、R2実績=H31年4月1日現在、R3実績=R2年4月1日現在	2,190	2,464	2,529	人	↑

令和3年度の実績と評価・改善点	令和4年度の実績・課題・取組み
<p>・取組内容 障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、日常生活用具の給付、意思疎通支援、就労支援など必要なサービスが適正に提供されるよう支援に取り組みました。流山市手話言語の普及の促進に関する条例の普及啓発として、手話通訳者等の育成を図るなど、手話言語への理解と普及を図りました。</p> <p>・評価 障害者等へのサービスを適正に提供しました。</p> <p>・改善点 コロナ禍で集合することに制限があったため、広報やホームページの案内による手話言語への理解に力を入れました。また、手話の出前講座を開始し、さまざまな機関への働きかけを実施できました。</p>	<p>・現状 障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援体制の充実の他、手話等による意思疎通支援、視覚障害者への代筆代読支援、移動支援など必要なサービスが適正に提供されるよう支援に取り組みます。</p> <p>・課題 相談件数が増加し、複雑化しているため、相談支援体制の強化が必要です。</p> <p>・取組内容 増加する相談件数及び複雑化する相談内容に対応するため、相談員を増員し、相談支援体制を強化します。</p>

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

障害者自立支援給付事業	障害者等が自立した日常生活及び社会生活を送るために居宅介護（ホームヘルプ）、施設入所、就労支援、人工透析の費用の支給等、国が定める介護、訓練、補装具、医療の給付を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
障害者支援課	2,406,036		2,550,664		48,744	2,600,514	1,940,029	660,485
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
障害福祉サービス支給決定者数(人)	960	1,013	-	障害福祉サービス利用延べ人数(人)	17,092	18,789	-	-
令和3年度の実績と評価・改善点	令和4年度の実績・課題・取組み							
<p>・取組 感染症対策を継続し、障害者や障害児が地域の中で自立した生活を送れるように、障害福祉サービスを適切に提供しました。</p> <p>・評価 安心してサービス利用ができる体制を築き、障害者本人に必要なサービスを提供しました。</p> <p>・課題に対する改善点 サービス支給を適切に行うために、サービス等利用計画を精査しました。また、支給決定基準の見直しを実施しました。</p>	<p>・現状 感染症対策を継続し、安心してサービス利用ができる体制を築き、障害者本人へ必要なサービスを提供していきます。</p> <p>・課題 手帳保持者の増加が見込まれる中で、障害福祉サービスを提供する事業所が不足したり、サービスの質が保たれない恐れがあります。</p> <p>・取組 障害福祉サービスの利用を希望する障害者が、必要なサービスを受給できるよう障害福祉サービスの内容や事業所などを案内し、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるようにサービスを適切に提供していきます。また、医療的ケア児の支援体制の構築に努めます。</p>							

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

つばさ学園療育相談事業	心身の成長や発達に心配のある乳幼児及び児童に対し、専門的かつ総合的な支援が行えるよう相談支援等の充実を図るとともに早期発見、早期療育に努める。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
児童発達支援センター	17,525		17,036		37,863	21,574	21,574	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
発達相談総件数(件)	967	1,057	1,000	目標発達相談総件数に対する実際に実施した相談総件数の割合(%)	93	117	100	100
新規発達相談件数(件)	229	260	260	初回面接に係る日数(日)	25	45	30	30
令和3年度の実績と評価・改善点	令和4年度の実績・課題・取組み							
<p>・取組 増加する発達相談に対し相談の申込みから初回面接までの日数を短縮するよう努めました。</p> <p>・評価 コロナウイルス感染症対策による影響が大きく(例えば1回当たりの相談時間を抑えるため面接の回数を増やす必要が生じたことなど)初回面接まで日数を短縮するに至りませんでした。</p> <p>・課題に対する改善点 昨年同様相談業務の一部を委託することとしました。また、面接及び発達検査を実施した場合の結果については、文書または電話により説明することとしました。</p>	<p>・現状 本市の人口増加に伴い発達相談や支援を必要とする保護者が引き続き増加しています。</p> <p>・課題 子どもの発達に心配のある保護者に対し早期に相談を実施できるよう体制を築く必要があります。</p> <p>・取組 引き続き相談業務の一部を委託するとともに、児童発達支援センターにおいても専門職を充実させ発達相談業務を実施していきます。</p>							

障害福祉サービスの充実		主管課：障害者支援課、児童発達支援センター						
障害児通所支援事業	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを行う民間施設及びつばさ学園に対して、障害児福祉サービスに係る給付を行います。また、すべてのサービス利用者に障害児相談支援を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
障害者支援課	1,116,584		1,229,291		36,004	1,339,264	1,000,603	338,661
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
障害児通所支援支給決定者(人)	726	889	-	障害児通所支援事業所利用者(人)		7,844	10,076	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを利用する障害児に対して、障害児支援利用計画に基づき、適正な支給決定を行いました。				・現状 児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを利用する障害児に、障害児支援利用計画の内容を審査し、各障害児の状況に合わせて適正なサービス提供を行います。				
・評価 サービスを利用する障害児は増加していますが、個々の状況に合わせたサービスを提供しました。				・課題 サービスを利用するために必要な障害児支援利用計画を立てる相談支援専門員が不足しています。また、保育所等訪問支援事業の内容について、学校・幼稚園・保育所への周知が必要です。				
・課題に対する改善点 感染症対策を継続し、支援の質の向上のためにオンラインによる研修などを実施しました。				・取組 相談支援専門員について、障害児通所支援事業を実施している事業所に事業実施について働きかけを行います。保育所等訪問支援事業については、制度内容の理解を進めるため周知してまいります。				

障害福祉サービスの充実		主管課：障害者支援課、児童発達支援センター						
障害者グループホーム等運営費補助事業	小規模なグループホームの運営費の一部を助成し、経営の安定化を図り、入居者の自立と社会参加の促進を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
障害者支援課	18,264		17,196		6,370	15,583	7,791	7,792
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
補助件数(件)	31	25	-	対象施設への入居者数(人)		108	100	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 入退所の状況を正確に把握し、対象施設における対象経費を入念に精査し、適切な補助金交付事務を行いました。				・現状 グループホームの利用者の増加は継続しており、市内外を問わず対象となるグループホームについても増えています。				
・評価 国保連からの請求データを活用し、対象者の把握を正確に行いました。				・課題 報酬改定による報酬単価の増額や新しいグループホーム類型の創設により、運営状況の確認や精査が必要となります。				
・課題に対する改善点 月遅れの請求を含め、データ抽出を丁寧に行うことで、漏れなく対象者を把握するよう努めました。				・取組 施設利用者や対象事業所は増加傾向にありますが、引き続き正確な状況把握をして、適切な事務の執行をしていきます。				

自立と社会参加の促進		主管課：障害者支援課、児童発達支援センター						
障害者地域生活支援事業	障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、手話等による意思疎通支援、日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、地域活動支援センター等による支援を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
障害者支援課	163,560		144,085		57,191	169,660	59,175	110,485
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
委託相談員の人数(人)	4	5	-	相談支援を利用している障害者の人数(人)		2,700	2,790	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 意思疎通支援事業や移動支援事業等において、障害特性に応じた事業を実施しました。				・現状 基幹相談支援センターを中心として地域の相談支援事業者との連携を図るため、定期的に連絡会を開催し、情報共有をしています。				
・評価 基幹相談支援センターを中心に相談支援事業所の連携強化と育成を行い、相談体制を拡充しました。				・課題 身近な相談窓口として市内3カ所の委託相談支援事業所の周知を図るとともに、相談件数の増加や相談内容の複雑化に対応するため、相談支援体制を強化する必要があります。				
・課題に対する改善点 手話の出勤講座を実施し、手話に対する理解や興味の促進に努めました。				・取組 障害特性に応じた事業を実施するため、利用者のニーズを適切に把握し、サービスの周知を行います。また、相談支援体制の強化のため相談員を増やし、障害者やその家族からの相談に対し丁寧に対応できるよう体制整備に努めます。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
福祉のサービス等に市民が参加できる(協力できる)まちづくりの福祉ができていないと思う市民の割合	「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合(まちづくり達成度アンケート)	53.6	52.8	52.8	%	↑
生活保護受給者数	社会福祉課	1,750	1,832	1,861	人	-

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、「生活困窮者自立支援金」や「住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金」の支給を新たに開始しました。また、生活保護受給者への訪問活動の際にタブレット端末を利用したり、Zoomを活用したオンライン面談の検証を行うなど、新型コロナウイルス感染症の感染リスクに配慮しつつ事務の効率化を図るための取り組みを行いました。</p> <p>・評価 コロナ禍において、経済的な事由だけでなく様々な問題を抱える方に対し、関係機関と協力しきめ細やかな相談対応を実施しました。</p> <p>・改善点 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金の支給に関して、できるだけ速やかに支給できるよう書式の簡素化に努めました。</p>	<p>・現状 様々な問題を抱える生活困窮者に対し、早期の自立に向けた支援を継続して行っていきます。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域での支え合い活動の取組や災害時の避難支援などの活動事例を紹介する機会を設けることができませんでしたが、今年度は自治会等への出前講座等を積極的にを行い、孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進します。</p> <p>・課題 支え合い活動の継続、定着を図るための取組みを実施するとともに、今後も活動の普及に努めます。</p> <p>・取組内容 個人情報取扱いをはじめ、支え合い活動に関するガイドブックを作成し、出前講座等を通じて活動の普及を推進していきます。</p>

地域福祉の推進 主管課：社会福祉課

福祉会館整備事業	市民の健康と福祉の増進を図るため、地域福祉活動の拠点としての福祉会館の改修を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
社会福祉課	40,445		33,643		4,364	32,382	31,300	1,082
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
改修工事件数(件)	2	3	6	改修済工事件数(件)		2	3	6
				福祉会館延べ利用人数(人)		188,443	236,910	250,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 南流山福祉会館外壁改修工事、下花輪福祉会館フェンス設置及び敷地内通路整備工事、ガラス飛散防止改修工事(西深井、南流山、平和台、下花輪福祉会館)をそれぞれ実施しました。</p> <p>・評価 改修工事を計画的に進め、無事に終了することができました。</p> <p>・課題に対する改善点 改修工事日程について施設と連絡調整し、利用者の利便性の配慮に努めました。</p>				<p>・現状 経年劣化した施設を改修し、安心・安全に利用できるようにします。</p> <p>・課題 計画的に改修工事を進めていきます。</p> <p>・取組 江戸川台福祉会館2階玄関ホールサッシ改修、下花輪福祉会館浴室ひび割れ及び塗装改修、東深井福祉会館ガラス飛散防止対策、名都借福祉会館空調設備改修、向小金福祉会館公共下水道接続工事、思井福祉会館屋上防水工事及び外壁塗装改修工事を実施します。</p>				

地域福祉の推進 主管課：社会福祉課

地域支え合い活動推進事業	孤立死防止と災害時の支援のために、地域における日常からの支え合い・見守りを推進します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
社会福祉課	6,793		5,985		2,091	6,771	2,400	4,371
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
支え合い活動対象者名簿登載者数(人)	11,853	12,146	-	地域支え合い活動協力自治会等数(自治会等)		120	122	127
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 自治会等からの頻度の高い質問や個人情報の取扱いについてのガイドブックを作成し、内容の随時見直しを行いながら活動の普及を推進しました。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染症の影響により説明会等の開催が難しい中、資料等を送付するなど可能な範囲で活動の普及に努めました。</p> <p>・課題に対する改善点 名簿を受領し活動する自治会に対し、協定を締結した年度及び後年度に係る活動の推進のため、報償費を支給しました。</p>				<p>・現状 地域での支え合い活動の取組みや災害時の避難支援などの活動事例を紹介する機会を設けるなど、地域における孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進します。</p> <p>・課題 地域において支え合い活動の理解を普及するとともに、活動の継続、定着を図ってための取組みを継続していく必要があります。</p> <p>・取組 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、説明会等の開催に努めます。</p>				

生活困窮者支援		主管課：社会福祉課						
生活困窮者自立支援事業	生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
社会福祉課	36,264		35,592		3,185	34,594	24,676	9,918
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
自立支援相談件数(件)	683	312	300	プラン作成件数(件)		229	86	90
住居確保給付金支給件数(件)	115	124	100					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 経済的な困窮だけでなく生活全般にわたる様々な問題を抱える相談者に対し、切れ目のない継続した支援を行い、早期の生活再生のサポートに努めます。				・現状 引き続き、様々な問題を抱える生活困窮者に対し、生活再生のための継続した支援を行います。				
・評価 生活の立て直しに向け、生活保護の案内も含め適切な対応に努めました。				・課題 生活困窮者の状況が様々であるため、個々の状況を把握したうえで、その状況に応じた支援を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 それぞれの相談者の状況を把握し、生活の立て直しに向けた支援を行いました。				・取組 関係機関と連携を図りながら、自立に向けた包括的・継続的な支援を行っていきます。ひきこもりに関するアンケート調査を実施します。				

生活困窮者支援		主管課：社会福祉課						
生活保護法等に基づく扶助事業	生活保護受給者に各種扶助(生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭)を適正に実施します。また、就労支援を始めたとする自立支援プログラムの充実やハローワークとの連携により、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
社会福祉課	3,082,296		3,146,381		163,858	3,101,490	2,382,417	719,073
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
生活保護受給者数(人)	1,832	1,861	1,914	保護率(%)		0	0	0
自立支援プログラム相談回数(被保護者就労支援事業分)(回)	171	188	190	自立支援プログラム利用後、就労に至った人数(人)		5	1	5
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染症の影響により増加した生活困窮者に対し、地域包括支援センターや生活困窮者自立支援事業所と連携して支援を行いました。				・現状 生活保護受給者に各種扶助費の適正な支給に努めます。				
・評価 最後のセーフティネットとしての役割を果たしています。				・課題 就労支援をはじめとする自立支援プログラムの活用等を通して、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。				
・課題に対する改善点 関係機関との連携により自立に繋がる世帯がありました。				・取組 ハローワーク等、関係機関と連携して健康で文化的な最低限度の生活が保障されるように支援を行います。				

生活困窮者支援		主管課：社会福祉課						
被保護者健康管理支援事業	生活保護法に基づき、生活保護受給者へ経済的自立のみならず医療と生活の両面から支援を行います。被保護者の生活習慣病等の予防や重症化を予防するため、レセプトデータを活用し、分析、健康課題を整理し、翌年度は、作成した資料を基に、個別支援計画を策定し、対象者への保健指導、生活支援を個別に実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
社会福祉課	0		0		163,858	2,090	1,567	523
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
健診受診勧奨(人)	1,351	1,398	1,438					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和2年度に分析した資料を参考に、事業対象者の抽出を行い、健診受診勧奨及び生活習慣病の改善に向けた取組みを行いました。				・現状 健康課題が確認できた被保護者に対して、保健師とケースワーカーが協力して、継続的に生活習慣病の改善を行っています。				
・評価 被保護者と協力して、一朝一夕では解決しない課題に根気よく対応しました。				・課題 長期的な支援が必要となっています。				
・課題に対する改善点 それぞれの健康状態の把握に努めました。				・取組 新たに健康課題に関する分析を行い、支援の必要な被保護者の把握に努めます。				

主管部局 総合政策部 施策の目的 すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
国籍や性別などにかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	「平等感」における「平等である」の割合（まちづくり達成度アンケート） ※R2より新規取得	-	86.5	83.9	%	↑
外国人の人口	住民基本台帳人口	2,984	3,101	3,190	人	-

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会を目指して、新たな気づきを共有するため、人権フェスティバル2021や男女共同参画啓発講座を実施しました。また、国際理解サポートセンターでは、在住外国人の相談対応を行いました。女性の生き方相談を開設し、生活する上で困難を抱えている女性の相談に対応し、必要に応じて市の各種相談窓口相談者を繋ぎました。</p> <p>・評価 在住外国人が増加していますが、国籍や性別にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合が減少しています。また、主要事業においても成果指標の減少もみられることから、実施した各事業の取組み内容を検証し、改善を図る必要があります。</p> <p>・改善点 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、各事業の目的を達成できるよう実施内容を再検討しました。相談窓口では、感染症対策を十分行い対面で実施したほか、人権フェスティバル2021や小学6年生を対象にした平和学習は、オンラインを活用して、非対面で事業を実施しました。</p>	<p>・現状 子育て世代をはじめ、年少人口、在住外国人が増加しています。こうした中、男女の人権の尊重や国籍など多様性を認め合う機運をさらに醸成するため、啓発活動を継続する必要があります。また、在住外国人や女性の不安や悩みにより、寄り添う相談窓口をNPO法人と連携して開設する必要があります。</p> <p>・課題 男女共同参画、人権意識は高まっていますが、日常生活の中で人権に係わる課題や問題があることから、さらに取組みが必要です。また、成果指標が上昇するよう、事業の内容や周知方法を工夫する必要があります。女性の生き方相談は、相談件数の増加と共に、予約の問い合わせから相談までの日数が長くなる傾向があります。</p> <p>・取組内容 男女共同参画、多様性の理解を促進し、NPO法人等と連携、協力して、各事業を実施します。また、女性の生き方相談は、開設日を増やし、早期の解決に繋がります。平和施策では、次世代を担う子どもたちをはじめ、幅広い世代と平和の尊さ、命の大切さを共有します。</p>

人権尊重・男女共同参画の社会づくり 主管課：秘書広報課、企画政策課

人権啓発活動活性化事業	法務省の人権啓発活動活性化事業の一環として、松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。また、中学生を対象とした「人権講演会」、小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて人権思想の普及啓発を図ります。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
秘書広報課	733		468		1,274		0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
各種啓発イベントや講演会等の実施回数(回)	-	2	3	森のまちふれあいフェスの参加人数(人)			-	273	300
				森のまちふれあいフェス来場者アンケートで人権への関心が深まったと回答した割合(%)			-	92	93
令和3年度の取組みと評価・改善点					令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 松戸人権擁護委員協議会流山部会との連携により、工夫・改善を重ねることで、人権思想の普及啓発を行いました。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、可能な範囲で人権思想の普及啓発を行うことができました。</p> <p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症拡大により、各種啓発活動については、対面を前提とした実施が難しくなっているため、オンラインツールを活用し、感染防止に配慮しながら、可能な範囲で人権啓発活動を実施しました。</p>					<p>・現状 引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大により、小学生を対象とした「人権教室」など各種啓発活動の対面実施が難しくなっています。</p> <p>・課題 新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、可能な範囲で人権思想の普及啓発を実施しなければなりません。一方で、当該ウイルスに罹患した方や当該ワクチン未接種者に対する差別が懸念されるなど、事業の重要性は増しています。</p> <p>・取組 松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。また、中学生を対象とした「人権講演会」、小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて人権思想の普及啓発を図ります。</p>				

人権尊重・男女共同参画の社会づくり 主管課：秘書広報課、企画政策課

男女共同参画社会づくり事業	第4次男女共同参画プランに基づき、市民及び職員等の男女共同参画意識の向上を図るための各種講座を実施するとともに、様々な悩みを抱える女性を対象に自らの力で問題を解決できるよう相談業務を実施します。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
企画政策課	3,525		3,449		6,370		4,038	0	4,038
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)	21	18	17	男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)			44	43	45
				審議会等委員に女性委員が占める割合(執行機関を除く附属機関等)(%)			38	40	40
令和3年度の取組みと評価・改善点					令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 第4次男女共同参画プランの進行管理及び翌年度の取組の照会を行い、男女共同参画審議会で審議し公表しました。また、女性を対象にした相談を継続して実施するとともに、男女共同参画意識の向上を図るため啓発講座や職員研修を実施しました。</p> <p>・評価 新型コロナウイルス感染症の影響により、啓発講座は定員を縮小しての実施となりましたが、予定通り講座を開催し啓発することができました。成果指標の男女が平等に扱われていると思う市民の割合は微減となりましたが、新型コロナウイルス感染症による大きな影響はなかったと考えています。</p> <p>・課題に対する改善点 令和2年度実績で審議会等委員の女性委員の比率が目標値に達しなかったため、公募の際に、担当課が女性委員の比率向上を図る対策等を意識する仕組みとして、委員構成に合わせた対応を明確にする調書作成を依頼することになりました。</p>					<p>・現状 令和3年度のまちづくり達成度アンケートの結果、市民の男女平等感、社会通念・慣習の中で平等感が低いため社会全体での平等感も低くなっています。また、審議会等の女性委員が占める割合(執行機関を除く附属機関等)の目標値(40%)を達成しました。</p> <p>・課題 社会通念・慣習における平等感の向上のため、男女の性別に関わりなく多様な生き方を理解し尊重する施策の構築・周知が必要です。審議会等委員の女性委員の比率向上を図る対策等を担当課で検討するとともに、意識向上を図るため庁内での情報共有が必要です。啓発講座の質をさらに充実していきます。</p> <p>・取組 男女の性別に関わりなく多様な生き方を理解し尊重する施策の構築に取り組みと共、その周知を行います。担当課において審議会等の女性委員の比率向上対策を実施します。第4次男女共同参画プランに基づき、啓発講座の内容充実を図るとともに、女性の生き方相談の実施回数を増やします。</p>				

多文化共生社会づくり		主管課：企画政策課						
多文化共生推進事業	多文化共生社会の実現を目指し、在住外国人が安心して暮らせるように相談窓口を設置するとともに、多文化共生意識の醸成を図るための講座を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与と費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
企画政策課	1,764		1,727		4,874	1,521	1,519	2
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
国際理解サポートセンターへの相談件数(件)	44	46	48	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合(%)		86	83	87
国際交流に関する啓発イベントや講座の実施回数(回)	-	20	2					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 在住外国人の相談窓口として国際理解サポートセンターを設置しています。その運営をNPO法人流山市国際交流協会に委託し、感染症対策を講じた上で様々な相談を受けました。多文化共生意識の醸成を図るため、市内全小学校で「オランダ教室」や、市内3か所の公共施設で「やさしい日本語ポスター展」を開催しました。				・現状 令和4年4月1日現在、在住外国人は、3,190人、2,326世帯です。令和4年度は引き続き国際理解サポートセンター運営等業務を委託しています。東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の終了に伴い、オランダの事前キャンプに向けて実施していた「オランダ教室」は終了となり、イベント等の実施回数が減少します。				
・評価 令和2年度は感染症の影響により、多文化共生意識の醸成を図るための取組を実施することができませんでした。令和3年度は実施方法を再検討して取り組みました。成果指標の実績値が低下したのは、多文化共生を意識できるような取組に課題があるからと推察されます。				・課題 在住外国人には希望する広報など市が発信する情報で使用する言語として「やさしい日本語」を選ぶ人が多く、今後も「やさしい日本語」の普及を促進する必要があります。活動指標が減少しても成果指標に影響が出ないよう、多文化共生を意識できる取組を実施する必要があります。				
・課題に対する改善点 感染症対策を考慮した実施方法を検討した結果、国においても多文化共生社会の実現に向けた取組みとして普及を促進している「やさしい日本語」のポスターを作成し、やさしい日本語ポスター展を開催しました。				・取組 国際理解サポートセンターにおいて、在住外国人に寄り添った相談を行うことができるよう、受託者と連携します。多文化共生意識の醸成を図るための新たな取組、既存の取組における多文化共生意識を効果的に醸成する取組方法を検討します。				
平和施策の推進		主管課：企画政策課						
平和施策事業	平和都市宣言に基づき、次世代に平和への想いを繋ぐための活動として、平和大使の広島派遣、平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などの事業を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与と費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
企画政策課	1,924		513		2,548	2,281	600	1,681
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
平和施策に関するホームページの閲覧数(PV)	635	1,022	1,100					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 平和大使派遣・千羽鶴の募集は中止しましたが、教育委員会においてタブレット端末を使った平和学習が行われました。そのほか、平和ポスター展、ユニセフ平和教室を実施し、平和への意識啓発を行いました。				・現状 若い世代に平和の大切さや想いを繋ぐことについて、平和大使の派遣、平和ポスター展、ユニセフ平和教室などに継続的に取り組んでいます。				
・評価 新型コロナウイルス感染症の影響により予定どおりに実施できない中、代替案を検討して実施するなど工夫した結果、例年よりも多くの小学生に平和について学ぶ機会を提供できました。学校からも平和の大切さを考える良い機会だった等の好意的な意見をいただきました。				・課題 平和について考える機会を多く提供するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により各事業が中止となった場合、平和の大切さについて考える、学ぶ機会の確保が必要です。また、ウクライナ情勢において武力衝突の長期化が見込まれる場合、市としてできる平和への取組について検討を要します。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症で中止した平和大使の派遣については、代替事業として語り部の方の派遣などを検討しました。最終的には、教育委員会においてタブレット端末を使った平和学習を行ったことで、平和に対する意識啓発を行うことができました。				・取組 平和大使の派遣の報告、平和ポスター展などについて、ホームページ等を活用して広く周知し、平和について考える機会を提供します。また、次世代に平和の想いをつなぐため、過去に平和大使として参加した方の体験談を聞く機会を設けます。				

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）各年4月1日	34,375	35,834	36,994	人	-
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したものと（千葉県健康福祉部）※値はH30年、R1年、R2のもの	1.67(※)	1.59(※)	1.55(※)		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	57.7	60.2	70.2	%	↑

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 令和3年4月1日現在、国基準で待機児童ゼロを達成しました。おおたかの森児童センターが令和3年4月1日に開設しました。令和3年度、認可保育所をおおたかの森地区を中心に8箇所を整備し740名の定員増を図りました。また、小規模保育事業所は、おおたかの森地区に1箇所を整備し18名の定員増を図りました。子どもの見守りや家庭の支援が行われるよう関係機関等の研修会に参加し本市の取り組み等を説明しました。</p> <p>・評価 令和3年4月1日現在、国基準で待機児童ゼロを達成しました。保育所整備では、概ね予定どおりの整備を行いました。児童虐待の発見や支援につながるよう、関係機関の会議や研修会に参加し共通認識を深めました。</p> <p>・改善点 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を縮小するなど大きな影響が発生しましたが、事業内容を見直すなどして事業を実施しました。一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育などの保育所整備を進めていく必要があります。</p>	<p>・現状 18歳未満人口は、令和3年4月時点で36,994人と対前年度1,160人増となりました。流山児童センターは、令和4年度、引き続き本体工事を実施し、令和4年12月の開設に向け準備を進めます。保育所整備は、認可保育所6箇所、小規模保育事業所は1箇所整備する予定です。児童虐待の相談対応件数は、引き続き増加傾向が続いています。</p> <p>・課題 子育て世帯の増加などにより、今後も保育需要が増加すると見込まれます。妊娠から子育て期にわたり、切れ目ないサポート環境の充実と、地域ぐるみで子育てをサポートする体制づくりが必要です。増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。</p> <p>・取組内容 令和4年度は、新たな児童センターとなる南流山児童センターを令和4年12月に開設することを目指し、子どもの居場所づくりと子育て家庭をサポートする環境の充実を図ります。安心して子育てができるよう児童手当等の定められた経済支援を適正かつ正確に行います。また、ひとり親家庭等に対して、自立した生活を送るために必要な情報提供及びサポートを行います。児童虐待やDV防止対策等における相談体制の充実及び関係機関との連携強化を図ります。</p>

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

児童館・児童センター整備事業	児童の健全な遊びの場を提供するため、令和4年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に、子育て支援施設（児童センター及び子育て世代活動支援センター）を整備します。なお、同施設に一体の複合施設として地域図書館を整備します。（令和3年度：建設工事/令和4年度：建設工事）								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	412,000		59,854		19,110		123,260	87,733	35,527
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
おおたかの森児童センター整備工事進捗率(%)	100	-	-						
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)	1	67	100						
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み								
<p>・取組 令和3年度は建設工事に着手しました。</p> <p>・評価 完成に向け、着実な事業進捗を図りました。</p> <p>・課題に対する改善点 各種中学校行事への影響を限りなく少なく出来るよう、今後とも学校側との意見交換を行っていきます。</p>	<p>・現状 令和4年度は建設最終年度となります。</p> <p>・課題 各種中学校行事への影響を限りなく少なく出来るよう努めます。</p> <p>・取組 令和4年12月施設開館に向け、事故等の無いよう円滑な工事進捗を図ります。</p>								

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

ファミリーサポートセンター支援事業	ひとり親家庭等の就労の支援および育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その利用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大します。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)		R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	18,458		18,072		4,224		18,588	11,800	6,788
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
ファミリー・サポート・センターの利用実績(件)	4,643	7,579	7,600						
ファミリー・サポート・センターの登録者数(人)	2,194	2,253	2,300						
令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み								
<p>・取組 令和3年度は、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者に加えて、未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも対象を拡大し、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成しました。</p> <p>・評価 令和3年度から、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者に加えて、未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも対象を拡大したため、育児の負担軽減を図ることができました。</p> <p>・課題に対する改善点 対象者を拡大したため、育児の負担軽減を図ることができました。</p>	<p>・現状 令和4年度も、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者、未就学児2人以上の多胎児を養育する方を対象に、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成します。</p> <p>・課題 ファミリー・サポート・センター利用助成の登録申請は、窓口のみでの対応としていましたが、多子養育者等からは子どもを連れての申請は負担であるとの声があります。</p> <p>・取組 令和4年度からは、郵送でも取り扱えるように、ホームページ等に掲載して対応します。</p>								

子どもを産み育てやすい環境づくり 主管課：子ども家庭課、健康増進課

妊娠・出産・子育てサポート事業	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面接により情報把握を行い作成した支援計画をもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困りごとについての相談に応じ、解決に向けた支援をします。令和3年度からは、産後ケアに「産前産後サポート事業」を新たに加え、多胎児のパパママを対象にグループ形式による多胎児育児経験者との交流等を目的とした教室の開催を市内の助産院に委託し、子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図ります。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
健康増進課	40,334		59,095		59,129	50,929	35,993	14,936	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
妊婦面談率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)			96	93	95
乳児家庭全戸訪問実施率(%)	95	94	95	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)			83	82	85
令和3年度 of 取組みと評価・改善点					令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 母子健康手帳交付時に専門職による面談を行い、妊娠早期からの情報提供や支援の必要な方の把握に努めました。令和3年度より、「産前産後サポート事業」として、多胎児を妊娠している方やその家族、身近に相談者のいない妊婦やそのパートナーに対する教室等を市内助産院に委託し実施しました。					・現状 新型コロナウイルス感染症の影響により、里帰り出産ができない、家族等からのサポートが受けられないなどの相談がよせられています。また、事業の実施については、感染状況により実施方法を検討しています。				
・評価 母子健康手帳交付時面談の100%実施により、妊婦に対し早期状況把握及び必要な情報提供や支援を実施しました。「産前産後サポート事業」では、妊婦を対象とした教室を開催し孤立感の軽減を図ることを目的に、地域での仲間づくりを促し、孤立感の軽減を図ることができました。					・課題 支援を要する妊産婦の増加がみられます。コロナ禍においての情報提供や支援体制が脆弱にならないよう、安定した支援の継続が必要です。				
・課題に対する改善点 「産前産後サポート事業」では、新型コロナウイルス感染予防に配慮し出来る限り開催しますが、対面形式による教室への参加が困難な方でも参加いただけるよう、リモートによる教室を実施しました。					・取組 産前産後に家族等からサポートを受けられない方へ、「育児支援等サービス事業」による家事・育児支援を提供し妊産婦の身体的及び心理面の負担を軽減します。また、「産前産後サポート事業」では、オンラインでの開催も実施します。なお、今年度末には、南流山センター内に「子育てなんでも相談室」を開設し、支援体制の強化を図ります。				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

送迎保育ステーション事業	流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
保育課	101,209		101,208		2,950	100,453	50,672	49,781	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)	2	2	2	延べ利用数(人)			12,236	13,546	17,000
送迎バスの台数(台)	8	8	8	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))			-	3	-
令和3年度 of 取組みと評価・改善点					令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消を図りました。					・現状 待機児童については低い水準を維持しておりますが、本事業が無ければ保育施設への通所が難しい児童は存在しているため、引き続き事業が必要です。				
・評価 新型コロナウイルス感染症対策及び速やかな送迎を行うためルートを見直し、保護者の送迎における負担軽減に努めました。					・課題 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらの児童の安全な移送の確保が課題となります。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績は例年と比べて減少しましたが、感染拡大防止に努めながら本事業を実施し、保育需要に対応するとともに保護者の送迎における負担軽減を図りました。					・取組 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

病児保育事業	保育所等に通所中の児童が、病氣中・病氣回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。								
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源	
保育課	67,575		65,313		1,911	56,505	30,206	26,299	
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標			R2実績	R3実績	R4目標
病児及び病後児保育実施園数(園)	4	4	3	利用者数(年度ごと延人数)(人)			19	72	200
令和3年度 of 取組みと評価・改善点					令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 病児・病後児対応型を「オハナゆめキッズハウス」「けやきの森保育園西初石園」「オハナゆめ保育園」の3施設で、病後児対応型を「わらしこ保育園」で実施しました。					・現状 病児と病後児の線引きが曖昧であったため、実施対象を病児・病後児対応型の3施設のみに絞り、継続して事業を実施していきます。				
・評価 事業利用者の利便性向上のため、利用のWeb予約を開始しました。					・課題 預かり対象については段階的に拡大しているものの、なお新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準には至っていません。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一次的に預かりを外傷性の傷病のみに制限していましたが、対象を段階的に拡大しました。					・取組 感染症を拡大することなく、かつ可能な限り多くの方が利用できるような預かり条件について検討を行います。				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

保育所改修事業	老朽化している公立保育所5施設の長寿命化と入所児童や職員が安全かつ快適に保育できるよう施設改修を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
保育課	19,090		20,570		637	17,914	11,400	6,514
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
改修箇所数(箇所)	2	3	2	公立保育所利用者数(4月1日)(人)		537	521	600
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>東深井保育所においては、空調機の老朽化に伴う更新を実施したほか、給食室にスチームコンベクションオープンを設置しました。</p> <p>江戸川台保育所においては、空調機の老朽化に伴う故障があり、更新を実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>公立保育所の全ての建物の耐震改修は終了しましたが、何れも築40年以上の建物であることから、引き続き計画的に長寿命化のための改修を行う必要があります。</p>				
<p>・評価</p> <p>東深井保育所及び江戸川台保育所で安全かつ快適に保育ができる環境整備が図られました。</p>				<p>・課題</p> <p>空調機についても設置から15年以上経過しているものも多いため、計画的な更新を行う必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>空調機及びスチームコンベクションオープンについては、計画的に更新及び導入を進めています。空調機については老朽化に伴う機能低下が懸念されることから、さらに計画を早める必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>平和台保育所において、木造棟の空調機の老朽化に伴う更新工事を実施します。また、江戸川台保育所の給食室にスチームコンベクションオープンを設置します。</p>				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

私立保育所等運営補助事業	保育士の確保や保育の質の向上を図るため、私立保育所等を設置運営する社会福祉法人等に対し補助金を交付します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
保育課	2,028,049		2,135,712		9,555	2,585,658	788,388	1,797,270
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
補助施設数(件)	72	87	95	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	3	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>私立保育所等87か所に対し、17事業の補助金の交付を実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>私立保育園等95か所(予定)に対し、18事業の補助金の交付を実施します。</p>				
<p>・評価</p> <p>保育士の補助を行う保育補助者の雇上げに係る補助を新設することで、保育士の負担軽減と保育の質の向上を図ることができました。</p>				<p>・課題</p> <p>医療を要する状態にある児童を保育所等が受け入れられる体制整備の構築が必要となっています。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>各補助事業の必要性を検討していく必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>医療的ケア児保育支援事業補助金を新設し、医療を要する状態にある児童を保育所等が受け入れられる体制整備の構築を図ります。</p>				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

私立保育所整備補助事業	待機児童の解消を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	1,024,082		1,095,188		19,110	972,627	784,919	187,708
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
整備箇所数(か所)	12	8	6	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	3	-
整備により増加した定員数(人)	982	740	560					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和3年度、おおたかの森駅周辺地区を中心に8箇所整備し740名の定員増を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和4年度についても、おおたかの森駅周辺地区を中心に、認可保育所560名の定員増を進めます。</p>				
<p>・評価</p> <p>待機児童ゼロを実現出来ませんでした。</p>				<p>・課題</p> <p>多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めます。</p>				

保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課

小規模保育事業所整備補助事業	多様な保育ニーズにきめ細かく対応するため、市内に定員19名以内の小規模保育事業所を整備する事業者に対して、費用の一部を補助します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	53,140		22,862		19,110	26,890	23,333	3,557
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
整備箇所数(か所)	2	1	1	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	3	-
整備により増加した定員数(人)	38	18	19					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 小規模保育事業所は、おおたかの森地区に1箇所を整備し18名の定員増を図りました。</p>				<p>・現状 令和4年度も、おおたかの森駅周辺地域を中心に、小規模保育事業所19名の定員増を図ります。</p>				
<p>・評価 待機児童ゼロを実現出来ませんでした。</p>				<p>・課題 多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点 一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。</p>				<p>・取組 質の高い保育を提供する小規模保育事業所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る小規模保育事業所(法人)の整備に努めます。</p>				

児童クラブの充実 主管課：教育総務課、学校施設課

児童保育運営事業	就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
教育総務課	110,537		95,919		12,553	162,146	101,923	60,223
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
研修開催件数(件)	1	1	1	児童クラブの延べ利用人数(人)		26,186	28,934	30,000
				放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		22,400	26,992	27,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 令和3年度は児童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催したほか、経験年数に応じて支援員等に支給する処遇改善にも取り組みました。</p>				<p>・現状 流山おおたかの森地区を中心に子育て世帯の流入が顕著となり、今後も入所希望が増加すると考えられます。</p>				
<p>・評価 全体的な保育の向上を図るために、支援員や補助員を対象とした研修を実施しました。また、支援員や補助員を確保するために、所得の底上げ等の処遇改善を行いました。</p>				<p>・課題 新人の支援員や補助員の保育のあり方について、不安を払拭させるための更なる研修の必要があります。また、支援員や補助員の安定的な確保のために、継続的な処遇改善に努める必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点 新型コロナウイルスの影響もありますが、支援員や補助員の保育技術を向上するための研修を積極的に実施します。また、支援員や補助員の安定的な所得の確保のために、引き続き処遇の改善などの支援をしていきます。</p>				<p>・取組 引き続き、支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、児童クラブ運営の質の向上に努めます。</p>				

児童クラブの充実 主管課：教育総務課、学校施設課

児童クラブ施設整備事業	児童数の増加に対応するため、新たな児童クラブを創設します。また、老朽化している児童クラブの改修工事を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
教育総務課	208,455		157,291		12,553	76,243	52,782	23,461
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
児童クラブの整備後の定員数(人)	3,080	3,240	3,240	待機児童数(3月末)(人)		-	-	-
児童クラブの整備後の施設数(施設)	36	37	37					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組 小山小学校第5児童クラブを令和4年4月の開所に合わせて整備しました。</p>				<p>・現状 令和6年4月に開校予定となる2つの小学校内に新たに児童クラブを設置する計画を行います。</p>				
<p>・評価 遅滞なく整備することができました。</p>				<p>・課題 児童推計を踏まえた正確なニーズ調査、学校施設との調整が必要です。</p>				
<p>・課題に対する改善点 当該小学校区は人口が増加している地区であり、今後も計画的な整備が必要です。</p>				<p>・取組 令和4年から5年にかけて、児童クラブ創設工事を行います。</p>				

養育環境への配慮		主管課：子ども家庭課						
ひとり親家庭等生活向上事業	子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	55,187		39,771		9,555	56,751	0	56,751
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
利用者数(人)	57	115	120	学習の習慣がついたと回答した児童数(%)		63	68	-
協力塾数(件)	34	65	70	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		80	77	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大しました。				・現状 子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校2年生及び中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和4年度からは、夏期期間及び冬期期間についても、追加で支援します。				
・評価 令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大したため、生活困窮者世帯の子どもたちが学習塾に通えるようになり、学習への意欲が高まりました。				・課題 利用できる子どもを増やすために、協定塾を増やします。				
・課題に対する改善点 対象者を拡大することができたため、生活困窮者世帯の子どもたちが学習塾に通えるようになり、学習への意欲が高まりました。				・取組 協定塾の負担を軽減するために、報告書等の簡素化に努めます。				

養育環境への配慮		主管課：子ども家庭課						
要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、子どもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
子ども家庭課	6,783		6,217		76,162	5,581	2,984	2,597
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
安全確認件数(%)	97	99	99	児童虐待による死亡児童数(人)		-	-	-
研修開催回数(回)	1	2	1	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		70	89	89
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 ・地域において、子どもの見守りや家庭の支援が行われるよう関係機関・団体の会議や研修会に参加し、本事業の取組等について説明しました。				・現状 ・児童虐待の相談対応件数は、引き続き増加傾向が続いています。 ・地域や関係機関において、児童虐待の早期発見に関する認識は高まっています。				
・評価 ・児童及び保護者と接する機会がある庁内の部署や外部関係機関等を対象に児童虐待防止に係る研修を行い、児童福祉分野以外の職員等に対しても認識を深めることができました。				・課題 ・増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。				
・課題に対する改善点 ・迅速かつ適切なタイミングで児童虐待の発見や支援につながるよう、関係機関の会議や研修会に参加し本事業に関する共通認識を深めました。				・取組 ・子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるよう専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図ります。 ・地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行います。				

青少年の健全育成の促進		主管課：生涯学習課						
青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。また、ネットパトロールを実施し、青少年がSNS等ネット上でのトラブルに巻き込まれないよう見守りをします。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
生涯学習課	4,906		4,833		3,765	5,253	0	5,253
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
相談件数(件)	81	57	45					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 多様な相談内容に対応できるよう、過年度の相談の傾向を分析し、適切なアドバイスや関係諸機関の紹介を行い、相談活動の充実を努めました。また、定期的にネットパトロールを実施しました。				・現状 相談者が相談しやすい雰囲気づくりや丁寧な聞き取り等で相談活動の充実を図っていますが、相談窓口の性質上、どうしても待ちの状況になりがちです。また、市内でもいろいろな相談窓口があるので、区別化が難しいのが現状です。				
・評価 センターだよりへ相談案内を積極的に掲載し、相談窓口を広く周知することで、より多くの相談機会を提供しました。また、相談内容をより丁寧に聞き取ることで、相談者の悩みや不安が改善するよう支援しました。				・課題 相談者の悩みの解決が図れるよう、相談内容によって関係諸機関を紹介していますが、紹介までに留まりがちなので、確実に繋いでいけるよう連携を強化していきます。				
・課題に対する改善点 個々の相談への対応については、全体的に充実を図ることができましたが、学校や関係諸機関との積極的な連携に課題が残りました。				・取組 令和4年度は、より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、休日に特別相談窓口の開設を予定しています。また、関係諸機関への紹介だけでなく、紹介後の状況についても情報提供をしてもらい、継続的な支援を可能にしていきます。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R1実績	R2実績	R3実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	68.5 65.3	実施なし	71.0 64.0	%	
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒 5月1日時点	11,317 4,435	11,775 4,605	12,356 4,750	人	-
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）（2月）※小学校、中学校	3,003 466	3,037 315	5,765 594	件	↓

令和3年度の取組みと評価・改善点	令和4年度の現状・課題・取組み
<p>・取組内容 6月と11月に「いじめ認知アンケート」を行い、その後、児童生徒との面談を行いました。全国学力・学習状況調査の分析方法について、教務主任研修会を行いました。</p>	<p>・現状 児童数の増加といじめの積極的な認知に伴い、いじめ認知件数は、毎年増加しています。全国学力・学習状況調査の分析方法と活用方法について、教務主任研修会を行い授業改善につなげます。</p>
<p>・評価 小さなトラブルでも、いじめの根源と考え、積極的に認知を行い、トラブル解消に努めてきました。今後も迅速に対応していきます。全国学力・学習状況調査の分析を行い、分析結果を授業改善に活用することができました。</p>	<p>・課題 積極的にいじめ認知を行い、早期発見、早期解決につなげることが課題です。全国学力・学習状況調査の結果を細かく分析して授業改善に役立てることが必要です。</p>
<p>・改善点 小さなトラブルでもいじめと積極的に認知しているため、実数は増えています。いじめは、根の小さいうちに迅速に対応する必要があります。全国学力・学習状況調査の結果を細かく分析できるように研修する必要があります。</p>	<p>・取組内容 6月、11月の「いじめ認知アンケート」で認知するだけでなく、いじめを未然に防ぐために、いじめについての特別授業を小学校、中学校で行います。全国学力・学習状況調査の分析方法と活用方法、効果的なICT教育について、教務主任研修会を行い授業改善につなげます。</p>

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校英語活動推進事業		令和3年度当初予算							令和3年度決算見込			R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源			
担当課		54,682							54,221			49,202		65,039		0		65,039			
指導課		R2実績							R3実績			R4目標(予定)		主な成果指標		R2実績		R3実績		R4目標	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標		R2実績		R3実績		R4目標							
小学校ALT配置数(人)		8		9		11		英語教育実施状況調査(文部科学省)におけるALT等の活用状況(%)		-		90		92							
英語活動指導員の指導時間の合計(時間)		9,758		10,437		11,830															
令和3年度の取組みと評価・改善点										令和4年度の現状・課題・取組み											
<p>・取組 英語指導員スーパーバイザーを1名、外国語指導助手(ALT)を8名、英語活動指導員を21名雇用し、全小学校に配置しました。</p>										<p>・現状 英語指導員スーパーバイザーを1名、外国語指導助手(ALT)を10名、英語活動指導員を21名雇用して全小学校に配置し、小学校3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整えます。</p>											
<p>・評価 学級担任と効果的なチームティーチングを行えるよう、英語活動指導員スーパーバイザーを中心とした研修体制を構築しました。</p>										<p>・課題 学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語活動とICTの活用を踏まえた研修を充実させます。</p>											
<p>・課題に対する改善点 学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語活動のさらなる充実を目指します。</p>										<p>・取組 外国語担当者及び英語活動指導員、外国語指導助手(ALT)の研修を年複数回実施します。</p>											

確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校教育指導運営事業		令和3年度当初予算							令和3年度決算見込			R3職員給与費(目安)		R4当初予算		R4特定財源		R4一般財源			
担当課		17,860							16,912			11,295		20,698		0		20,698			
指導課		R2実績							R3実績			R4目標(予定)		主な成果指標		R2実績		R3実績		R4目標	
主な活動指標		R2実績		R3実績		R4目標(予定)		主な成果指標		R2実績		R3実績		R4目標							
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)		1		1		1		小学校図書貸出冊数(11月)(冊)		23,980		25,400		25,700							
令和3年度の取組みと評価・改善点										令和4年度の現状・課題・取組み											
<p>・取組 学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを配置しています。令和2年度から司書を1人増員しました。</p>										<p>・現状 令和3年度から司書を1人増員しています。</p>											
<p>・評価 学校図書館司書リーダーの配置により、各学校間での情報交換や連携、司書のスキルアップにつながりました。学校図書館司書の配置により各学校の読書活動が推進されました。</p>										<p>・課題 学校図書館リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。1校に1人の司書の配置に向け、研修していきます。</p>											
<p>・課題に対する改善点 文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研修していきます。</p>										<p>・取組 学校図書館司書リーダーにより、経験の浅い司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、児童の読書活動を推進していきます。</p>											

確かな学力の育成		主管課：教育総務部、学校教育部						
中学校 A L T 配置事業	外国語指導助手（ALT）を中学校全校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	36,285		36,499		20,770	40,319	0	40,319
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
中学校 A L T 配置数(人)	9	9	10	英語教育実施状況調査(文部科学省)における A L T 等の活用状況(%)		-	61	70
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 外国語指導助手(ALT)を9名、中学校全校に配置しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 外国語指導助手(ALT)を10名、中学校全校に配置します。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 コミュニケーション能力を育成するため、生徒が日常的に英語に触れる機会の充実を図ることができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 生きた英語に触れるとともに、実際に英語を活用するという観点から、英語でコミュニケーションを行う機会の充実を図ります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 ティームティーチングによる授業作りを推進するとともに、新学習指導要領の理解を深め、さらにICTの活用を充実させます。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 新学習指導要領における評価方法、ICTの活用における研修を充実させます。				

確かな学力の育成		主管課：教育総務部、学校教育部						
中学校教育指導運営事業	生徒の読書教育推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	12,535		11,875		5,020	14,995	0	14,995
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1	1	1	中学校図書貸出冊数(11月)(冊)		1,017	19,468	19,700
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを配置しています。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 令和3年度から司書を1人増員しています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 学校図書館司書リーダーの配置により、各学校間での情報交換や連携、司書のスキルアップにつながりました。学校図書館司書の配置により、各学校の読書活動が推進されました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 学校図書館司書リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 学校図書館司書リーダーにより、経験雄浅い学校図書館司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、生徒の読書活動を推進していきます。				

確かな学力の育成		主管課：教育総務部、学校教育部						
地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校(小学校2校または1校、中学校1校)とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	7,513		6,080		5,500	7,947	4,986	2,961
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
市内各中学校区本部設置数(校)	9	9	10	地域による学校支援年間参加延べ人数(1月まで)(人)		43,357	51,603	60,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 市内全中学校区に地域学校協働本部を立ち上げ、コーディネーターを25名配置し、活動しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 学校支援コーディネーターを25名配置し、各学校や地域の実態に応じて、コーディネーター25名を中心に地域学校協働活動を実施しています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 コーディネーターの尽力により、ボランティアの人員や活動内容を充実させることができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 令和4年度は新たに2中学校区でコミュニティ・スクールの導入が予定されているので、協働活動との連携を推進していくことが課題です。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 ボランティアによる活動は新型コロナウイルス感染症対策のため、これまで行えた活動ができない場面もありましたが、各学校それぞれ工夫をして活動を実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 学校支援コーディネーターのサポートとコミュニティ・スクール導入の推進に取り組んでいきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

ICT学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	432,751		425,530		8,208	453,077	4,330	448,747
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	16,858	16,995	17,867	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		0	1	1
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>教科学習において、タブレット端末のインターネット機能やアプリの「ミライシード」等を活用し、情報の取得や児童生徒同士の交流の推進を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>学習指導において、児童生徒への教材の提示や、児童生徒同士で思考を比較検討する際などに活用を行っています。</p>				
<p>・評価</p> <p>タブレット端末の積極的な活用を通して、教師・児童生徒の情報リテラシーを飛躍的に向上させることができました。</p> <p>教師、児童生徒の情報モラル向上に資することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>同時に多数のタブレット端末を使用すると通信状況が滞り、教職員の校務や児童生徒の学習に支障が生じます。これについては、GIGAスクール構想業務委託事業の構内LANの増設により対応予定です。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>Web会議システム (teams) やミライシード等の情報ツールを活用していく上での留意事項や活用事例を収集し、分析、共有を行っていくことで、GIGAスクール構想の具現化に努めていきます。</p>				<p>・取組</p> <p>今年度も、昨年度までに引き続きオンライン配信や、学習指導において活用を行っています。今後も1人1台端末の積極的な活用を進めていきます。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

給食室等改修事業	長崎小学校の給食室を建替えて、児童数増加に対応するとともに、10校分の調理室へのエアコン設置を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	9,059		280,404		23,029	132,120	102,837	29,283
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
調理場へのエアコン設置学校数	2	2	10	長崎小学校調理場建替え工事の進捗率(%)		2	5	100
				調理場への空調設備整備率(%)		23	47	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>八木北小学校給食室の増築及び南流山小学校・八木中学校給食室にエアコンを設置しました。長崎小学校給食室の建て替え工事を実施しています。</p>				<p>・現状</p> <p>長崎小学校給食室の建替え工事及び10校分の給食室エアコン設置工事を実施します。</p>				
<p>・評価</p> <p>八木北小学校給食室増築及び給食室エアコン設置について、令和4年度に供用開始することができました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和5年度の供用開始に支障がないよう、工事を進める必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>長崎小学校給食室建替え工事について、令和5年度から供用を開始することから、工事が遅れないよう工程管理をする必要があります。</p>				<p>・取組</p> <p>発注者、監理者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施します。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

新設中学校建設事業	おおぐろの森小学校の開校及び、小山小学校の児童数増加により、進学先となる中学校の需要増に対応するため、おおぐろの森中学校を令和4年4月に開校しました。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	4,700,667		5,765,110		19,110	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				建設工事の進捗率(%)		-	100	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>工期の短縮に向けて、工事関係者と具体的な対策について協議を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>事業は令和3年度に完了しました。</p>				
<p>・評価</p> <p>施工者と十分な調整を図ることができました。</p>				<p>・課題</p> <p>事業は令和3年度に完了しました。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>オンライン協議も取り入れるなど、遅滞なく工事を進め「おおぐろの森中学校」を開校できました。</p>				<p>・取組</p> <p>事業は令和3年度に完了しました。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

八木北小学校校舎等建設事業	八木北小学校の児童数増加により、教室が不足することから、令和2年度に校舎増築を終えました。併せて既存校舎の改修を令和元年度からの継続事業として実施します。また、給食室・屋内運動場（体育館）についても、児童数増加に対応するための増築工事を令和2年度からの継続事業として実施しました。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	10,820		236,649		12,740	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				既存校舎改修工事の進捗率(%)		-	100	-
				屋内運動場増築工事の進捗率(%)		-	100	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 居ながら施工となることから、関係者間の十分な協議を実施しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 事業は令和3年度に完了しました。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 学校現場の協力を得て、安全を確保して施工することができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 事業は令和3年度に完了しました。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 夏休み等の学校長期休業中に集中して施工しました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 事業は令和3年度に完了しました。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

新設小学校（おおたかの森地区）建設事業	おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて、当該地区に（仮称）市野谷小学校の建設を進めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	99,990		59,996		19,110	1,297,102	1,188,807	108,295
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				設計業務の進捗率(%)		10	37	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 パブリックコメントを実施し、基本設計を策定しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 実施設計の策定を進めています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 広い分野から意見をいただくことができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 基本設計に基づき実施設計の策定が必要です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 設計業務委託者と協議をし、進捗状況を管理していきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

新設中学校（大呷地区）備品整備事業	令和4年4月に開校を予定しているおおぐろの森中学校に必要な教育備品（校具用、各教科用）を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校教育課	260,000		195,453		4,459	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
教育委員会関係部署との打合せ回数(回)	-	12	-	備品の充実割合(%)		-	100	-
入札不調件数(件)	-	-	-					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 スケジュール管理のもと、必要な教育備品の入札を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 事業は令和3年度に完了しました。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 必要な備品を予算内で購入し、適正な事務を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 事業は令和3年度に完了しました。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 必要な教育備品数や仕様書の精査が必要です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 事業は令和3年度に完了しました。				

教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部						
新設中学校（大畔地区）整備事業	令和4年4月に開校を予定している大畔地区新設中学校に必要な教材消耗品（各教科用、保健用、施設用）等を整備します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
教育総務課	28,685		22,958		6,370	2,250	0	2,250
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
入札件数(件)	-	9	-	消耗品の充実割合(%)		-	91	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和4年4月に開校した大畔地区新設中学校に必要な教材消耗品（各教科用、保健用、施設用）等を整備しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 開校後、学校運営や授業等を行って行く中で、不足している教材消耗品等があることが判明しています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和4年4月の開校までに、予定していた全ての消耗品を遅滞なく整備することができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 学校運営や授業等に支障のないように、不足している教材消耗品等を整備する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 入札により購入を予定していた消耗品以外に、追加で購入した消耗品があったことから、より綿密に必要な消耗品の把握に努める必要があります。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 開校後に、学校運営や授業等を行って行く中で必要となった教材消耗品等を整備します。				
教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部						
南流山中学校移転事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を東洋学園大学旧校舎へ移転する整備を進めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	154,562		49,495		16,659	369,095	318,259	50,836
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				設計業務の進捗率(%)		1	25	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 パブリックコメントを実施し、基本設計を策定しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 実施設計の策定を進めています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 広い分野から意見をいただくことができました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 基本設計に基づき、実施設計の策定が必要です。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 設計業務委託者と協議し、進捗状況を管理していきます。				
教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部						
新設小学校（南流山地区）改修事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	0		0		6,370	16,991	12,700	4,291
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				設計業務の進捗率(%)		-	-	100
				改修工事の進捗率(%)		-	-	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和4年度開始事業となります。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 実施設計の策定が必要です。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 令和4年度開始事業となります。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 令和4年度開始事業となります。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 設計業務委託者と協議し、進捗状況を管理していきます。				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

担任サポート教員配置事業	学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校教育課	64,415		27,438		3,185	49,669	0	49,669
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
担任サポート教員配置数(人)	-	12	12					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>令和3年度から国の学級編成基準の変更により、小学校2年生以降の1学級あたり人数が段階的に40人から35人と変更となったため、児童生徒数が基準を上回る学級について、適正な人員配置を努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和4年4月12日現在の児童・生徒数・学級数から、令和4年度は配置人数の増減はありません。</p>				
<p>・評価</p> <p>適正な配置人数である12名を確保しました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和7年度までに施設整備を進め、国の学級基準の35人学級を実施していきます。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>当初19名の配置を予定していましたが、国の学級編成基準の変更により、7名の配置が必要なくなりました。</p>				<p>・取組</p> <p>児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めます。</p>				

教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

南流山中学校移転先用地・建物買取事業	南流山中学校の移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校施設課	231,157		226,530		6,370	582,384	572,418	9,966
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				用地取得率(%)		-	-	-
				建物取得率(%)		-	31	59
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>建物の一部を取得しました。</p>				<p>・現状</p> <p>中学校移転のため、建物を取得します。</p>				
<p>・評価</p> <p>財産活用課と情報を共有し進めることができた。</p>				<p>・課題</p> <p>財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>引き続き、売買交渉を総務部財産活用課と連携し、実施していくことが必要です。</p>				<p>・取組</p> <p>財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

子ども専用いじめホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTOP it」を活用し、相談環境の充実に努めます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	6,875		6,847		4,402	7,330	0	7,330
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
「子ども専用いじめホットライン」の相談数(件)	14	15		- 小学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消件数)(%)		91	84	100
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	29	29		- 中学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消件数)(%)		100	93	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> <p>子ども専用いじめホットライン相談窓口周知のために、連絡先が記載されたカードとリーフレットを市内全小中学生に配布しました。中学生は、いじめ報告相談アプリも加え、悩みの早期発見と早期対応に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>生涯学習センター内の教育研究企画室に3名の相談員が常駐し、相談を受けています。コロナ禍により相談のニーズも多様化しておりいじめ相談だけでなく、子どもの悩み事の相談に幅広く対応しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>コロナ禍により、子どもたちの不安や悩みの内容は変化し、相談事業の必要性が高まっていると捉えています。引き続き相談窓口の周知に努めていきます。</p>				<p>・課題</p> <p>コロナ禍により、人間関係が希薄化し、相談も多様化しています。そこで、いじめだけに特化せず、幅広く相談を受ける必要があります。</p>				
<p>・課題に対する改善点</p> <p>いじめ相談窓口の更なる周知徹底をはかり、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるように努めました。</p>				<p>・取組</p> <p>小中学生なやみホットラインと名称を変更し、子ども達の悩みの相談を幅広く受けることができるようにしました。ポスターやリーフレットを作成して、子どもたちへの周知を図っていきます。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

いじめ等防止対策推進事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにハイパーQ.U（学級集団アセスメント）検査を実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
指導課	23,260		28,034		8,205	23,240	0	23,240
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
小学校いじめ認知件数(2月まで)(件)	3,037	5,765		- 小学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		91	84	100
中学校いじめ認知件数(2月まで)(件)	315	594		- 中学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		100	93	100
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> スクールロイヤー・ソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携しながら、いじめや虐待などに迅速に対応しました。				<p>・現状</p> スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、指導主事を配置したいじめ対策室が、学校や関係機関と連携し、いじめ防止、児童生徒の問題行動、虐待、への対応を行っています。				
<p>・評価</p> 児童生徒向けのいじめ授業や教員向けのいじめ防止授業を実施するなど、いじめに対する理解を深めました。				<p>・課題</p> いじめの未然防止に努めるために、児童生徒だけでなく、保護者、教員へのアプローチをする必要があります。				
<p>・課題に対する改善点</p> スクールロイヤーの訪問授業や教員研修を計画的に実施しました。				<p>・取組</p> スクールロイヤー等によるいじめ防止に向けた教員への指導を行います。また、保護者には、リーフレット等を通していじめ防止の啓発活動を行います。				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

学校給食施設管理事業	学校給食調理業務に必要な消耗品や備品を整備するとともに、給食設備の点検・清掃及び害虫駆除等を行うことにより、安定的な給食の提供と衛生管理の徹底を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校教育課	118,236		116,326		3,087	127,765	0	127,765
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
給食設備・機器の点検実施回数(回)	275	275		- 学校給食における食中毒発生件数(件)		-	-	-
施設・設備の清掃等実施回数(回)	121	121		- 保健所巡回による1校当たりの衛生管理指導事項数(件)		-	-	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 消耗品や備品の整備、給食設備の点検・清掃及び害虫駆除等を実施しました。				<p>・現状</p> 令和3年度のみ主要事業				
<p>・評価</p> 計画に沿って入札や予算の執行を行いました。				<p>・課題</p> 令和3年度のみ主要事業				
<p>・課題に対する改善点</p> 消耗品等の整備や給食設備の点検・清掃等の実施により、衛生管理を徹底し、安心安全な給食の提供をできるよう努めます。				<p>・取組</p> 令和3年度のみ主要事業				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部、学校教育部

学校サポート看護師派遣事業	小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、市域を4地区に分け、各地区の小学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置します。また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため、2名の看護師を配置します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
学校教育課	24,769		17,702		19,763	23,146	1,781	21,365
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
学校サポート看護師人数(人)	10	10	10	医療的ケア児の対応(時間)		714	2,245	2,300
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<p>・取組</p> 毎学期、サポート看護師の連絡会議を設け、取り組みや状況について報告を聞いています。市内の医療的ケアを要する児童のサポート看護師を対象とした研修会を設定し、誰もが応急処置をできるようにしています。養護教諭が主体となって、サポート看護師との打ち合わせを綿密に行っています。				<p>・現状</p> 児童生徒の病気や怪我に対する医療的な処置をはじめ、医療的ケア児の健やかな成長を図るための支援を行っています。				
<p>・評価</p> 児童生徒が安心して学校生活を過ごせるよう、医療的な処置や生活習慣に関する援助・助言を行っています。				<p>・課題</p> 増加する医療的ケア児について、個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるような教育体制の拡充に努めます。				
<p>・課題に対する改善点</p> 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律に基づく医療的ケア児の健やかな成長を図るための教育体制の構築に努めます。				<p>・取組</p> 医療的ケア児についての情報や対応等について、サポート看護師が共有し研鑽を積めるよう、連絡協議会や研修会を開催します。				

主管部局 施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

財政運営 主管課：財政調整課

市税等納付コールセンター事業	現年度課税の滞納整理を強化し徴収率の向上及び累積滞納を防止し、安定した財源確保を図るため、現年度課税分に特化し電話や文書等による催告業務を民間委託により行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
税制課	4,739		4,551		0	4,617	0	4,617
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
電話催告件数(件)※	6,591	6,400	-	催告後2か月以内に納付された件数(件)※		4,130	3,877	-
文書催告件数(件)※	3,719	3,073	-	現年度課税の徴収率(%) (参考値)※		98	99	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 滞納者が催告文書慣れしてしまうケースが想定されたため、着信がなかった対象者に対し、時間をかけて架電することにより着信率の向上に努めました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 人口増加に伴って、現年度滞納者数がここ数年横這いもしくは微増となっています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 対象税目・期別毎に催告を行った場合、催告と催告の間隔が短くなりすぎるケースが発生しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 単なる払い忘れと思われる方が反復的に催告対象者として現れるため、案件数が横ばい状態になっています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 オペレーターとの協議を実施、効率的に催告を行えるようにスケジュールを調整しました。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 積極的に口座振替を勧奨し、反復的な滞納発生を防止します。				

資産活用 主管課：財産活用課

ファシリティマネジメント推進事業	各種FM施策を実施することで、市全体の資産の質を向上させ、最適化を図るとともに、施設の改修等営繕に関する設計・監督を行い、長寿命化を図ります。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
財産活用課	1,540		1,292		27,856	1,047	1,047	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
ファシリティマネジメント施策の実施件数(件)	32	33	33	ファシリティマネジメント施策による歳入(千円)		8,198	8,897	9,401
改修等営繕に係る設計・監督実施件数(件)	34	25	30					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・取組 ・都市公園に自販機を設置し、その収益を原資に学校に防犯カメラを設置する事業について、15の学校に防犯カメラの設置が完了しました。 ・市内の低圧受電施設について再生可能エネルギー100%の電力調達に向けて公募を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> ・現状 ・各種FM施策を実施することにより、市の資産を十分に活用できています。 ・施設の改修設計・監理を行うことで長寿命化が図られています。 ・現在、取り組んでいるFM事業を継続的に推進します。				
<ul style="list-style-type: none"> ・評価 ・前年度に実施したFM施策については、予定通り遂行できました。				<ul style="list-style-type: none"> ・課題 ・学校施設と市営住宅を除く公共施設の個別施設計画における総合評価ランクは作成から4年が経過していることから見直しの必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する改善点 ・各施設所管課に対し、施設の現状を反映させた個別施設計画の時点修正を行うよう促します。				<ul style="list-style-type: none"> ・取組 ・公共施設等総合管理計画を改定します。 ・営繕業務を実施します。				

資産活用 主管課：財産活用課

本庁舎施設管理計画事業	本庁舎が老朽化していることから、長寿命化を図るものです。また、劣化が著しい設備等を改修し、災害時の活動拠点となる本庁舎を良好な状態に保ちます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
財産活用課	43,721		52,448		12,740	8,160	3,300	4,860
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
改修にかかる費用(千円)	3,124	51,832	8,160	改修等必要箇所数(件)		2	3	2
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 受変電設備の更新時期が20年から25年が目安とされ、機器の劣化により停電事故を防止するために改修を行いました。 蓄電池設備の更新時期が約15年であることから、直流電源装置、蓄電盤等の改修を行いました。 評価 目標としていた改修工事を行うことが出来ました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 本庁舎建設から30年以上が経過し、庁舎設備が経年劣化等により改修すべき箇所が増加しています。 課題 庁舎設備について、計画的に行う必要があります。 				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 本庁舎建設から30年以上が経過し、老朽化していることから設備更新や改修の検討を引き続き行い、計画的に進める必要があります。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 火災発生時に正常に機能していなければならない庁舎の自動火災報知設備の更新工事設計と市役所出入口付近店舗解体工事、本解体工事に伴い設置する転落防止柵設置工事を行います。 				

資産活用 主管課：財産活用課

通訳タブレット導入事業	南流山出張所及び江戸川台駅前出張所に外国語及び手話(日本語)通訳タブレットを配備し、インターネットを通して通訳士と会話形式または手話形式で通訳を行うことで、円滑かつ快適な窓口サービスを提供します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
市民課	874		396		6,370	1,006	0	1,006
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
来庁した外国人の人数(人)	-	273	281	通訳タブレットを使用した外国人の人数(人)		-	82	85
来庁した聴覚障害者の人数(人)	-	-	12	通訳タブレットを使用した聴覚障害者の人数(人)		-	-	12
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 令和3年6月から通訳タブレットを導入し、日本語が困難な外国人や聴覚障害者が窓口手続等の意思疎通を行いやすい環境を整備しました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 出張所での様々な課にまたがる業務についても、通訳スタッフが行政用語を理解し、市職員の説明内容をお客様に円滑にお伝えできています。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 以前は通訳の同伴が必要だった外国人の方が、一人で来所できるようになり、誰一人取り残さない社会の実現に向けた施策の展開に寄与しているものと考えます。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 引き続き利用者のニーズを確認し、設置台数や設置場所の見直しについて随時検討する必要があります。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 日本語が困難な外国人の方が来庁した際でも、通訳を通すことで、来所の目的や説明の理解度を円滑に確認することができるようになり、窓口手続等における意思疎通が、以前よりも行いやすくなりました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 引き続き当事業を継続し、日本語が困難な外国人や聴覚障害者が意思疎通を行いやすい窓口環境を提供していきます。				

資産活用 主管課：財産活用課

南流山出張所拡張整備事業	南流山出張所を既存の南流山センター事務室の位置まで拡張し、併せて備品を購入し、事務室の整備を図るもの。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
市民課	0		0		27,418	837	0	837
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
南流山出張所来場者数(人)	-	25,932	27,000	住民異動取扱件数(件)		2,732	2,503	2,750
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 事務室拡張整備に向け、関係各課と協議を行いました。				<ul style="list-style-type: none"> 現状 人口増加に伴い、事務処理対応のために職員を増員しました。				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 出張所の拡張が了承されました。				<ul style="list-style-type: none"> 課題 職員数に対して事務室が狭隘化しています。				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 事務室の狭隘化について、拡張整備する方向となりました。				<ul style="list-style-type: none"> 取組 事務室を拡張し、市民にも利用しやすい出張所にします。				

組織・人材		主管課：人材育成課						
職員研修事業	職員一人ひとりの資質の向上や専門知識の習得を図るため、担当部門や勤続年数に応じた研修を実施します。また、組織外からの知識や情報を組織内に吸収し、組織としての創造性を高める効果的な方策として政策自主研修を行う職員に研修助成し、意欲のある職員を育成します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
人材育成課	19,058		16,694		5,262	22,687	388	22,299
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
職員数(毎年4月1日現在)(人)	1,102	1,117	1,162	職員自主研修助成者数(人)		26	23	24
集合研修実施件数(件)	24	26	24	派遣研修派遣職員数(人)		67	54	87
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスのさらなる向上を図るため、研修計画に基づく研修を実施しました。令和3年度は新たにユニバーサルマナー研修を実施しました。				・現状 引き続き、職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスのさらなる向上を図るため、人材育成基本方針に従い、職員研修事業を進めます。				
・評価 新型コロナウイルス感染対策を図りながら、人材育成基本方針に基づく研修を実施できたものと評価します。				・課題 新型コロナウイルス感染対策を図りつつ、効果的な研修を実施するとともに、多くの職員の研修参加を推進します。				
・課題に対する改善点 令和3年度は、プロポーザル選定の結果、職員研修一括業務委託の受託者が変更となったことから、引き続き新たな事業者のノウハウを導入しながら、一層、効果的な研修の実施に努めます。				・取組 事前の準備及び事後の確認を適切に行い、より効果的な研修となるよう実施して参ります。				

組織・人材		主管課：人材育成課						
政策法務推進事業	政策法務推進計画に従い、政策法務研修計画に基づく研修の実施等の人材の育成、政策法務主任の設置等の組織の充実、法令・判例の解説等の入手を容易にする環境の整備、行政リーガル・ドック事業等の予防法務の実施により政策法務を推進します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
総務課	4,142		3,904		8,918	4,149	0	4,149
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
研修受講者数(人)	173	138	128	自治体法務検定シルバークラス以上取得者累計数(人)		131	151	171
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループワークを中心とする政策法務研修<発展編>を中止とし、講義を中心とする基礎法務研修、政策法務研修<基礎編>及び政策法務主任研修の一部を感染症対策を講じた上で実施しました。また、行政リーガル・ドック事業についても実施しました。				・現状 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、可能な範囲で政策法務研修計画に基づき各研修を実施します。また、行政指導をテーマに行政リーガル・ドック事業を実施します。				
・評価 研修及び行政リーガル・ドック事業を継続して実施してきたことにより、職員の政策法務に対する意識の向上がみられますが、全庁的に更なる政策法務に対する意識向上を図るため、継続して研修及び行政リーガル・ドック事業を実施する必要があります。				・課題 新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた、研修における演習のグループワークを感染症に配慮した形で行うなどし、知識の定着を図っていく必要があります。				
・課題に対する改善点 職員の政策法務能力向上のため、各研修や行政リーガル・ドック事業がより良い内容になるよう見直します。				・取組 新型コロナウイルス感染症に関する状況を注視しながら事業の実施に努めます。				

行政経営		主管課：市民生活課						
広聴活動事業	書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺います。頂戴した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させます。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
秘書広報課	13,702		13,044		11,217	14,132	0	14,132
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
タウンミーティング開催回数(回)	11	10	9	無作為抽出型タウンミーティングに「満足した」と回答した参加者の割合(%)		-	-	82
				住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合(%)		83	83	85
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺いました。頂戴した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させました。				・現状 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、市民の意見等を広く聴取してまいります。				
・評価 新型コロナウイルス感染症対策による、緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置期間においても、9回のタウンミーティングを開催し、市民の意見等を市政への反映に努めることができました。				・課題 今後も緊急事態宣言等が発せられることを想定しながら、広く市民の意見等を聴取していく方法について検討していく必要があります。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症対策として、感染状況を注視し、会議の実施の判断が必要となります。人数制限など感染対策を行い、可能な限りタウンミーティングを開催し、市民の意見等を所管課と共有してきました。				・取組 集合型のタウンミーティングについては、感染症拡大の先行きを注視しながら、判断をする必要があります。開催する場合は、市民が安心して参加できるよう、感染拡大防止のための最大限の対応を行います。また、併せてオンライン会議ツールを活用した意見交換についても、準備を進めます。				

行政経営								
見やすく分かりやすいホームページ運営事業	市の公式ホームページについて、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を利用した管理・運営を行い、「見やすく」「探しやすい」情報提供を行うことで、流山市民はもとより市外の方や企業の方にも流山市の魅力や各種情報をタイムリーに発信します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
秘書広報課	6,205		6,242		7,644	5,646	2,000	3,646
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				市ホームページの月平均ページビュー数(回)		1,193,643	1,319,437	1,000,000
				ページ内アンケートで「ページを見つけやすい」と答えた人の割合(%)		61	59	65
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 ウェブアクセシビリティに配慮したページになるよう、ページデザインを工夫しました。また、令和4年10月のリニューアルに向けて有識者を募り、リニューアルアドバイザー会議を実施しました。				・現状 ページ内アンケートで「ページを見つけやすい」と答えた人の割合が低下しています。				
・評価 総務省が提供するアクセシビリティ評価ツールによりチェックを行い、エラーが生じていないことを確認しました。				・課題 市のホームページを訪れる人が目的のページにより到達しやすいサイト構成・ページ内容にする必要があります。				
・課題に対する改善点 リンク切れが生じないよう定期的に確認する必要があります。				・取組 目的ページに到達しやすくするため、リニューアルアドバイザー会議の意見を参考にリニューアルを進めます。				

行政経営								
広報発行事業	広報ながれやま（月3回。年間37回のうち3回は特集号、年1回の号外特集号）をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布（新聞折り込みや宅配など）します。また、市ホームページや携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ（マスメディアへの情報提供）などを通じて市政情報を広く発信します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
秘書広報課	46,948		44,514		20,149	46,380	0	46,380
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
				「マチイロ」の登録件数(件)		6,233	7,299	8,300
				広報ながれやまの内容や情報量に満足している人の割合(%)		81	84	85
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 転入者に「マチイロ」（広報紙などを閲覧できる行政情報アプリ）の案内書を配布しました。				・現状 マチイロの登録件数が順調に増加しています。				
・評価 マチイロの登録件数が順調に増え、電子媒体による広報紙閲覧を促進することができました。				・課題 30歳代、40歳代以外のマチイロ登録件数が少ない状況です。				
・課題に対する改善点 転入者以外にも、マチイロの周知が必要です。				・取組 マチイロを多世代に向けて呼びかけるチラシの配布や広報掲載を行います。				

行政経営								
T×沿線整備地区の字の区域の名称変更事業	つくばエクスプレス沿線整備地区で進められている土地区画整理事業の換地処分に合わせ、当該地区の字の区域及び名称の変更を行います。本地区については、換地処分が令和5年度に行われるため、住所変更通知書の作成等の業務を令和4年度・5年度に継続して実施します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
総務課	478		7,325		7,472	3,492	0	3,492
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
字変更業務の進捗状況(%)	71	100	18					
住所変更証明書発行件数(T×沿線整備地区)(件)	445	281	-					
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 鷺ヶ崎・思井地区の土地区画整理事業が令和3年5月21日に換地処分が行われ、これに合わせて字の区域及び名称の変更を行いました。				・現状 本地区の土地区画整理事業について、換地処分が令和5年度に行われるため、これに合わせて字の区域及び名称の変更を行います。				
・評価 字の区域及び名称の変更を行うに当たり、住民への通知を適切に行うことができました。				・課題 本地区の土地区画整理事業の換地処分に合わせて行うため、関係機関との連絡調整を綿密に行います。また、住民の皆様には、適切な時期にお知らせをするとともに、問合せに対しては丁寧な説明を行います。				
・課題に対する改善点 問合せに対してより丁寧な説明に努めます。				・取組 本地区の字の区域及び名称の変更を令和5年度に行うため、住所変更通知書の作成等の業務を令和4年度・5年度に継続して実施します。				

行政経営								
市民向け電子化事業		市民の方が自宅のパソコン等から行政手続きや情報取得ができる環境を整備します。また、令和4年度からLINEを活用して利用者の希望する情報を提供するセグメント配信や自動会話プログラム「チャットボット」などのサービスを提供します。						
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
情報政策・改革改善課	16,616		16,612		5,096	8,231	1	8,230
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
電子申請手続き数(件)	-	-	125	電子申請利用件数(件)		-	-	12,000
LINEによるセグメント配信件数(件)	-	-	500	LINE登録者数(人)		-	-	5,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 (令和4年度のみ主要事業)				・現状 市役所窓口に行かずとも自宅や職場のパソコンやスマートフォンから、申請や公共施設の予約などをオンラインでできる環境を整備しています。また、市が保有するデータを市民の方が活用できるオープンデータにも取り組んでいます。				
・評価 (令和4年度のみ主要事業)				・課題 電子申請をできる環境を整備していますが、利用できる手続きの一層の拡充が求められています。また、ホームページやメールに加え、より手軽な情報取得手段の拡充が必要と考えます。				
・課題に対する改善点 (令和4年度のみ主要事業)				・取組 電子申請を利用できる手続きを拡充し、市民の皆さんの利便性の向上を図ります。また、多くの方が日頃から利用しているLINEを活用して、利用者の希望する情報を提供するセグメント配信や自動会話プログラム「チャットボット」などのサービスを開始します。				

行政経営								
全庁LAN整備事業		職員利用のパソコン・プリンタ・通信機器、ファイルサーバ・グループウェア・統合型GIS等の各システム、ネットワーク環境の整備及び情報セキュリティ対策を実施します。						
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
情報政策・改革改善課	201,222		201,569		17,199	267,647	20,783	246,864
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
全庁LANパソコン整備台数(台)	1,077	1,127	1,250	配備に対する全庁LANパソコン不足台数(台)		-	-	-
自治体セキュリティクラウドマルウェア等検知件数(件)	12,019	19,801	26,000	ウイルス感染件数(件)		-	-	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 国の自治体DX推進計画に対応するため、調査・検討を行ったほか、流山市情報化推進計画の見直しを行いました。また、庁内パソコン50台を導入しました。インターネット環境の仮想化による分離システムを更新したほか、情報セキュリティを適正に維持していくため、外部機関によるセキュリティ監査を実施しました。				・現状 国の自治体DX推進計画に基づく情報システムの標準化などへの対応が求められています。庁内パソコンについては老朽化しているものがあります。セキュリティ対策としてインターネット環境について仮想化による分離をしており、令和3年度にサーバ等を更新しました。外部機関による情報セキュリティ監査の結果が令和4年3月に提出されました。				
・評価 自治体DX推進計画については、情報システムの標準化などについて関係課で対応準備を進めました。また、業務で使用する庁内パソコンについては、不足なく配備することができました。情報セキュリティについては、ウイルス感染や大きなトラブル等が発生することなく稼働させることができました。				・課題 前年度に引き続き、国の自治体DX推進計画に対応していく必要があります。老朽化している庁内パソコンについては、リプレースが必要です。インターネット環境については、オンライン会議の増加などにより、回線がひっ迫しています。令和3年度の情報セキュリティ監査で指摘された事項について見直し等が必要です。				
・課題に対する改善点 自治体DX推進計画に基づく情報システムの標準化などに対応するため、情報収集に努め的確に対応していきます。庁内パソコンについては、老朽化しているものが多いため、計画的にリプレースを行っていきます。インターネット環境については、接続設定や接続回線などについて引き続き見直しを行い、セキュリティを確保しつつ事務効率の向上に努めます。				・取組 自治体DX推進計画に基づく情報システムの標準化等については、目標を設定し、的確に対応していきます。また、老朽化している庁内パソコンについては、400台を更新します。インターネット環境については、接続設定を見直すとともに回線速度を増強します。情報セキュリティ監査で指摘された事項について、見直しを行っていきます。				

行政経営								
インターネット議会中継システム事業		流山市議会のホームページ上で本会議の映像を公開し、市民などに対して情報の共有化を図ります。併せて、手話同時通訳中継を行い、より分かりやすく市民に開かれた市議会を目指します。						
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
議会事務局	6,202		5,866		6,370	6,434	0	6,434
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
インターネット配信回数(回)	20	25	24	インターネット配信閲覧者延人数 ライブ中継(人)		24,381	39,151	39,180
				インターネット配信閲覧者延人数 録画中継(人)		6,000	3,704	3,720
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 映像・音響システムを引き続き適切に運用・保守することで、安定した議事進行に努めるとともに、わかりやすい映像配信を行うことで、議会基本条例に規定する、議会運営の公開性及び透明性の確保に努めます。また、手話通訳についても、一層のわかりやすさに努めます。さらに、インターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、周知に努めます。				・現状 本会議の様子をインターネット中継し、広く市民の皆さまに議会の様子を伝えています。本会議の手話同時通訳をインターネット同時中継することで、より多くの方に議会の様子をお伝えしています。				
・評価 インターネット配信のライブ中継の閲覧者(延人数)が、昨年度比約1.6倍に増加したことは評価すべきと考えます。また、令和元年の導入から引き続き実施している手話同時通訳については大変好評いただけており、評価すべきと考えます。				・課題 インターネット配信のライブ中継閲覧者数が増加したのに比べ、録画中継閲覧者が前年度より減少したことについては、周知が行き届いていないことも要因の1つと考えます。				
・課題に対する改善点 コロナ禍において傍聴者が減少することが見込まれたため、インターネット配信の周知に努めたところ、ライブ配信閲覧者数について、当初の目標値以上に増加しました。				・取組 引き続き安定したインターネット中継を実施し、手話同時通訳の同時中継も行います。インターネット配信閲覧を積極的に選択いただけるよう、さらなる周知に努めます。				

行政経営								
議会ICT推進事業		流山市議会ICT推進基本計画に基づき、市議会ホームページの充実とセキュリティの向上を図り、オープンデータの活用を継続することによって、より一層市民に開かれた市議会を目指します。						
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
議会事務局	288		288		5,096	10,288	0	10,288
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
Facebookコラム掲載数(回)	12	12	12	流山市議会ICT推進基本計画に基づく実施計画事業数に対する実施事業割合(%)		96	96	96
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 市議会ホームページの充実と暗号化によるセキュリティの向上を図りながら、市議会情報の積極的な発信に努めました。また、オープンデータの掲載を適宜行いました。市民からの声を元に、市議会会議予定を詳細に掲載するなど、適宜改善を行いました。				・現状 独自ドメインを取得していることから、市議会の情報発信を議会独自に迅速に行っています。また、暗号化の更新手続きを行い、セキュリティ確保に努めています。さらに、市議会データの活用を進めるため、オープンデータの掲載を行っています。				
・評価 市議会ホームページについて、適切なセキュリティ対策を講じながら、市議会に関する情報を積極的に発信することができました。また、市民からの声を元に掲載方法を適宜改善したことは、評価すべきと考えます。				・課題 委員会室の無線マイクシステムの老朽化により、マイクの音量、音質が安定せず、委員会運営に支障を来す事象が発生していることから、改善が必要です。				
・課題に対する改善点 セキュリティ向上のための暗号化の更新手続きを、適切に実施しました。また、市民からの声を反映し、市議会会議予定をより詳細に掲載するなどの改善を行いました。				・取組 市議会ホームページについては、今年度も暗号化の更新手続きを適切に行います。また、安定した委員会運営のため、委員会室の無線マイクシステムの更新を行います。市議会データ活用の推進のため、オープンデータの掲載を引き続き行います。				
行政経営								
公文書一元管理事業		公文書を一元的に管理することにより、市民等の情報公開の申請又は要望に適切に対応します。また、将来の市民に過去の行政の状況を公文書を通じて引き継ぎます。						
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
総務課	216		189		1,274	0	0	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
書庫(水道局跡地)の収納率(%)	81	86	-	保存文書の集約率(%)		83	85	-
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 公文書の適切な保管に努めました。新型コロナウイルス感染症関連など公文書の増加に対応すべく努めました。				・現状 (令和3年度のみ主要事業)				
・評価 令和2年度の電動書架増設工事による収納量の増加を活かし、旧水道局での公文書一元管理を進め、公文書の適切な保管に努めることができました。				・課題 (令和3年度のみ主要事業)				
・課題に対する改善点 公文書の適切な保管に努めるよう、庁内通知などの内容を改善しました。				・取組 (令和3年度のみ主要事業)				
行政経営								
成年後見制度中核機関運営事業		成年後見等の権利擁護が必要な人が、早期の段階から相談に繋がると共に、必要な制度を利用できるように、社会福祉協議会に中核機関としての役割である広報機能、相談機能、利用促進機能、後見人支援機能の業務を委託します。						
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
高齢者支援課	8,925		8,925		3,185	9,108	9,108	0
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
成年後見推進センター(成年後見中核機関)の周知活動を実施した回数(回)	-	66	40	成年後見推進センター(成年後見中核機関)の周知活動を実施した人数(人)		-	1,795	1,800
成年後見制度に関する相談会・研修会の実施回数(件)	-	7	7	成年後見制度に関する相談会・研修会の参加人数(人)		-	259	170
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
・取組 国の成年後見制度利用促進基本計画を踏まえ、地域連携ネットワークの中核機関として流山市成年後見推進センターを立ち上げ、制度に関する相談会や研修会、講演会を実施しました。				・現状 昨年度に引き続き、権利擁護支援の必要性に関する広報及び啓発のため市民向け講演会や専門職向け研修会、出前講座を実施します。				
・評価 感染症対策を講じた上での市民向け講演会の実施、地域住民や支援者が開催する研修や会議の場に中核機関が赴く出前講座の開催など制度概要及びセンターの開設に関して積極的な周知活動を実施しました。				・課題 必要とする人を成年後見制度の利用に繋げるため、より多様な支援者に対して制度に関する周知を行う必要があります。また、家族や関係者が発見した後見ニーズの対応に困らないよう、権利擁護支援に関する相談窓口の明確化及び浸透を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 成年後見推進センターの開設や、制度概要に関して幅広く市民に周知するため、チラシや広報での周知のほか、講演会や出前講座を実施しました。また、支援者の会議等においてセンターの役割に関する周知を行いました。				・取組 多様な対象に対して引き続き制度利用に関する周知活動を実施していくほか、関係機関が担う役割の確認や事例検討を通じて、相談のつなげ方や支援に関する共通理解を深め、専門職団体及び関係機関との連携強化を図ります。				

行政経営								
おくやみ相談窓口設置運営事業	御家族が亡くなられたときの手続きをワンストップで行えるよう、市役所本庁舎1階ロビーにおくやみ相談窓口を設置します。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
市民課	0		0		10,524	4,639	0	4,639
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
おくやみ相談窓口の利用者数(人)	-	-	756	おくやみ相談窓口利用者の満足度(%)		-	-	90
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 (令和4年度のみ主要事業) 				<ul style="list-style-type: none"> 現状 おくやみ相談窓口の業務の流れや各課との連携等を確認し、相談窓口設置に向けた課題の把握、解決を図るため、電子申請システムの運用テストを実施、令和4年6月相談窓口を開設します。 				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 (令和4年度のみ主要事業) 				<ul style="list-style-type: none"> 課題 多岐に渡る業務を取りまとめ、ご遺族に寄り添ったサービス提供ができるようにするための職員のスキルアップが課題です。 				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 (令和4年度のみ主要事業) 				<ul style="list-style-type: none"> 取組 相談窓口開設後、御利用者の方のご意見や、各課からの要望を取りまとめ、業務フロー等の改善を図ります。 				
マーケティング								
主管課：マーケティング課								
流山市ブランド確立と住民誘致の推進事業	「住み続ける価値の高いまち」としての流山市の都市ブランド確立を推進します。市の知名度とイメージの向上を図るための情報発信とイベントを行い、住民誘致の促進と市民満足度を高める活動を行います。							
担当課	R3当初予算		R3決算見込		R3職員給与費(目安)	R4当初予算	R4特定財源	R4一般財源
マーケティング課	14,059		7,405		25,480	14,317	3,300	11,017
主な活動指標	R2実績	R3実績	R4目標(予定)	主な成果指標		R2実績	R3実績	R4目標
イベント開催回数(回)	1	1	4	常住人口(1/1現在)(人)		199,920	205,210	209,210
				イベント来場者数(人)		30,000	10,600	75,000
令和3年度の取組みと評価・改善点				令和4年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 取組 住民誘致と併せてブランディングを推進していくため、令和3年4月に流山市ブランディングプランを策定しました。また、これまで公開していた流山市特設PRサイトを見直し、新たにブランディングの起点となる流山市ブランディングサイトを、令和3年12月に公開しました。このサイトを起点として、SNS広告を活用しPRを行いました。 				<ul style="list-style-type: none"> 現状 昨年度はブランディングサイトの作成が中心だったため、PR実施時の話題性が弱かったことから、今年度はPR企画部分を中心に話題性のあるPRを実施する必要があります。 				
<ul style="list-style-type: none"> 評価 流山市ブランディングサイトについて、流山市のイメージや強みを中心にサイト内容の検討を重ねた結果、流山市のブランディングに寄与するサイトを作成することが出来ました。結果として、同サイトを起点としたPRを実施し、新規閲覧者が15,000アクセスを超え、目標を達成することが出来ました。 				<ul style="list-style-type: none"> 課題 WEB広告等を活用したPR実施時に、話題性のある企画を検討する必要があります。 				
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する改善点 令和3年度はブランディングサイトの作成が中心であり、SNS広告によるPRを実施する際の話題・企画が、サイト完成の話題しかなかったため、次回のPR実施時には、話題性のあるPRを実施する必要があります。 				<ul style="list-style-type: none"> 取組 流山市ブランディングサイトを起点とし、流山市の3つの資源「都心から一番近い森のまち」「母になるなら、流山市。」「市民の知恵と力が活きるまち」を活用した話題性のあるWEB広告等のPRを実施していきます。また、流山市の現時点でのブランド認知度を把握するため、首都圏の市外の方を対象としたブランド認知度調査を実施します。 				